

支え合いのまちづくり

小地域福祉ネットワーク

活動推進事業

平成29年度実施地区報告集



はじめに

今、地域では、少子高齢化の急速な進行や家族形態の変化により、ひとり暮らしの高齢者や周囲との交流が少なく孤立して暮らす方が増えており、住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには、住民同士が互いに気かけ見守り支え合う関係を日頃からつくっていくことが求められています。

このような状況のなか、本会では、小地域における福祉ネットワークづくりの充実と福祉委員活動の展開を側面から援助させていただくことを目的に、小地域福祉ネットワーク活動推進事業を実施しております。

本事業は、ひとり暮らし高齢者や高齢者を介護する家族、障がい者や子育て家庭等に対する支援活動や活動の啓発、普及にかかわる実践活動を対象とし、平成 29 年度は、市内 146 町内（自治・連合）会のうち 91 の地区において、地域の実情を反映した創意あふれる活動が展開されました。

本実施報告集は、各地域における実践活動についてまとめた報告集となっておりますので、今後の小地域福祉ネットワーク活動に資するひとつの参考としていただければ幸いです。

平成 30 年 12 月

社会福祉法人千歳市社会福祉協議会

会長 力示 武文

小地域福祉ネットワーク活動推進事業

平成 29 年度の実施状況

1 小地域福祉ネットワーク活動推進事業とは

高齢化、核家族化などの進行による地域福祉の充実強化が重要視され、特に小地域における自主的な民間福祉活動の展開が急務となってきています。

小地域福祉ネットワーク活動推進事業は、その具体的なひとつの手だてとして小地域における福祉活動の協力者となる「福祉委員」制度を展開し、より一層小地域の特性を生かした福祉ネットワークづくりの充実と福祉委員活動の展開を側面的に援助させていただくことを目的に実施します。

事業を実施する町内（自治）会には、活動費として世帯数や福祉委員人数に応じて助成金を交付させていただきます。

2 平成 29 年度は 91 町内会に助成し、事業数は延べ 545 事業に取り組まれました

平成 29 年度は、市内 146 町内会のうち 91 町内会において、啓発活動、調査活動、交流活動、在宅福祉サービス活動の四分野にわたり、事業数は延べ 545 事業に取り組まれました。

なお、前年度から増加した町内会の内訳は、新規に取り組みを始めた町内会が 1 ヶ所、事業への取組みを再開した町内会が 1 ヶ所となっています。

事業をスタートさせた平成 6 年度からの実施地区数は次のとおりです。

これまでの実践地区（町内会）数

年度	H 6	H 7	H 8	H 9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16
地区	23	30	33	37	48	51	61	67	67	67	71

年度	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
地区	70	74	76	77	80	84	85	87	85	88	86

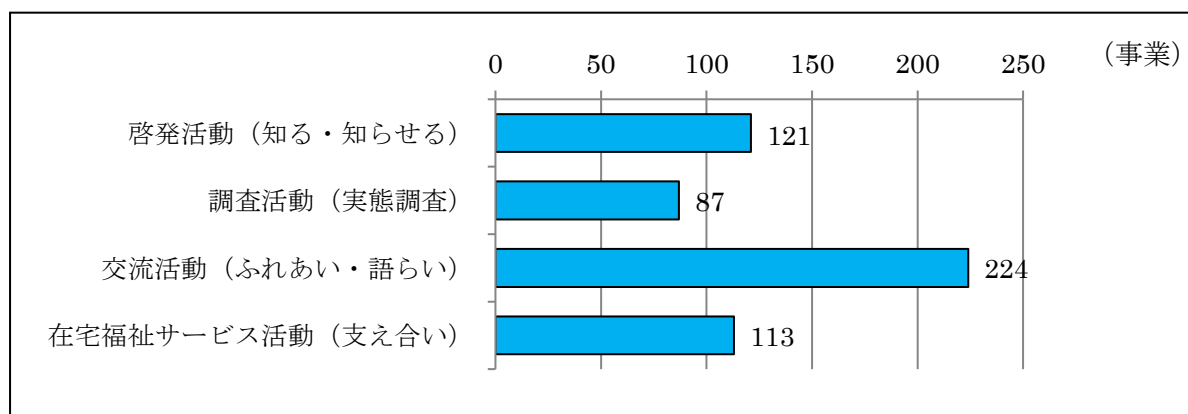
年度	H28	H29
地区	89	91

3 平成 29 年度の取り組み状況

平成 29 年度の取り組み状況を「啓発活動（知る・知らせる）」「調査活動（実態調査）」「交流活動（ふれあい・語らい）」「在宅福祉サービス活動（支え合い）」の分野別に分類し集計した結果は、会食会やふれあいサロン等の「交流活動（ふれあい・語らい）」が 224 事業と最も多く取り組まれ、活動の中心を占めました。

なお、「調査活動（実態調査）」は前年度と比べて約 2 倍、「交流活動（ふれあい・語らい）」は前年度と比べて約 1.4 倍と大きく増えています。

図 1 活動種類別と事業数



4 平成 29 年度に町内会で取り組まれた主な事業（上位 10 事業）

平成 29 年度に町内会で取り組まれた主な事業は、1 位が「各種行事を通じた交流」で 61 町内会、2 位が「会議・福祉委員会」で 51 町内会、続いて 3 位が見守り・声かけ活動で 46 町内会となっています。

平成 29 年度全体の事業は、次項の「平成 29 年度事業一覧」のとおりです。

順位	事業名	町内会数	活動分野
1 位	各種行事を通じた交流	61	交流活動
2 位	会議・福祉委員会	51	啓発活動
3 位	見守り・声かけ活動	46	在宅福祉サービス活動
4 位	ふれあいサロン活動	33	交流活動
5 位	訪問活動	29	在宅福祉サービス活動
	世帯名簿作成・更新	29	在宅福祉サービス活動
6 位	除雪支援活動	23	在宅福祉サービス活動
7 位	研修会参加・施設見学	22	啓発活動
8 位	日帰り旅行	18	交流活動
9 位	会食会等	15	調査活動

平成 29 年度事業一覧

※146 町内会中の割合

活動の種類	事業名	町内会数	% ※
啓発活動 (知る・知らせる)	会議・福祉委員会	51	34.9%
	福祉懇談会	1	0.7%
	福祉だよりの発行	11	7.5%
	研修会参加・施設見学	22	15.1%
	勉強会・研修会の実施	5	3.4%
	声かけ推進	6	4.1%
調査活動 (実態調査)	世帯調査・福祉マップの作成	10	6.8%
	世帯名簿作成・更新	29	19.9%
交流活動 (ふれあい・語らい)	各種行事を通じた交流	61	41.8%
	ふれあいサロン活動	33	22.6%
	日帰り旅行	18	12.3%
	会食会等	15	10.3%
在宅福祉 サービス活動 (支え合い)	見守り・声かけ活動	46	31.5%
	訪問活動	29	19.9%
	除雪支援活動	23	15.7%
	緊急時・災害時の支援活動	2	1.4%
	日常生活支援活動	8	5.5%

小地域福祉ネットワーク活動推進事業 平成29年度実施地区一覧

(順不同)

1	本町自治会	・ ・ P7～8	52	あずさ町内会	・ ・ P51
2	本町南自治会	・ ・ P8～9	53	富丘1丁目南町内会	・ ・ P51～52
3	朝日町西自治会	・ ・ P9	54	富丘1丁目町内会	・ ・ P52
4	朝日町東自治会	・ ・ P9～10	55	富丘2丁目町内会	・ ・ P52～54
5	真々地自治会	・ ・ P10～11	56	富丘3丁目南町内会	・ ・ P54～55
6	若草町内会	・ ・ P11～12	57	富丘3丁目北町内会	・ ・ P55
7	里美町内会	・ ・ P12～13	58	富丘4丁目東町内会	・ ・ P55～57
8	白樺町内会	・ ・ P13～14	59	富丘西町内会	・ ・ P57～58
9	柏陽町内会	・ ・ P14～15	60	末広東町内会	・ ・ P58
10	文京町内会	・ ・ P15	61	末広中区町内会	・ ・ P58～59
11	錦町3丁目町内会	・ ・ P16	62	花園町内会	・ ・ P59
12	清水町3丁目町内会	・ ・ P16～17	63	高台町内会	・ ・ P59～60
13	清水町5丁目町内会	・ ・ P17	64	稲穂町内会	・ ・ P60～62
14～19	幸町連合会（1～6丁目）	・ P17～18	65	清流町内会	・ ・ P62～63
20	栄町西区町内会	・ ・ P18～19	66	青葉2丁目町内会	・ ・ P63
21	栄町東町内会	・ ・ P19	67	青葉3丁目町内会	・ ・ P64
22	春日町1丁目町内会	・ ・ P19～20	68	青葉4丁目町内会	・ ・ P64～65
23	春日町2丁目町内会	・ ・ P20～22	69	青葉6丁目町内会	・ ・ P65～66
24	春日町3丁目町内会	・ ・ P22～23	70	青葉丘町内会	・ ・ P66～67
25	春日町5丁目会	・ ・ P23	71	住吉2丁目町内会	・ ・ P67～68
26	大和2丁目町内会	・ ・ P23～24	72	住吉北町内会	・ ・ P68～69
27	桂木1・2丁目町内会	・ ・ P24～25	73	住吉4丁目町内会	・ ・ P69～71
28	桂木3・4丁目町内会	・ ・ P25～26	74	住吉5丁目町内会	・ ・ P71～72
29	桂木5・6丁目町内会	・ ・ P26～27	75	東郊町内会	・ ・ P72～73
30	新星町内会	・ ・ P27～28	76	豊里町内会	・ ・ P73
31	北斗南町内会	・ ・ P28～29	77	あけぼの団地町内会	・ ・ P73～74
32	北斗2丁目自治会	・ ・ P29～30	78	日の出東町内会	・ ・ P74～75
33	北斗3丁目町内会	・ ・ P30	79	日の出北町内会	・ ・ P75～76
34	北斗西町内会	・ ・ P30～31	80	梅ヶ丘1丁目町内会	・ ・ P76～77
35	北斗北町内会	・ ・ P31～32	81	旭ヶ丘町内会	・ ・ P77～78
36	自由ヶ丘町内会	・ ・ P32～33	82	弥生町内会	・ ・ P78～79
37	桜木町内会	・ ・ P33～34	83	寿町内会	・ ・ P79～80
38	北栄南町内会	・ ・ P34～35	84	幌加連合会	・ ・ P80
39	北栄東町内会	・ ・ P36	85	協和連合会	・ ・ P81
40	新富西町内会	・ ・ P36～37	86	新川連合会	・ ・ P81
41	新富東町内会	・ ・ P37～38	87	東丘連合会	・ ・ P81
42	新富中町内会	・ ・ P38～40	88	支笏湖自治振興会	・ ・ P81～82
43	新富北町内会	・ ・ P40	89	ゆうまい町内会	・ ・ P82～83
44	信濃1丁目町内会	・ ・ P41～42	90	みどり団地1号棟自治会	・ ・ P83～84
45	信濃2丁目町内会	・ ・ P42～43	91	みどり台北町内会	・ ・ P84～85
46	信濃3丁目町内会	・ ・ P43～44	資 料		
47	信濃4丁目町内会	・ ・ P44～46	千歳市内ふれあいサロンマップ・ ・ P87		
48	富士町内会	・ ・ P46～47	小地域ネットワーク活動推進事業（小地域		
49	長都駅前町内会	・ ・ P47～48	たすけあい活動）実施要項 ・ ・ P88～90		
50	静和町内会	・ ・ P48～49	※No.14～19幸町連合会は、幸町1丁目町内会～幸町		
51	おさつ団地町内会	・ ・ P49～51	6丁目町内会の実施報告を集約して掲載しています。		

本町自治会

福祉委員人数	9人	世帯数	115
--------	----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 3回
- 対象者 町内会長・福祉委員
民生委員児童委員
(対象者数 11人)
- 目的 福祉委員活動における委員間の
情報交換・共有・資質の向上
- 実施事業
 - ・H29年6月19日 第1回福祉委員会
千歳市南区地域包括支援センター長の竹濱麻純氏を講師に「支援センターのお仕事」について研修し、要介護者等の相談体制等について学ぶ。H29年度地域ネットワーク事業の概要説明及び要支援世帯の把握、地域区割りをを行い担当委員も決め情報交換をした。
 - ・H29年11月6日 第2回福祉委員会
H29年度除雪支援世帯の確認、独居高齢者へのお餅配り(12/16)の確認。29年度SOSネットワーク研修会(8/1)参加委員から報告を受け、研修。
 - ・H30年3月20日 第3回福祉委員会
各委員から要支援世帯の状況報告。
自治会長から本町自治会自主防災組織(案)について説明を受け、協議・検討。住宅用火災警報器のDVDを見て、防火委員から説明を受ける。
- 連携・協力機関及び団体
民生委員児童委員・地域包括支援センター
その他(除雪支援員、防火委員)
- 事業成果
福祉委員会の定期開催により、要支援世帯に対する見守り、声かけ、支援がスムーズにできた。
町内会員に福祉委員の活動を理解してもらえ、地域会員の方から情報を頂けることもありました。

2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 福祉マップ更新、救急カード確認
- 対象者 全世帯
- 目的 町内世帯の把握
- 実施事業
 - ・福祉マップの更新
一人暮らし高齢者、支援を必要とする高齢者世帯に対する担当福祉委員の色分けマップの更新。
 - ・救急カードの確認
福祉委員が担当地域の対象世帯を訪問し、救急カードの確認を行った。
- 連携・協力機関及び団体
民生委員児童委員
- 事業成果
訪問によるカード確認により、安否確認ができた。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 2回
- 対象者 町内会員・高齢者・子ども
- 目的 地域のつながりづくり
- 実施事業
 - ・ふれあい盆踊り大会
H29年8月11日(金)・12日(土)町内会館横空地。2日間で95人参加。子供達、高齢者を含む町内会員の参加で盆踊り大会を行う。
女性部自慢の手料理に舌鼓、子供達も夏休みに練習した太鼓を元気に叩き、おじいちゃん、おばあちゃんも孫達と踊り、夏の夜の楽しいひと時を過ごしました。
 - ・ふれあい餅つき大会
H29年12月16日(土)町内会館(70人参加)。高齢者、子どもたちを招き餅つき大会を行う。お雑煮をはじめ、餅料理に満腹。楽しい交流ができました。
- 連携・協力機関及び団体
民生委員児童委員・老人クラブ
- 事業成果
参加者の交流により繋がりもでき、情報も得る

ことができ、安否確認ができました。

情報交換・共有、並びに資質の向上

4 在宅福祉サービス活動(支え合い)

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 ひとり暮らし高齢者・高齢者等世帯(対象者数 49 人)
- 目的 見守り・声かけ活動で安否確認
- 実施事業
 - ・見守り、声かけ活動
一人暮らし高齢者、支援を必要とする高齢者世帯等に担当福祉委員が声かけ訪問を行い、安否確認をしました。
 - ・お餅等のお届け活動
ふれあい餅つき大会に併せ、千歳小学校仲良し会の役員等の協力を得て、ひとり暮らし高齢者世帯 8 世帯につきたてのお餅とお土産を届けた。この活動は 13 年間継続している。
 - ・敬老記念品の配付(本町自治会の単独事業)
敬老の日に自治会長、副会長、福祉部役員で 75 歳以上の高齢者のいる会員宅を訪問し、敬老祝い品をお届けし、併せて安否確認や生活状況の把握を行った。(対象：34 世帯 47 人)
- 連携・協力機関及び団体
民生委員児童委員・その他(千歳小学校仲良し会)
- 事業成果
一時ではあるが、一人暮らし高齢者の方と子どもたちの交流ができました。子どもの訪問には、高齢者の笑顔が違いました。

本町南自治会

福祉委員人数	7 人	世帯数	370
--------	-----	-----	-----

1 啓発活動(知る・知らせる)

- 実施回数 4 回
- 対象者 町内会長・役員・福祉委員
民生委員児童委員
(対象者数 10 人)
- 目的 福祉委員活動における役員間の

- 実施事業
 - ・福祉委員会
年 2 回実施。福祉活動の協議、検討、見守り世帯の実態等に関する情報の共有を行った。
 - ・情報交換
情報交換等により守秘義務を厳守、日常生活及び災害時安否確認等必要に応じて見守り、声かけを実施。
- 事業成果
福祉委員、民生委員及び児童委員同士の連携が取れ、福祉の地域における活動の円滑化につながった。

2 交流活動(ふれあい・語らい)

- 実施回数 5 回
- 対象者 自治会会員(60 歳以上)
対象者 40 人
- 目的 引きこもり防止
- 実施事業
 - ・茶話会、食事会
おしゃべり、自治会員の親睦交流(茶話会 4 回)
 - ・高齢者対象の温泉一泊旅行(1 回)
温泉の湯につかり、心身ともにリラックスさせ食事、お話を通じて自治会間の親睦を図った。
- 事業成果
茶話会を 4 回計画、自宅の外に出て外の空気を感じ会話等により「リフレッシュ感のあるふれあい」につなげることができた。今まで 1 度も参加したことがない方々が、2 名も参加されたことは大変な成果があった。

また温泉旅行では温泉という特別な場所を借りて、心身ともにリラックスさせる雰囲気の中、食事、お話を通じて自治会員間の親睦を図ることができた。

3 在宅福祉サービス活動(支え合い)

- 実施回数 年 1 回(9 月)
- 対象者 自治会員・70 歳以上の高齢者

(対象者数 30 人)

- 目的 町内高齢者の安否確認・健康状態の把握及び交流。

●実施事業

- ・見守り、声かけ訪問活動

一人暮らしのお年寄りの自宅訪問による声かけ、茶話会、食事会の場で会話等。(年 1 回)

●事業成果

一人暮らし高齢者の安否、健康状態の確認及び日頃気になっていること等、町内一丸となって把握に努めた。

高齢者宅の訪問、声かけにより、「閉じこもり」の解消に微力ながら尽力することができた。

朝日町西自治会

福祉委員人数	9 人	世帯数	220
--------	-----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 年 4 回

- 対象者 町内会長・役員・福祉委員・民生委員（対象者数 10 人）

- 目的 福祉活動における役員間の情報交換

●実施事業

- ・福祉委員会

福祉活動の協議、検討及び見守り世帯等に関する情報交換と課題の共有。3 ヶ月に 1 回実施

- ・福祉懇談会

町内会役員全員と懇談し、見守り、支援についての意見交換。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ

●事業成果

福祉委員同士及び民生委員児童委員との連携強化につながり、地域福祉活動が円滑に進められた。

2 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 年 26 回

- 対象者 高齢者・子ども・会員
(対象者数 120 人)

●実施事業

- ・ふれあいサロン

おしゃべり、レクリエーション、健康体操、カラオケ等 回数 20 回（毎月第 1 木曜日）

- ・朝日町西町内会夏祭り

子どもたちの夏休みに合わせて高齢者と子ども、会員との交流会を実施。

- ・ふれあい日帰り旅行

果物狩り、温泉施設の利用 回数年 1 回

- ・誕生会

3 ヶ月に 1 回開催して高齢者同士の交流と親睦を図る。

- ・女性部日帰り研修

年に一度、施設見学をし見聞を広げる。

●事業成果

一人暮らしの高齢者の安否確認、心配ごとの把握につながった。

高齢者の閉じこもり防止に繋がりました。

参加者同士の交流により近隣がつながりづくりになった。

朝日町東自治会

福祉委員人数	4 人	世帯数	70
--------	-----	-----	----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 9 回

- 対象者 町内会役員・民生委員児童委員・福祉委員

- 目的 福祉活動における役員間の情報交換、研修会等のお知らせ

●実施事業

- ・福祉委員会

サロン開催終了後、福祉活動の話合いと見守り世帯の情報交換。今後のサロンの内容についての話合いと反省をしました。

- ・町内会「町内会サロン」の回覧を作成し配布した。8 月、翌年 1 月、2 月はサロンを休みまし

た。

・出前講座

6月20日出前講座いきいき高齢者講座「介護編」を実施しました。

・千歳市、各団体の研修会

町内会役員、福祉委員が参加をしました。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・市役所

●事業成果

町内会の役員同士いろいろな面で福祉活動に協力して頂きました。また、研修会等にも参加しとても参考になりました。

2 調査活動（実態把握）

●実施回数 年間を通じて実施

●対象者 75歳以上高齢者・障がい者

●目的 町内会員、対象者の状況を調べる

●実施事業

- ・平成29年度75歳以上の高齢者、障がい者の名簿を作成し月1回程度の間隔で訪問、声かけを実施しました。
- ・対象者会員の住居が判る地図の作成、修正を行いました。
- ・新規会員に救急カードを配布し、説明をしました。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・社会福祉協議会

●事業成果

名簿作成、地図により訪問、声かけ、見守りが円滑に行われ対象者の健康状態等を知ることができました。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 9回

●対象者 町内会会員（対象者70人）

●目的 会員同士の交流、親睦、閉じこもり防止

●実施事業

- ・会館開放サロン

内容～茶話会・食事会・カラオケ・折り紙等を実施いたしました。

回数～9回（8月・翌年1月・2月は除く）毎月20日に実施しました。

時間～午後1:00～午後3:00

食事会は12:00～

・お楽しみ交流会

12月10日 11:30から大人と子供の交流を目的に餅つきをして楽しみました。

●連携・協力機関及び団体

老人クラブ

●事業成果

食事会には多数の方が参加して下さいました。特に餅つきの時は参加者が多いです。会員数が少ない町内会ですが、サロンでは交流親睦ができています。

4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

●実施回数 年間を通じて実施

●対象者 75歳以上高齢者・障がい者（対象者35人）

●目的 地域の支え合い、安否確認

●実施事業

- ・見守り・声かけ訪問活動

日常的な見守りや月1回程度の定期的な声かけ安否確認を実施しました。

- ・5月の節句

こどもの日におやつを配りました。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・町内会会員

●事業成果

高齢者の多い町内会ですが、隣近所の会員同士見守り、安否確認に協力していただきました。

真々地自治会

福祉委員人数	11人	世帯数	510
--------	-----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

●実施回数 8回

●対象者 福祉委員・福祉部民生委員

●目的 情報交換・自己研鑽等

●実施事業

- ・福祉委員会（福祉部）8回
- ・研修会への参加
- ・町内会行事の参加、手伝い
- ・見守り、世帯等に係る情報交換

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ

●事業成果

研修会に参加するも発表するにはいたらなかった。

2 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 5回

●対象者 町内会員・高齢者

●目的 会員同士の交流

●実施事業

- ・ままちふれあいサロンの開催（4回延参加人数50名）

いきいき百歳体操、育児相談、健康相談、子供コーナー作り（絵本、おもちゃ、折り紙、ゲーム等）、お茶のサービス有り、サロン最終日には豚汁とおにぎりを用意した。

- ・ままち敬老会

70歳以上の高齢者が対象でご招待（68名）町内会員一同でお祝いし会場作りにも力をいれている。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ

●事業成果

委員同士の結束力が生まれる。
三世代間の交流が出来た。
町内会員同士のふれあいができた。

若草町内会

福祉委員人数	26人	世帯数	825
--------	-----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

●実施回数 18回

●対象者 町内会長・役員・福祉委員・民生

委員児童委員（対象者数50人）

●目的 福祉委員活動における役員間の情報交換・共有・活動の向上

●実施事業

- ・福祉委員会（6回）福祉部会（12回）

町内を5ブロックに分け、民生委員児童委員を中心にし“知る”“知らせる”等の活動を定期的に実施し、その結果を委員会で情報共有を図った。

- ・研修会の参加

千歳地域SOSネットワーク研修会、認知症サポーターフォローアップ講座に参加。

- ・救急カードの更新（随時）

全住民を対象に配布した救急カードの現存調査と記載日が更新されているか、確認作業を実施する。町内会広報紙での啓蒙を行う。

- ・地域包括支援センターから向陽台地域の現状についての勉強会の実施。

●連携・協力機関及び団体

町内会役員

●事業成果

民生委員児童委員と福祉委員との連携が強化され、研修会では新情報を収集し、旧カードの啓蒙活動で住民との対話が強化された。

2 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 1回

●対象者 町内会住民

●目的 世代間を通じた交流や75歳以上の高齢者との親睦を図る

●実施事業

- ・敬老会（75歳以上高齢者237名）

参加者全員で合唱や近況情報を語らい高齢者同士や役員との親睦を図った。また余興ではシャベラルズのスコップ三味線での演奏に懐かしいメロディを楽しんだ。

- ・餅つき大会（参加住民129名）

45kgのもち米を参加者でつき、納豆餅、大根おろし餅などで、町民との親睦を図った。

一人暮らし高齢者やグループホームに赤飯を配布。

- ・ひな人形の展示

町内会員から寄付を受けた「ひな人形」を町内会館に展示し、ふれあい交流を図った。「折り紙やオセロ、ダーツなどのゲーム」で楽しんだ。参加者 34 名（子供 22 名）

●連携・協力機関及び団体

町内会役員

●事業成果

町内に住む子供やお年寄りとの交流や近隣同士のつながりが深まった。また、高齢者の閉じこもり防止につながった。

3 在宅福祉サービス活動（支え合い）

●実施回数 延 725 回

●対象者 除雪・避難困難者

●目的 近隣同士のつながりや孤立防止を図るための支え合いの地域づくりを目指す

●実施事業

- ・除雪支援

除雪困難世帯を対象に町内会員による除雪支援を実施した。

対象者世帯 29 世帯、除雪ボランティア 34 人、支援回数 580 回、派遣延人数 680 人

- ・災害時要援護者避難支援活動（対象者 24 名）

支援活動の実施方法など検討中。

●連携・協力機関及び団体

町内会役員

●事業成果

近隣同士のつながりの一助や高齢者の閉じこもり防止につながった。

里美町内会

福祉委員人数	10 人	世帯数	324
--------	------	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

●実施回数 6 回

●対象者 町内会副会長・民生児童委員・福祉委員（対象者数 14 人）

●目的 福祉委員活動における役員間の情報交換の共有・資質向上

●実施事業

- ・福祉委員会（年 6 回）（4・6・8・10・11・1 月）
福祉委員活動の協議・検討及び見守り世帯（名簿）等に関する情報交換、課題の共有を行った。

- ・「福祉だより」の発行（年 2 回 5・10 月）

5 月：福祉委員・民生児童委員紹介ほか

10 月：町内会の年齢別（65 歳以上）のグラフ及び長寿者番付表

- ・福祉研修会への参加
社協主催の研修会に参加した。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

福祉委員同士及び民生児童委員との連携強化につながり、地域福祉活動が円滑に進められた。

2 調査活動（実態把握）

●実施回数 年間を通じて実施

●対象者 高齢者 70 歳以上
（対象者数 154 人）

●目的 世帯の状況把握

●実施事業

- ・高齢者名簿作成・更新（65 歳以上）

今後の高齢者を把握するため 65 歳以上の方も把握し、名簿を同時に作成している。

また、必要に応じて見守り・声かけを行った。

●事業成果

高齢者と委員との交流ができ、災害時等の備えにもつながっている。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 1 回

●対象者 70 歳以上 25 人
75 歳以上 69 人

●目的 健康と長寿をお祝いし又地域のつながり。

●実施事業

- ・健康と長寿をお祝いし古希（70 歳）と 75 歳以

上の世帯にお祝いをお届けすることとし、地域のつながりづくりと交流等を図った。

●事業成果

古希はもちろん 75 歳以上の世帯にお祝いをお届けすると、喜びの声と笑顔があり同時に現状把握を再認識することができた。

4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

●実施回数 年間を通じて実施

●対象者 高齢者（対象者 154 人）

●目的 地域の支え合い・連帯意識の醸成を図り、孤立防止につなげる

●実施事業

- ・見守り、声かけ訪問活動
- ・ひとり暮らし高齢者へのお赤飯の配布（12/3）
町内会の餅つきに合わせ、お赤飯を配布した。
- ・救急カードの取組
救急カードについてのプリント配布をした。
- ・除雪支援活動（12/1～3/31）

民生委員の調査と同時に町内会支援協力者（ボランティア）を回覧にて募集し、後の 11 月に会議を開き要支援世帯ごとに近隣で担当体制を組み支援を実施した。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

安心して生活できる環境づくりに少しでも役に立つことができた。

白樺町内会

福祉委員人数	23 人	世帯数	592
--------	------	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

●実施回数 12 回

●対象者 町内会役員・福祉委員・民生委員児童委員（対象者数 27 人）

●目的 役員間の情報交換

●実施事業

- ・福祉委員会例会（月 1 回）

福祉問題についてそれぞれ担当区域について発表し情報を共有した。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・地域包括支援センター

●事業成果

林地域包括支援センター長にも毎回参加していただき、最新の福祉に関する話をしていただき承知することで大きな成果を上げた。

2 調査活動（実態把握）

●実施回数 年間を通じて実施

●対象者 高齢者・障がい者（対象者数 50 人）

●目的 現況の把握

●実施事業

- ・福祉マップを更新し現状把握をし福祉活動の充実を図った。
- ・名簿を更新し訪問活動をやり易くした。

●事業成果

名簿を更新することで福祉委員等の活動をやり易くできた。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 サロン 10 回

●対象者 高齢者・障がい者・子育て中の方

●目的 孤立の防止

●実施事業

- ・昼食会（年 1 回）
町内の福祉委員の手作り料理でゲーム、話し合いなど楽しい時を過ごせました。
- ・明日への幸せ「ふれあいサロン白樺」の実施
今年はリハ大学と連携したサロンを実施した。学生 8 名と普段やったことのないゲーム的なことを実施し参加者の反応も大きかった。
- ・いきいき百歳体操（週 1 回）

指導者のもと実施し健康維持の成果があった。

- ・福祉バス旅行

三笠・岩見沢方面のバラ園に行き、参加者も多く心のふれあいができました。

●事業成果

各活動をとおり人と人のふれあいや人間として生きていくうえでの大切な要素を習得したものと感じられました。

柏陽町内会

福祉委員人数	21 人	世帯数	440
--------	------	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 12 回
- 対象者 福祉委員・民生委員児童委員
町内会長（対象者数 22 人）
- 目的 情報交換、共有。事業計画実施要領の確認
 - ・福祉委員会及び事務局会議
2ヶ月毎に実施、不定期に事務局会議を実施。活動内容の計画、分担、委員間における情報の交換・共有。
 - ・「福祉だより」発行
福祉委員、民生委員児童委員の周知とサロン活動等の案内をした。
 - ・委員研修
「いずみ学園」「清流ワークセンター」へ福祉施設見学
- 連携・協力機関及び団体 民生委員児童委員
- 事業成果 情報交換、共有で連携強化につなげたい。施設見学は、各自の意識の向上に役立っていると感じる。

2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 高齢者世帯・独居世帯（対象世帯数 93 世帯）
- 目的 対象者世帯の実態把握
- 実施事業
 - ・高齢者名簿作り
毎年名簿作成（更新）する為、高齢者、独居世帯の生活状況を確認している。支援必要世帯

があれば、町内会、民生委員児童委員に知らせ対応をしてもらう。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・町内会

●事業成果

毎年生活状況の確認を行っているので、福祉委員各自、担当班は生活状況の把握ができています。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 7 回
- 対象者 町内会全世帯（対象者数 440 世帯）
- 目的 高齢者の孤立・引きこもり防止、また、地域の繋がり、仲間づくり。
- 実施事業
 - ・サロン活動（6 回）
町内会館を利用し地域にある病院の先生による「健康講話」
 - ・交通安全教育指導員による「高齢者のための交通安全教室」
 - ・手芸等
 - ・日帰りバス旅行
果物狩りを実施
- 連携・協力機関及び団体 民生委員児童委員・老人クラブ・町内会
- 事業成果 サロン参加者、日帰りバス旅行の参加者は少しずつ増えてきている。

4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 75 歳以上高齢者世帯・独居世帯（対象者数 93 人）
- 目的 生活状況等の現状把握、地域でのつながり
- 実施事業
 - ・対象者世帯への粗品配布
年末に福祉委員が各自担当班の対象者世帯へ訪問活動。
 - ・見守り・声かけ活動
日常的に見守り、声かけ等を意識し、孤立防止に努める。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・町内会

●事業成果

町内会・民生委員と連携し高齢者世帯の現状に努め、すぐにつながる体制づくりを目指している。

文京町内会

福祉委員人数	8人	世帯数	573
--------	----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

●実施回数 6回

●対象者 福祉委員・民生委員児童委員

●目的 福祉委員活動での情報・意見交換

●実施事業

・福祉委員会（3回）

福祉活動の進め方と委員間の情報交換

・各種研修会等出席（3回）

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・地域包括支援センター
社会福祉協議会

●事業成果

情報の共有化を図ることができ、福祉活動が円滑に進められた。

2 調査活動（実態把握）

●実施回数 年間を通じて実施

●対象者 町内会員・高齢者

●目的 要支援世帯の把握

●実施事業

・救急カードの更新

救急カードの説明や記載事項の確認をしながら、家族構成を把握した。また高齢者の見守りや声かけを行った。

・福祉マップの作成

救急カードの説明時や町内会行事等で情報を集めた。継続して調査を実施する。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ。

●事業成果

家族構成に変更があり（居住者の減少）、情報の更新により見守りや声かけが円滑に行われた。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 48回

●対象者 高齢者・町内会員

●目的 町内会員の交流と仲間づくり

●実施事業

・介護予防サロン（ぶんぶん健康サロン）（43回）

生き生き百歳体操など健康運動を行い、お茶菓子を食べながら親睦を深めた。

・交流サロン（2回）

千歳学出前講座を活用し、町内会員の親睦を深めた。

・町内会主催行事の支援

夏まつり、秋の大掃除、年末餅つき（3回）

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・介護予防センター・ふまねっとサポーター

●事業成果

介護予防サロンでは、高齢者の健康増進と閉じこもり防止の一助となった。

4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

●実施回数 年間を通じて実施

●対象者 高齢者

●目的 地域の支え合いを通して相互理解を深め、孤立防止につなげる。

●実施事業

・見守り、声かけ訪問活動

救急カードの更新活動を通じて、安否確認と世帯状況の把握に努めた。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

訪問時に健康状況や心配ごとを把握することができた。

錦町 3 丁目町内会

福祉委員人数	2 人	世帯数	14
--------	-----	-----	----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 5 回
- 対象者 町内会長・役員・福祉委員
(対象者 16 人)
- 目的 福祉委員と役員との合同会議
- 実施事業
 - ・町内会員と福祉委員、民生委員との情報交換
 - ・各部の活動状況の意見交換及び問題点の意見交換
- 連携・協力機関及び団体
民生委員児童委員

2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 通年を通じて実施
- 対象者 高齢者（対象者数：6 人）
- 目的 要支援世帯の状況把握
- 実施事業
 - ・日常的な支援が必要な高齢者の状況を把握する。また、回覧板等の配布の際に対象者の健康状態や近況を伺い確認した。町内会行事の案内をし必ず声かけをする。
- 連携・協力機関及び団体
民生委員児童委員・老人クラブ

3 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 3 回
- 対象者 町内会全員、高齢者
(対象者数 18 人)
- 目的 町内会員の親睦を図る
- 実施事業
 - 1 月：新年交礼会及び総会を実施した。
 - 5 月：観桜会を町内会館で実施した。
 - 10 月：観楓会を町内会館で実施した。
- 連携・協力機関及び団体
老人クラブ

4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

- 実施回数 11 月～3 月
- 対象者 高齢者世帯（対象者 5 人）
- 目的 冬期間の除雪及び排雪の支援
- 実施事業
 - ・高齢者世帯の除雪、排雪の支援
 - ・除排雪時に健康状態や近況を聞いた。
- 連携・協力機関及び団体
民生委員児童委員
- 事業成果
平成 29 年度は比較的雪も少なめで、雪解けも早かったのが助かった。

清水町 3 丁目町内会

福祉委員人数	2 人	世帯数	40
--------	-----	-----	----

1 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 1 回
- 対象者 町内在住者（対象者数 40 人）
- 目的 町内清掃後の食事・懇談、地域のつながりづくり
- 実施事業
 - 歩道、空き地ほか町内一円の清掃後に食事、懇談を実施した。
- 事業成果
参加者同士の交流により、近隣のつながりづくりにつながった。

2 在宅福祉サービス活動（支え合い）

- 実施回数 3 回
- 対象者 ひとり暮らし高齢者
(対象者数 3 人)
- 目的 地域の支え合い、孤立防止につなげる
- 実施事業
 - ・声かけ訪問活動
- 声かけをして暮らしに変わらないか確かめた。

- ・一人暮らし高齢者への長寿祝い品配付
長寿祝い品を届けし、安否確認、生活状況等の把握を行った。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

地域のつながりづくりと一人暮らし高齢者の孤立防止につながった。

清水町5丁目町内会

福祉委員人数	1人	世帯数	35
--------	----	-----	----

1 啓発活動（知る・知らせる）

●実施回数 3回

●対象者 町内会役員（対象者数11人）

●目的 町内の福祉活動情報の共有化

●実施事業

町内役員会において、高齢者世帯等の状況の把握をはじめ、福祉活動についての情報交換等を行い、認識を共有する。

●事業成果

町内会役員が情報を共有化することにより、個人情報に配慮しながら、高齢者等の支援が図られた。

2 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 2回

●対象者 町内会全員（対象者数36世帯）

●目的 会員相互の親睦と交流

●実施事業

・食事会

通年ではバーベキューを行っていましたが、高齢化に伴い準備を省き、皆で親睦と交流を図りながら楽しい時間を過ごしました。

・忘年会

一年の締めくくりに忘年会を開催し、ゲームやカラオケ等を行い、楽しい時間を過ごし会員相互の親睦と交流を図った。

●事業成果

町内会全体での交流活動は、地域の連携と絆が一層強くなる良い機会となっている。

3 在宅福祉サービス活動（支え合い）

●実施回数 通年実施

●対象者 ひとり暮らし高齢者
（対象者数2人）

●目的 ひとり暮らし高齢者等の安否確認とコミュニケーションを図る

●実施事業

・訪問活動

一人暮らし高齢者を訪問し、面談のうえ安否確認と状況把握を行った。

・声かけ、見守り活動

日頃から近くの役員による声かけ、見守りを実施した。

●事業成果

面談をすることで健康状態や生活状況を把握することができ、コミュニケーションが図られた。

幸町連合会

福祉委員人数	6人	世帯数	193
--------	----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

●実施回数 10回

●対象者 町内会長・役員・福祉委員
（対象者数25名）

●目的 福祉委員活動における役員間の情報交換・共有

●実施事業

・福祉委員会（2ヶ月に1回）

福祉活動の協議、検討及び見守り世帯等に関する情報交換、課題の共有を行った。

・福祉だよりの発行（年3回発行）

福祉委員、民生委員児童委員の周知、福祉イベントの案内や福祉情報を掲載しました。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ

●事業成果

市の出前講座を利用し介護予防や健康維持に関する研修会を2回行いました。

2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 高齢者・障がい者
(対象者数 18 人)
- 目的 要支援世帯等の状況把握
- 実施事業
 - ・要支援世帯台帳の作成
日常的な支援が必要な高齢者世帯等の状況把握をし、要支援世帯の台帳を作成し必要に応じて見守りや声かけを行います。
 - ・福祉マップの作成
高齢者世帯や障がい者世帯の状況を把握し日常の見守りや非常時に備えて、福祉マップを作成しました。
- 連携・協力機関及び団体
民生委員児童委員・市役所

3 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 6 回
- 対象者 高齢者・障がい者、子供
(対象者数 38 人)
- 目的 高齢者の孤立防止と仲間づくり、地域のつながりづくり
- 実施事業
 - ・ふれあいサロン
毎月第1日曜日、町内会館を利用してお喋り、食事やレクレーションなどを行い高齢者との交流を図りました。
 - ・ひとり暮らし高齢者との昼食会
高齢者を招き食事会をし、コミュニケーションを通じて楽しく過ごしてもらいました。
 - ・お楽しみ交流会（年2回）
子どもたちの夏休みに合わせて高齢者との交流会を実施。ゲーム、レクレーションを通じて地域のふれあいを図りました。
 - ・ふれあい日帰り旅行
果物狩りや日帰り温泉旅行を通じて会員同士の交流を図りました。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・社会福祉協議会

4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 高齢者・障がい者
(対象者数 8 人)
- 目的 地域の支え合い、孤立防止
- 実施事業
 - ・見守り、声かけ訪問活動
一人暮らし高齢者世帯に対して見守り、定期的に生活状況の把握を行いました。
 - ・ひとり暮らし高齢者へのお弁当配布
季節の行事に併せてお弁当を届けました。
 - ・生活支援活動
一人暮らし高齢者及び障がい者の状況把握に努めました。
- 連携・協力機関及び団体
民生委員児童委員

栄町西区町内会

福祉委員人数	9 人	世帯数	210
--------	-----	-----	-----

1 調査活動（実態把握）

- 実施回数 年間を通して開催
- 対象者 高齢者・障がい者
(対象者数 81 人)
- 目的 要支援世帯の状況把握
- 実施事業
 - ・世帯カードの更新を実施し、要介護者等について最新の情報を得た。
 - ・救急カードの更新については実施できなかったため、次年度実施する。
- 事業成果
調査活動については理解されたと思われるが、個人情報や他人に託すことにためらいを感じる会員がいるので、引き続き訪問活動を通じて更なるPRに繋がっていききたい。

2 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 4回
- 対象者 75歳以上の高齢者（対象120人）
- 目的 高齢者を囲んでの食事会、懇親会の実施

●実施事業

- ・6月1日にさくら会（福祉部）による茶話会を開催し、高齢者の方々は非日常に接し楽しい交流の時間を過ごしていただいた。
- ・10月1日に町内会主催の敬老会を実施して75歳以上の高齢者を招待し（参加者43名）町内の女性役員、福祉委員による手作り料理でお祝いをした。
- ・12月14日に一人暮らし高齢者等とのふれあい昼食会を市内の飲食店において実施し（参加者28名）招待された高齢者に満喫していただいた。

●事業成果

各種行事への参加に消極的な高齢者に根気よく参加を呼びかけ、多くの高齢者の方々が参加して下さった。また、昨年に引き続き老人クラブへの加入にもつながった。

3 在宅福祉サービス活動（支え合い）

- 実施回数 必要に応じて実施
- 対象者 高齢者・障がい者（対象者数16人）
- 目的 地域における生活弱者を支え、支えあい支援する

●実施事業

要支援者の近隣町内会の協力を得ながら除雪困難な住民に対して、除雪支援を実施し、安心して、冬期間が生活できる手助けを実施。

要支援世帯：6世帯・支援人員：12名

福祉マップの修正及び災害時における避難経路の点検、指定避難場所の再確認を実施した。

栄町東町内会

福祉委員人数	3人	世帯数	170
--------	----	-----	-----

1 調査活動（実態把握）

- 実施回数 2回
- 対象者 70歳以上の方（対象者41人）
- 目的 実態調査活動
- 実施事業

毎年2回程度委員全員で該当者宅を訪問し、本人が施設等に入所の場合は家族に面接をして、状況を確認しました。尚、委員がその都度得た情報につきましては委員全員で共有しました。

●事業成果

転入者等の情報が委員に知らされず困惑することがありました。時間をかけ全員に面接する活動ができました。

2 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 3回
- 対象者 高齢者・子供・会員（対象者数50人）
- 目的 地域の仲間作り、地域のつながりづくり

●実施事業

- ・お楽しみ交流会
夏休みにラジオ体操の実施
子供達自ら食事の手伝いの実施
- ・食事会
語らい、レクリエーション、カラオケ、ゲーム等の実施

●事業成果

参加者同士の交流のコミュニケーション作りにつながりました。体況上等の理由で会館まで足を運ぶことが困難な人もいますが、継続の力を信じ実践に取り組んでいく所存です。

春日町1丁目町内会

福祉委員人数	1人	世帯数	34
--------	----	-----	----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 年2回
- 対象者 町内会長・役員・福祉委員
(対象者6人)
- 目的 役員間の情報共有
- 実施事業

町内会長、福祉委員等による80歳以上の高齢者に対する安否確認の方法や情報の周知を行った。

●連携・協力機関及び団体

老人クラブ

●事業成果

情報を共有することにより、委員間の意思の疎通が円滑になった。

2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 高齢者及び一人暮らし世帯
(対象者数15人)
- 目的 要支援世帯の状況把握
- 実施事業

要支援者の名簿作りと緊急事態の対処要領のマニュアルを作成した。

●連携・協力機関及び団体

老人クラブ

●事業成果

要支援者が必要とする事が把握できた。回覧板を直接手渡すことにより、健康状態を確認する。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 4回
- 対象者 70歳以上（対象者数17名）
- 目的 孤立防止と健康状態の把握
- 実施事業

・高齢者、特に一人暮らし世帯との食事会

婦人部の心づくしの食事の提供により悩み事の相談ごとが自由に言える雰囲気作りに役立った。

・歩いて花見大会と称し、徒歩で青葉公園の花見を見た。

・夏休みのラジオ体操に積極的に参加してもらい子供との交流を通じ地域との一体化と健康増進

を図った。

●連携・協力機関及び団体

町内会婦人部

●事業成果

行事を通じ健康増進になった。

4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 高齢独居世帯（対象者数15人）
- 目的 地域の住民相互の支え合い
- 実施事業

見守り、声かけ訪問を福祉委員が中心に行い現状把握と情報の共有を図る。

●連携・協力機関及び団体

老人クラブ

●事業成果

福祉委員及び一人暮らし老人の隣人と協力して、高齢者の孤立防止につながった。

春日町2丁目町内会

福祉委員人数	9人	世帯数	285
--------	----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 7回
- 対象者 町内会員・役員・福祉委員
民生委員児童委員（対象者24人）
- 目的 福祉委員活動における役員間の情報交換・共有及び知識・能力向上

●実施事業

・福祉委員会

福祉活動の協議、検討及び見守りや声かけを実施しました。また避難行動支援者に対する相互の情報交換、課題の共有を行いました。

・福祉研修会・講習会等への参加

1. 平成29年6月 新任福祉委員研修会
(1名)

2. 平成29年11月 社会福祉大会/ちとせ地域福祉フォーラム参加(1名)

3. 平成 29 年 11 月 なかよしさわやか DAY
いじめシンポジウム（1 名）

・全期間

高齢独居者等の見守りや声かけ活動を行いました。

救急カード設置と更新の推進を行いました。

避難行動支援者登録の推進を行いました。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・社会福祉協議会

●事業成果

福祉関係者の連携を強化し、地域福祉活動を円滑に進めることができた。

各種研修会、講習会等に参加することにより福祉関係者の識能が向上し、福祉活動に対する関心を高めることができた。

2 調査活動（実態把握）

●実施回数 年間を通じて実施

●対象者 高齢者及び障がい者
(対象者数 54 人)

●目的 地域の連帯意識醸成に基づく互助の支え合いによる高齢者等の孤立防止等

●実施事業

・見守り・声かけ訪問活動

避難行動支援者が中心になって高齢独居者等に対して、日常的な見守りや声かけ訪問を行い、安全確認と生活状況の把握に努めました。

・高齢者への赤飯等の配布（平成 29 年 10 月）

餅つき大会に参加できなかった高齢者に対して、見守りや声かけ担当者が赤飯をお届けし、合わせて健康状況等の現状把握を行いました。

・高齢独居者への年末贈答品の贈呈

（平成 29 年 12 月：12 名）

見守り、声かけ担当者が恒例の年末贈答品（ギフト券）を高齢独居者宅に持参し、その機会に状況把握や救急カードの確認を行いました。

・高齢者独居者宅の除雪支援

それぞれ担当者を決めて行いました。また現状把握も行いました。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・社会福祉協議会・市役所

●事業成果

避難行動支援者を対象とした見守り・声かけ担当者の努力により、地域の絆に基づく互助態勢が強化され、高齢独居者の孤立防止等を図ることができました。

見守り・声かけ担当者が各種の機会を有効活用して、現況等の把握に努めることにより、高齢独居者等が安心して生活できる環境を向上させることができました。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 3 回

●対象者 町内会員（対象者数 160 人）

●目的 町内会員の親睦・交流の機会を活用した高齢者の地域とのつながり及び仲間作りによる孤立防止等

●実施事業

・福祉バス旅行（平成 29 年 8 月参加者 25 人、子供 4 人参加）

HBC 会館、サッポロビール博物館、北大植物園、ホクレンくるるの杜めぐりを行い、高齢者をはじめ町内会員同士の交流を深めることができ、高齢者が屋外で活動する良い機会となりました。

・餅つき大会（平成 29 年 10 月：80 名内子供 28 名参加）

高齢者・大人・子供の 3 世代が参加して、餅つきを行いました。また、青少年部がチョコ・バナナ・キャラメル・ポップコーン・海老煎餅・フランクフルトを作り、さらに綿あめも好評でした。

・新年親睦会（平成 30 年 2 月、参加者 48 人内子供 14 名参加）

市内の宴会場で昼食会形式の新年を祝い、町内会員の親睦と世代間交流を深めることができました。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・社会福祉協議会

●事業成果

世代間の交流により、町内会員の結束が強くなり、福祉活動への理解も再度醸成されました。

高齢者等の現状把握ができるとともに、福祉関係者の情報交換の機会にもなりました。

どの世代の参加者もいきいきと活動しているように見受けられ、特に高齢者等には自宅外での活動する機会を提供することができました。

4 在宅福祉サービス活動(支え合い)

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 高齢独居世帯(対象者数12人)
- 目的 地域の絆に基づき相互体制を強化して孤立防止を図る

●実施事業

- ・見守り、声かけ訪問活動

避難行動支援者が中心になって高齢独居者等に対して日常的な見守りや声かけ、訪問を行い安否確認と生活状況の把握に努めました。また、要支援者予備軍70歳以上の高齢者に関する現状把握を行い、将来に備えるための基礎資料としました。

- ・緊急、不測事態に備えた情報収集

高齢独居者の緊急不測事態に的確に対応ができるよう、必要と思われる各種情報(固定電話、携帯電話、緊急連絡先及び自宅の鍵の保管場所等々)を日頃から収集しておきました。また、救急カードの設置の有無、設置場所、更新状況を確認し、最新のものが利用できる状態にしました。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・社会福祉協議会

●事業成果

避難行動支援者を主とした見守り・声かけ担当者の努力により、地域の絆に基づく互助態勢が強化され、高齢者等の孤立防止を図ることができました。

見守り、声かけ担当者が各種の機会を有効に活用して状況把握に努めることにより、高齢者等が安心して生活できる環境を向上させることができました。

春日町3丁目町内会

福祉委員人数	3人	世帯数	91
--------	----	-----	----

1 啓発活動(知る・知らせる)

- 実施回数 年4回
- 対象者 町内会長・役員・福祉委員
民生委員児童委員
(対象者数12人)
- 目的 福祉委員活動における役員間の
情報交換・共有・資質向上

●実施事業

- ・福祉委員会

町内会の役員会に合わせて、福祉活動の協議検討及び見守り世帯等に関する情報交換、課題の共有を行いました。每期1回実施

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

福祉委員同士及び民生委員児童委員及び老人クラブとの連帯強化につながり、地域福祉活動が円滑に遂行できた。

福祉活動に関する関心が高まり、福祉委員等の資質向上につながりました。

2 調査活動(実態把握)

- 実施回数 20回
- 対象者 高齢者・子ども・その他
(対象者数250人)
- 目的 高齢者の孤立防止と仲間づくり
地域のつながりづくり

●実施事業

- ・町内会声かけ運動

内容:町内の全世帯を対象に総務部、福祉委員、民生委員が2名1組で訪問し町内会活動の紹介チラシとティッシュを手渡しました。(4月、12月の2回)

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

一人暮らし高齢者等の安否確認や健康状態、心配事の把握につながりました。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 20回

●対象者 高齢者・子供・その他
(対象者：町内会員約250名)

●目的 高齢者の孤立防止と仲間づくり
地域のつながりづくり

●実施事業

・ふれあいサロン

町内集会室でお菓子や果物を食べながらおしゃべりをして会員の交流を図った。

回数～12回（毎月第2木曜日 13：00～15：00
実施、各回10名～15名参加、主として女性）

・夕方サロン

町内集会室で夕方にお酒を楽しみながらおしゃべりをして会員の交流を図った。

回数～4回（5月、8月、12月、2月 18：00～
20：00、各回10名程度参加、会費制、主として男性）

・ふれあいパークゴルフ大会

指宿公園パークゴルフ場で大会、昼食会、表彰式で会員の交流を図った。

回数～1回実施（9月10日、19名参加）

・敬老の日行事（75歳以上の方29名に記念品を贈呈）

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ

●事業成果

一人暮らし高齢者等の安否確認や健康状態、心配ごとの把握につながりました。

参加者同士の交流により近隣のつながりづくりにつながりました。

高齢者の閉じこもり防止につながった。

春日町5丁目会

福祉委員人数	1人	世帯数	49
--------	----	-----	----

1 啓発活動（知る・知らせる）

●実施回数 年1～2回

●対象者 町内役員・福祉委員
(対象者数10人)

●目的 福祉活動・情報交換

●実施事業
・福祉委員会

福祉活動の協議、見守り世帯への情報共有

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

町内の役員、会員、集まりの中で出席できない高齢者などの安否確認や情報の共有ができた。

2 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 年5～6回

●対象者 高齢者・町内会員
(対象者数10～20人)

●目的 福祉活動、町内交流

●実施事業

・カラオケ交流、昼食会

カラオケ大会を開催し、一人ひとり食材を持ち寄り昼食会を実施した。

・町内交流会

お花見、麻雀大会。

●連携・協力機関及び団体

老人クラブ

●事業成果

昼食会や行事等で出席できない方の安否確認をし、徐々に参加され交流が図れた高齢者がいた。

大和2丁目町内会

福祉委員人数	3人	世帯数	42
--------	----	-----	----

1 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 2回

●対象者 高齢者等（対象者数28人）

●目的 高齢者・ひとり暮らし高齢者の孤

●実施事業

・町内レクリエーション事業（年1回）

食事会：最近の天候・気温及び衆議院選挙等を勘案し「年忘れビンゴ大会」にあわせて実施することにより行事を延期した。

年忘れビンゴ大会：ビンゴゲームを中心に平成29年12月16日に実施した。

・新春の集い事業（年1回）

食事会、ゲーム（ビンゴゲーム等）を中心に平成30年3月25日に実施した。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ

●事業成果

会員（子供も参加）との交流を通じ、対象者の方々の近況及び健康状態を再確認することができ、その再確認を基に、今後の高齢者の福祉対策の方向性の一助となった。

2 在宅福祉サービス活動（支え合い）

●実施回数 2回

●対象者 高齢者

●目的 高齢者の長寿の祝いと健康状態の確認

●実施事業

・敬老会

75歳以上の高齢者（21名）へ記念品を贈呈。
（平成29年9月16日）

・おせち配布事業

一人暮らし高齢者（5名）へ商品券を贈呈。
（平成29年12月24日）

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ。

●事業成果

対象者宅を訪問し、健康状態等を再確認することができた。

桂木1・2丁目町内会

福祉委員人数	6人	世帯数	143
--------	----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

●実施回数 10回

●対象者 町内会役員・福祉委員・民生委員児童委員（対象者数15人）

●目的 福祉活動における役員間の情報交換・共有と資質向上を図る

●実施事業

・町内会役員会及び福祉委員会において福祉活動に関する協議の実施

福祉活動の協議・検討および見守り世帯等の情報交換と課題の共有を図った。（年7回）

・福祉研修会への参加

地域福祉勉強会、地域福祉フォーラム、地域福祉ネットワーク会議等へ積極的に参加した。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・社会福祉協議会・市役所

●事業成果

福祉委員同士のみならず町内会役員、民生委員児童委員との連携が強化され、地域福祉活動が円滑に且つ積極的に進められた。

福祉活動に対する関心が高まり、福祉委員の資質向上につながった。

2 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 6回

●対象者 高齢者・子ども（対象者数120人）

●目的 高齢者の孤立防止と世代間交流で地域のつながりづくり

●実施事業

・いきいきサロンの開催

ホットケーキミックスを使ったおやつ作り、ジェルキャンドル作り、パン作り、食事会、干支のちぎり絵作り、頭の体操等。

・餅つきとお楽しみ交流会

コマ回し・ゲーム・綿菓子コーナー



●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・社会福祉協議会

●事業成果

高齢者の孤立防止につながった。

参加者同士の世代を超えた交流が深まり、近隣のつながり作りになった。

3 在宅福祉サービス活動（支え合い）

●実施回数 年間を通じて実施

●対象者 高齢者（対象者数 70 人）

●目的 地域の支え合い、連帯意識の醸成を図り孤立防止につなげる

●実施事業

・見守り、声かけ訪問活動

一人暮らし及び高齢者世帯に対して、日常的な見守りや定期的な声かけ訪問を実施し、安否確認と世帯の状況把握に努めた。

・独居高齢者への年末の給食配布（3 人）

年末にお弁当とともにサロンで作成した干支のちぎり絵をお届けし、合わせて安否確認や生活状況の把握に努めた。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

ご近所同士のつながりを強くし、一人暮らし高齢者の安否確認と生活状況の把握につながった。

一人暮らし高齢者の話し相手となり、心配ごとの相談にのるなど、孤立防止につながった。

桂木 3・4 丁目町内会

福祉委員人数	5 人	世帯数	210
--------	-----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

●実施回数 8 回

●対象者 町内会長・役員・福祉委員・民生委員児童委員（対象者数 18 人）

●目的 福祉委員活動における役員間の情報交換・共有

●実施事業

・福祉委員会（2 ヶ月に 1 回）

福祉活動の協議・検討及び見守り世帯等に関する情報交換、課題の共有を行った。

・福祉研修会に参加

第 54 回千歳市社会福祉大会に参加。

平成 29 年度ちとせ地域福祉フォーラムに参加した。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・社会福祉協議会

●事業成果

福祉委員及び民生委員児童委員との連携強化につながり、地域福祉活動を円滑に進めることができた。

福祉活動に対する関心が高まり、福祉委員等の資質向上につながった。

2 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 6 回

●対象者 高齢者・障がい者・子ども
（対象者数 100 人）

●目的 高齢者の孤立防止と仲間づくり、地域のつながりづくり

●実施事業

・歩こう、パークゴルフ大会

指宿公園までゆっくり歩きパークゴルフを楽しんだ。年 1 回実施。2 回は雨天のため中止

・お楽しみ交流会

高齢者と子どもたちとの交流会を実施した。

夏～ゲーム&お食事会

冬～餅つき

年 2 回実施

・ふれあい日帰り旅行（年 1 回）

温泉施設の利用。

・出前講座の開催（年 1 回）

市の出前講座「カラーリング」を開催した。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・社会福祉協議会・市役所

●事業成果

参加者同士の交流により、近隣のつながりづくりにつながりました。

高齢者の閉じこもり防止につながった。

3 在宅福祉サービス活動（支え合い）

- 実施回数 18 回
- 対象者 高齢者・障がい者（対象者数 6 人）
- 目的 地域の支え合い、連帯意識の醸成を図り、孤立防止につなげる

●実施事業

- ・見守り、声かけ訪問活動（年 6 回）
一人暮らし高齢者世帯に対して、日常的な見守りや定期的な声かけ訪問を行い、安否確認と世帯状況の把握に努めた。
- ・「敬老の日」粗品配布
高齢者に永年の苦勞を謝し粗品を届け、併せて安否確認や生活状況の把握を行った。
- ・除雪支援活動（年 11 回）
一人暮らしの高齢者世帯の状況把握に努め、冬期間の除雪支援を行った。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・社会福祉協議会

●事業成果

一人暮らし高齢者等の安否確認、心配ごとの把握につながった。
地域のつながりづくりと一人暮らし高齢者等の孤立防止につながった。

桂木 5・6 丁目町内会

福祉委員人数	4 人	世帯数	128
--------	-----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 25 回
- 対象者 町内会長・民生委員児童委員・役員・福祉委員（対象者数 10 人）
- 目的 福祉委員活動における役員間の情報交換・共有

●実施事業

- ・町内会役員会
福祉活動に関する情報交換、共有を行いました。（11 回）
- ・民生委員児童委員との情報交換（1 回）

福祉対象世帯の情報交換、共有を行いました。

・福祉委員会

福祉活動の協議、検討及び見守り世帯に関する情報交換、課題の共有を行いました。（3 回）

・「福祉委員だより」の発行

福祉委員の周知、福祉イベントの案内を掲載しました。（4 回）

・福祉研修会の参加

認知症サポーターフォローアップ講座（3/4 回）、SOS ネットワーク研修会（1 回）
介護予防リーダー養成講座（2/3 回）に参加しました。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

福祉委員同士及び民生委員児童委員との連携、町内会長・役員との連携が円滑に進められた。
町内会女性部長が、介護予防リーダー研修会に参加してくれました。

2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 高齢者・障がい者（対象者数 100 人）
- 目的 実態把握
- 実施事業
・福祉台帳の更新

高齢者世帯等の状況を把握するため台帳を更新し、町内のマップを活用して、日常の見守りや声かけを行った。

●連携・協力機関及び団体

町内会長

●事業成果

福祉委員全員が、台帳に基づいて全体の把握、共有ができた。また高齢者・障がい者だけでなく、乳幼児をもつ家庭も対象にしたい。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 15 回
- 対象者 高齢者（対象者 100 人）
- 目的 高齢者の孤立防止と仲間づくり、

●実施事業

- ・さくらんぼ狩り（1回）

福祉バスを利用して八剣山果樹園まで日帰り旅行を楽しんだ。（22名）

- ・敬老会（1回）

対象者全員に手配りで案内状を届け出欠確認し、欠席の方には記念品を届けた。（43名）

- ・親睦会（1回）

町内会館で手作りのお昼ご飯、カラオケ、おしゃべりを楽しんだ。（30名）

- ・ふれあいサロン（12回）

頭や指を動かし、認知症防止によいと人気の健康麻雀を月に1回開催した。（110名）

●連携・協力機関及び団体

町内会文化部・総務部

●事業成果

高齢者、一人暮らし等の安否確認や健康状態、心配ごとなどを把握することができた。

参加者同士の交流の場となり、楽しく会話がはずみ、元気になることができた。引きこもり防止につながった。

4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

- 実施回数 年間を通じて実施

- 対象者 高齢者・障がい者（対象者数 100人）

- 目的 地域の支え合い、孤立防止につなげる

●実施事業

- ・見守り、声かけ訪問活動

一人暮らし、高齢者世帯に対して、見守りや定期的な声かけ訪問を行い、安否確認と世帯状況の把握に努めた。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員。

●事業成果

地域の高齢者、障がい者と福祉委員との信頼関係が深まり、一人暮らしや高齢者世帯等の対話が円滑になり、生活上の困りごとに対する相談や地域のつながりづくりなど孤立防止につながって

いる。

新星町内会

福祉委員人数	1人	世帯数	62
--------	----	-----	----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 5回

- 対象者 町内会長・役員・福祉委員
（対象者数 31人）

- 目的 福祉委員活動における役員間の情報交換

●実施事業

- ・福祉委員会

福祉活動の協議、検討及び見守り世帯等に関する情報交換など。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・社会福祉協議会

●事業成果

民生委員児童委員との連携強化につながり、地域福祉活動が円滑に進められた。

2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 年間を通じて実施

- 対象者 高齢者・障がい者
（対象者数 31人）

- 目的 要支援世帯（高齢者）の状況把握

●実施事業

- ・要支援（高齢者）世帯台帳の作成（更新）

日常的な支援が必要な高齢者世帯や障がい者世帯の状況を把握するため、台帳を作成し必要に応じて見守りや声かけを行った。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

要支援世帯の状況把握により、日常の見守りや声かけ訪問が円滑に行われた。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 4回

- 対象者 高齢者・地域住民・こども
(対象者数 31 人)
- 目的 高齢者の仲間づくり、地域の人間関係の構築

●実施事業

- ・ふれあいサロン（年 3 回）
おしゃべり、ゲーム等を実施した。
(9:00～12:00 まで)
- ・敬老会（年 1 回）
岳風会員による詩吟（余興）、食事会、ゲームなど。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

参加者同士の交流により近隣のつながりづくりになり、日頃対話していない人との交流に役立った。

北斗南町内会

福祉委員人数	6 人	世帯数	165
--------	-----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 5 回
- 対象者 社会的弱者（高齢者・病弱者・ひとり住まい高齢者）
- 目的 地域福祉活動の推進・福祉委員の資質向上のための研修

●実施事業

- ・福祉委員会
町内における組織的福祉活動の意義と具体的活動計画について。
担当区域別に事業対象者の状況把握及び情報交換を行った。
福祉マップの作成を行った。
- ・各種行事の支援
夏祭り（七夕）、敬老会、餅つき大会の支援を行った。
- ・福祉に関する各種研修活動等への参加
福祉研修会及び北桜コミュニティ協議会コ

ミセン祭りに参加した。

- ・福祉のための資源等の収集活動
資源回収庫にリングプル・ペットボトルキャップ、古切手等の収集箱を設置した。

●事業成果

事業をとおして町内会の福祉活動の意義について知り、福祉の大切さを実感した。

2 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 3 回
- 対象者 町内会員・児童生徒
- 目的 三世代ふれあい世代間の意識、絆を確かめ合う

●実施事業

- ・三世代ふれあいラジオ体操
夏休み中の児童生徒の健在育成を図るため、青少年部が担当し、高齢者や父母の参加により実施した。
- ・七夕祭り
七夕行事を通して町内会員相互、子ども相互、町内会全体での世代間の交流を図った。
- ・餅つき

家庭では経験できなくなった日本の伝統行事を子どもにも体験させ、文化の伝承を図るとともに世代間の交流を図った。

●事業成果

ともすると断絶する傾向のある世代間の交流を、行事をとおしての絆が深められ、日常生活でも交流の場面が見られるようになった。

三世代ふれあいラジオ体操では、高齢者の参加が減っている。

七夕祭りでは、各世代の参加があったが、特に若い母親の参加が減ってきている。

餅つきでは、高齢者の参加が多く、餅をつく若手の参加を呼びかけたが昨年より少なかった。子どもたちは増えたが、餅のつき手の確保が次年度からの課題である。

3 在宅福祉サービス活動（支え合い）

- 実施回数 1 回
- 対象者 80 歳以上の高齢者・町内会員

- 目 的 「敬老の日」にちなんで 80 歳以上の高齢者を招待し町内会員とともに長寿を祝う。

●実施事業

80 歳以上の高齢者を招待して長寿を祝い、祝い品（当年 80 歳になられた方）を贈呈し町内会員とともに益々の長寿を祈念し、交流祝賀会を実施した。

招待状は福祉委員が各人に配布し出欠を伺った。

招待者を中心にして祝賀会を実施し盛り上げることができた。

●事業成果

高齢化の進む中、招待者（90 歳以上）の出席が減っていますが当年 80 歳になられた方は楽しみにされており、出席率は 50%であった。また色々な余興を工夫して楽しく行っていました。

北斗 2 丁目自治会

福祉委員人数	2 人	世帯数	94
--------	-----	-----	----

1 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 2 回
- 対 象 者 高齢者（単身）世帯、高齢障がい者（対象者 65 名）
- 目 的
 1. 高齢者相互間の親睦・交流を図り、支え合い、助け合いの心を醸成するとともに良好な人間関係を確立する。
 2. 「出前講座」を受講し北海道のヒグマの実態及び千歳地区のヒグマの生息状態、新千歳空港の歴史等を認識し郷土愛を高揚する。

●実施事業

1. 自治会福祉懇談会（平成 29 年 6 月 26 日（日）11：00～13：30 参加者 32 名）
 - ・出前講座「千歳のヒグマについて」千歳市農業振興課畜産係 11：00～12：00

- 内容：①北海道各地に生息するヒグマの生態
②千歳市内の出没状況
③防除隊の大暑要領
④熊に遭遇した場合の対応動作等

- ・会食、懇談 12：10～13：30

女性部の手作り料理（カレーライス等）による会食。

会食後、会長の司会進行により自治会に対する要望（事業、道路等の補修、高齢世帯への対応等）及び質疑応答

2. ふれあいサロン活動平成 29 年 11 月 19 日（日）

11：00～13：30 参加者 33 名

- ・出前講座「新千歳空港の発展と歴史」千歳市空港政策課空港調整係 11：00～12：00

内容：①空港の概要と現状

②空港の歴史（空港の始まりを漫画風に描き音声を変え説明を加えていたのが印象に残る）

③空港の民営化



- ・会食、懇談 12：10～13：30

女性部の手作り料理（カレーライス等）による会食。

懇談等 ①自治会に対する要望、質疑応答

②「救急カードの利用法」について

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・社会福祉協議会・市役所

●事業成果

2 回にわたり「出前講座」を受講し、北海道におけるヒグマの生態、生息状況及び千歳地域特に人家近くに出没する実態及び新千歳空港が北海道経済の拠点・交通の要衝であることと再認識を

した。

また、女性部の手作り料理（カレーライス等）を食べながら高齢者間の親睦、交流を深めることができた。

北斗3丁目町内会

福祉委員人数	6人	世帯数	174
--------	----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 10回
- 対象者 福祉委員（対象者数5人）
- 目的 情報の交換と確認
- 実施事業

町内会役員会後に定例福祉委員会を開催することで参加率が上がった。

町内会を3ブロックに分けて担当しているので、各ブロックの情報を共有し確認しあっている。

- 連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・町内会女性部

- 事業成果

今後も継続していきたい。

2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 1回（8月5日（土））
- 対象者 後期高齢者家庭（対象者62名）
- 目的 後期高齢者の方の健康状態を確認
- 実施事業

75歳（今年中に達成される家庭）以上の家庭へ町内会開催の夏祭りへの招待券を配布し、会場となる町内会館前駐車場まで出向いてもらい歩行状態を見て健康状態を確認できた。普段の状態を垣間見るよい機会であった。

- 連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・町内会夏祭り実行委員会

- 事業成果

168世帯のうち62世帯に招待券を配布。46世帯の方が出向いてくれた。天気に左右されたが参

加率46/62で74.2%でした。今後も継続していきたい。

3 在宅福祉サービス活動（支え合い）

- 実施回数 1回（12月31日）
 - 対象者 寡婦または75歳以上の独居の方（対象者数13人）
 - 目的 新年を迎える一助になれば
 - 実施事業
- 町内会女性部と共催で、独居老人へおせち料理を配布して、新年を迎える一助にしてもらった。
- 連携・協力機関及び団体
- 民生委員児童委員・町内会女性部
- 事業成果
- 今年2名増加。今後も継続していきたい。

北斗西町内会

福祉委員人数	11人	世帯数	132
--------	-----	-----	-----

1 調査活動（実態把握）

- 実施回数 年2回
 - 対象者 福祉委員長・福祉委員
民生委員児童委員
（対象者数11人）
 - 目的 地域福祉ネットワーク活動計画の策定、情報・意見交換
 - 実施事業
- 1 平成29年度活動状況の報告及び事後の活動の打ち合わせ、一人暮らしの高齢者方々の現状確認。各種行事での成果報告および今後の行事参加者の向上について分析検討を実施し、ダイレクトメールを活用等。
 - 2 福祉委員間の頻繁な情報交換と対処要領について
 - 3 町内会年末の餅つき計画について検討
 - 4 一人暮らし世帯の除雪支援情報確認実施について
 - 5 ふれあいサロンの計画と方向性の検討
 - 6 年末の独居老人に対する宅配支援計画と予

算について

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

地区担当福祉委員が戸別訪問等を実施し、近況を把握することができ効果があった。また、町内行事と一体化し円滑かつ効果的に事業ができた。

2 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 3回

●対象者 独居老人等、町内会全員 (対象者数 51人)

●目的 各種行事を通じて交流を実施し親睦を深める。 高齢者の地域に対するニーズの把握及び交流ふれあいの強化。

●実施事業

・夏祭り会場にて、高齢者と福祉委員が面談を行い心情の把握を行うとともに他の町内会員との交流を深めたのはよかった。

・町内会餅つき、子どもお楽しみ会行事を活用し、餅つき、ビンゴゲーム及び会食を行い、なごやかに三世代にわたる交流ができたのは良好な事業となった。

・懇談会、会食、映画館紹介を実施し親睦を深め民生委員とも交流を深めた。心情の把握にも効果があり有意義なふれあいサロンになった。

・近況把握に効果があったのは良好であった。来年度についても実施していき、心情把握に努める。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

夏祭りは多数の町内会会員が参加し盛大になり情報交換と近況把握ができ、良好な状態であった。

餅つきについては、冬季ということもあり若干参加が少なかった。来年度は、検討を実施し向上に努める。

サロンについては対象者の出席が若干少なかったが、近況把握について効果があったため、継

続的にふれあいサロンを実施していく必要がある。

3 在宅福祉サービス活動（支え合い）

●実施回数 1回（除雪は86回）

●対象者 ひとり暮らし高齢者・独居老人等 (対象者数 17人)

●目的 ひとり暮らし高齢者へのおせち料理等宅配と除雪支援

●実施事業

・おせち料理などの宅配を実施し、世間話などを行い直接近況の把握に努め、健康状態を把握し直接確認できたのは良好であった。

・福祉委員会において引き続き独居老人に対する声かけを積極的に行うことを確認し、町内会役員等に働きかけることを確認した。

・一人暮らしの高齢者6世帯に対して、町内会の支援を受け、延べ121回の除雪支援を行い、生活・緊急避難経路を確保できた。また、委嘱除雪ボランティアの6名で除雪支援組織を確立し、さらに福祉委員及び町内会役員が更なる支援を実施するとともに、近況把握に努めることができた。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

対象高齢者宅を直接訪問したが、健康状態も良好であり、元気に正月を迎えられそうであった。

おせちを宅配された高齢者は喜んでいたようであり来年度も実施していきたい。

今年度は、若干雪が少なかったものの集中的な降雪があり除雪支援は困難であったが、委嘱ボランティアの方々は、献身的に実施してくれて問題なく行われた。来年度もよく計画し積極的に支援を実施していきたい。

北斗北町内会

福祉委員人数	5人	世帯数	153
--------	----	-----	-----

1 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 4回
- 対象者 高齢者、子供、町内会員
(対象者：103人)
- 目的 高齢者の孤立防止と仲間づくり
地域のつながりづくり
- 実施事業
 - ・町内親睦パークゴルフ大会
内容～パークゴルフを通じ、会員の親睦・交流を実施。年2回実施（春・秋）
 - ・夏祭り
内容～子供達の夏休みに合わせて、高齢者や地域の会員との交流会を実施。
バーベキュー、ゲーム、おやつ配付、抽選会、花火、盆踊り。年1回実施
 - ・敬老会
内容～祝賀会、食事会、歓談、余興等。
年1回実施
- 連携・協力機関及び団体
民生委員児童委員・老人クラブ
- 事業成果
一人暮らし高齢者等の安否確認や健康状態、心配ごとの把握につながりました。
参加者同士の交流により、近隣のつながりづくりになりました。
高齢者の閉じこもり防止につながりました。

2 在宅福祉サービス活動(支え合い)

- 実施回数 216回
- 対象者 病弱・高齢者・独居者
(対象者数103名)
- 目的 地域の支え合い、連帯意識の醸成を図り孤立防止につなげる
- 実施事業
 - ・除雪支援活動事業
一人暮らし高齢者世帯に対して、生活道路と安否確認のための除雪を行いました。
7世帯、214回、延べ251人で実施。
 - ・75歳以上の一人暮らし高齢者へ「お祭りチケット」の配布事業
夏祭りの行事に合わせて、「お祭りチケット(1,000円相当)」をお届けし、参加の呼びかけ

と合せて安否確認や生活状況の確認を行いました。年1回実施

- ・一人暮らし高齢者ぶらぶら巡り旅事業
一人暮らし高齢者世帯の状況把握に努め、近隣へのぶらぶら旅と買い物などの支援を行いました。年1回実施。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・福祉委員

●事業成果

近隣住民にも協力をいただき、地域のつながりづくりと一人暮らし高齢者の孤立防止につながりました。

生活上の困りごとに対する相談や細やかな支援により、安心して生活できる環境づくりにつながりました。

自由ヶ丘町内会

福祉委員人数	59人	世帯数	1270
--------	-----	-----	------

1 調査活動(実態把握)

- 実施回数 1回
- 対象者 65歳以上
- 目的 年長者名簿の作成と敬老会対象者(75歳以上)の掌握

●実施事業

- ・年長者名簿の作成
町内会在住の65歳以上の年長者名簿の作成
年1回調査実施(5月)
- ・各区長と福祉委員との連携による会員名簿の更新と状況の確認。

●事業成果

- 1 65歳以上年長者を掌握
- 2 敬老会・桜寿会への参加・入会の促進
- 3 家庭環境・家族構成・健康状態の把握

2 交流活動(ふれあい・語らい)

- 実施回数 13回
- 対象者 高齢者・福祉委員・役員
民生委員(高齢者数約500人)

- 目的 相互の親睦を図り、地域の仲間づくりと引きこもりの防止

●実施事業

- 1 パークゴルフ大会（2回）
高齢者と地域住民との交流を行った。
（回数2回：2区・6区）
- 2 お楽しみ交流会
 - （1）焼肉：3回（1区・2区・3区）
 - （2）お楽しみ会：3回（3区・4区・6区）
 - （3）そば打ち・流しソーメン：3回（3区・4区・6区）
 - （4）新年交流会：2回（1区・2区）
- 3 敬老会
改修工事終了につき、1年ぶりに復活。対象者（75歳以上）

●事業成果

毎年同じ状況ではあるが限られた予算の中で区長との連携等工夫を凝らし、多くの参加を呼びかけ、高齢者・若者・地域住民との交流に力を入れた。今年度、コミセン改良工事も終了し1年ぶりに復活した。約37%の出席ではあったが多くの人が楽しんでくれました。

桜木町内会

福祉委員人数	24人	世帯数	655
--------	-----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 5回
- 対象者 福祉委員（対象者：24人）
- 目的 福祉部活動への参加呼びかけ
- 実施事業
 - ・福祉委員会
年間5回（4/28・7/20・9/8・10/4・10/27）
 - ・フォーラム・講習会に参加（9/19・10/11）
 - ・町内会「ふれ愛だより」発行 年1回
対象310名
 - ・救急カードの点検
- 連携・協力機関及び団体
民生委員児童委員・社会福祉協議会

●事業成果

日々勉強しながら対応について学んでいる。

2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 福祉委員会の中で年2回
- 対象者 福祉委員24人
- 目的 地域の独居高齢世帯の把握
- 実施事業
 - ・町内福祉マップ点検・新しい対象者世帯の把握（310人）独り世帯、日中独り世帯、高齢者世帯
 - ・75歳以上世帯の名簿作成（210名）
 - ・いきいき100歳体操、除雪支援等のつながりなど
- 連携・協力機関及び団体
民生児童委員
- 事業成果

日常生活がだんだんできなくなった人がわかり時々支援している。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 敬老会1回 出前講座2回
その他の活動も主催
- 対象者 町内会員
- 目的 交流をして地域住民の喜びを増やしていきたい。
- 実施事業
 - ・敬老会
対象者210人→76名が参加。車イス送迎対応
 - ・生き生き100歳体操。月2回（第2・第4木曜日）対象中約20名参加
 - ・出前講座（ノルディックウォーキング）
2回30名参加
 - ・子供餅つき大会支援（12月24日）
支援者15名、委員10名、子供60名参加
 - ・夏祭り支援（8月11日）委員14名
- 連携・協力機関及び団体
民生委員児童委員・社会福祉協議会・地域包括支援センター
- 事業成果
だんだん近所での付き合いが出来なくなってきて、楽しみにしておられる方が増えてきた。これからも積極的に進めていきたい。

4 在宅福祉サービス活動(支え合い)

●実施回数 随時

●対象者 福祉委員・町内会役員

●実施事業

1. 除雪支援(対象10件)別報告
2. 見守り、声かけ活動を通じて今年度は1件の高齢夫婦と子供同居宅の事案あり。(緊急通報システムの設置の検討をしたが光回線のため設置できないとのことであった。)
3. 自宅内で転倒する人が数名いることが判明。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・町内会役員とその有志

●事業成果

突然トラブルが起きることが多く大変。除雪をしていて腰を痛めた人がいた。

北栄南町内会

福祉委員人数	10人	世帯数	307
--------	-----	-----	-----

1 啓発活動(知る・知らせる)

●実施回数 年間を通じて実施

●対象者 町内会長・福祉委員・民生委員児童委員(対象者数11人)

●目的 福祉活動における情報交換を行い、問題の早期解決に努めるとともに、委員の資質向上を図る

●実施事業

1. 福祉委員会(3回)
定期的な会合を開き、福祉事業の実施及び町内会・コミ協行事への協力・参加要領を協議・調整した。また要配慮者の情報交換、課題の共有に努めた。
2. 「町内会だより」の発行及び福祉委員の訪問等によるイベントの案内及び「救急カード」、「災害時避難行動要支援者個別計画」の推進(9回)特に各種の機会を捉えて「救急カード」の周知・活用上の注意喚起を行うとともに、千歳市と連携して「災害時避難要支援者個別計

画」の台帳整備を行った。

3. 北栄・新富福祉委員会の役員会・研修会への参加(5回)

北栄・新富の6町内会合同で福祉活動の協議・検討を行うとともに、合同研修会により民生・児童委員と交流し、情報の共有を図った。

4. 福祉研修会への参加(7回)

市町連、社協及び西区地域包括支援センターの研修会に参加をして、福祉の現状・問題点、その解決法を学習した。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・社協・地域包括支援センター・市役所

●事業成果

福祉事業に対する地域の理解を深め、福祉委員及び民生委員児童委員との連携強化につながり、地域福祉活動が概ね円滑に進められた。また、福祉委員の資質向上を概ね図ることができた。

2 調査活動(実態把握)

●実施回数 年間を通じて実施

●対象者 高齢者特に独居者・障がい者(対象者数200人)

●目的 要支援配慮世帯の状況把握

●実施事業

1. 高齢者名簿の更新
日常の声かけ、訪問活動により高齢者世帯特に独居高齢者世帯や障がい者世帯の実態を把握して、高齢者名簿を整備した。
2. 災害福祉マップの更新
特に独居高齢者、障がい者世帯等の現況を把握し、災害時の避難誘導に備えた福祉マップを整備した。
3. 災害時避難行動要支援者個別計画に実態把握の実施
希望された対象者の個別計画申請手続き業務の実施を通じて、市と連携して災害時の要支援世帯の状況を把握した。(対象者15名)
4. 独居高齢者等の除雪支援者の選考調査
今年度の除雪支援対象者の選考のため、訪問等により調査を実施した。(支援対象者6名)

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・社協・市役所

●事業成果

一人暮らし高齢者の安否確認や健康状態の把握が概ねできた。

また、福祉委員や高齢者間の交流ができ、地域のつながりに役立った。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 年間を通じて実施

●対象者 町内会員特に高齢者・障がい者・子ども等
(対象者数 300 人)

●目的 高齢者特に独居高齢者の孤立防止と地域のつながりづくり

●実施事業

1. 介護予防サロン（月 4 回、47 回）

介護予防体操、おしゃべり、食事会（第 2・4 火曜日）を実施し毎回 20 名以上が参加し、交流を深めるとともに、健康管理に努めた。

2. ふれあいサロン（11/20）（参加者 50 名）

65 歳以上の高齢者を対象に、食事会、ゲーム、歌声喫茶、ビンゴ大会を実施しふれあいが出来、手料理が大好評であった。

3. お楽しみ会（6/10）

北栄・新富 6 町内会福祉委員合同による高齢者の交流を実施し、余興、食事会、抽選会等で盛況であった。町内からは、高齢者 20 名福祉委員 7 名が参加した。

4. 三世代交流餅つき大会（4/29）

親子、孫、役員が一体となり餅つきを体験させ、終了後雑煮等で会食を行うとともに、一人暮らしの高齢者には福祉委員が安否確認を兼ねて「餅パック」を 35 名に宅配した。



5. 町内会敬老会（9/24）

75 歳以上の高齢者に対し、福祉委員が案内して参加者を掌握、当日の不参加者 50 名に安否確認を兼ねて「記念品」を宅配した。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・社協・地域包括支援センター

●事業成果

一人暮らし高齢者等の安否確認や健康状態の把握が概ね出来た。

また、福祉委員や高齢者間の交流ができ、地域のつながりに役立った。

4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

●実施回数 年間を通じて実施

●対象者 高齢者特に独居者・障がい者
(対象者数 200 人)

●目的 高齢者特に独居高齢者の孤立防止と地域のつながりづくり

●実施事業

1. 見守り・声かけ訪問活動

一人暮らし高齢者世帯等に対して、日常的な見守りや声かけ訪問を行い、安否確認と世帯状況の把握に努めた。

2. 一人暮らし高齢者等へのお餅セットや記念品宅配（2 回）

三世代交流餅つき大会で独居者に対し、お餅パックを 35 名に宅配した。又町内の敬老会への不参加者の高齢者 50 名に記念品を宅配した。

3. 独居高齢者等の除雪支援活動

独居高齢者及び障がい者の 6 世帯を厳選して、福祉委員 5 名により除雪支援を実施した。

4. 災害時避難行動要支援者の個別計画の推進

市と連携し、申請希望者の手続き業務を行う等により、要支援世帯の状況を把握した。

(対象者 15 名)

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・社協・市役所

●事業成果

特に一人暮らし高齢者等の孤立死を未然に防止でき、安心・安全な地域づくりに役立った。

北栄東町内会

福祉委員人数	9人	世帯数	235
--------	----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 10回
- 対象者 福祉委員・民生委員児童委員
(対象者数12人)
- 目的 福祉委員の資質の向上、委員間の情報交換
- 実施事業
 - ・福祉委員会（民生委員を含む）
各委員の担当地区の状況を委員間で情報交換し、必要により対応、処置を講じた。
 - ・福祉部が行う行事
一人暮らし高齢者の交流会・敬老会を行った。
北新コミュニティ等の機関・団体等の行う事業に積極的に参加、福祉に関する知識及び能力の向上に努めた。
- 事業成果
委員の知識向上と能力を高揚することができた。

2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 年度初めに1回、変更が5回
- 対象者 高齢者150名・単身者50名
- 目的 高齢者の把握
- 実施事業
 - ・高齢者名簿の作成
年度初めに65歳以上の高齢者の地区別に区分したものを作成し、委員活動の資とした。
 - ・一人暮らし、高齢者名簿の作成
高齢者の中で、一人暮らしの方の名簿を作成し重点指向の資とした。
 - ・高齢者住居の地図作成
訪問を容易にするために作成した。
- 事業成果
委員の知識向上と能力を高揚することができた。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 48回
- 対象者 高齢者・子ども（親）
(対象者数110人)
- 目的 相互に親睦を深め、孤独感の解消
- 実施事業
 - ・一人暮らし高齢者交流会
一人暮らし高齢者を招き食事をしながら会話し、唄と余興を楽しんだ。
 - ・敬老会
70歳以上の高齢者を招いて、食事を提供し、余興、カラオケを楽しみ互いの交流を深めた。
 - ・カラオケサロン（毎週水曜日）
13時から15時の2時間お茶を飲みながら、カラオケを楽しんだ。
 - ・餅つき（1回）
餅つきを通じて親子と高齢者の三世代交流に成果があった。
- 事業成果
交流を深め、孤独感の解消に成果があった。

4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

- 実施回数 年間を通して実施
- 対象者 高齢者・障がい者
- 目的 孤立の防止
- 実施事業
 - ・見守り、声かけ訪問
日常的に生活状況を把握し、その状況によって訪問し安否の確認を行った。
- 事業成果
孤独死の防止に役立った。

新富西町内会

福祉委員人数	4人	世帯数	180
--------	----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 2回
- 対象者 サロン会（60歳以上の方）

●目的 近隣とのつながり、情報共有、心の健康維持

●実施事業

・第1回サロン会は5月、第2回サロン会は8月に実施。町内在住の60歳以上の方を対象に回覧にて参加を呼びかける。手作りの軽食有り。ゲーム、かみかみ体操、歌ありでとても楽しかったです。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ

●事業成果

参加者はいつも同じでもう少し増えるといいです。(20人～25人位)

2 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 2回

●対象者 敬老会 73歳以上

●目的 会を通じて交流を活性化し独居高齢者の参加を促す。

●実施事業

1. 敬老会 (97名)

町内会在住73歳以上の方全員に福祉委員(4名)で案内状を渡した。

ゲーム・クイズ・歌・食事・団らんで楽しんだ。

2. 北新コミュニティセンター主催「お楽しみ会」

(100名) 65歳以上の独居高齢者を対象に招待状を配布した。7月に実施。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・地域包括支援センター

●事業成果

参加人数 35名でした。サロン会の時より出席者が多くてうれしかったです。

3 在宅福祉サービス活動（支え合い）

●実施回数 年間を通して実施

●対象者 独居者・高齢者（対象100人）

●目的 地域の支え合い、孤立防止につなげる

●実施事業

・月1回、老人クラブ会員（福祉委員を含む）に

よる会食会あり。その中で近隣の啓発活動や交流活動をしている。老人クラブへの増員声かけの中で独居高齢者世帯の安否確認や健康状態の確認をしている。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・社会福祉協議会・地域包括支援センター

●事業成果

参加者同士の交流により近隣のつながりづくりにつながった。

新富東町内会

福祉委員人数	16人	世帯数	274
--------	-----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

●実施回数 6回

●対象者 福祉委員・民生委員児童委員・町内会役員等（対象者数25人）

●目的 福祉委員活動における民児協委員また役員間の情報交換・共有

●実施事業

・福祉委員会、役員会、総会において各福祉委員と民生委員児童委員見も協力していただき啓発活動を通じて一人暮らしの方、また、高齢者の方々の見守りの強化を依頼する。

・一人暮らしの方と高齢者に振り込み詐欺や悪徳商法、防災防火に関する注意を掲載した葉書を提出しました。（1回）

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・社会福祉協議会

●事業成果

福祉活動に関心が高まり福祉委員同士の連携強化が強まりました。

2 調査活動（実態把握）

●実施回数 年4～5回

●対象者 ひとり暮らしの方・高齢者（対象者30～45人）

●目的 居住者が市営住宅に多く実態把

握のため

●実施事業

年々一人暮らしや高齢者の方が増加しており民生委員児童委員さんとともに年5～6回巡回をしています。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・地域包括支援センター
社会福祉協議会・警察署

●事業成果

少しずつ成果が上がっている。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 15回

●対象者 一人暮らしの方・高齢者・障がい者等の方（対象者数30人）

●目的 町内会・地域高齢者との仲間づくり

●実施事業

- ・茶話会、食事会、カラオケ同好会との合同サロンといきいき百歳体操の方と合同ふれあいサロンを年7～8回行っています。
- ・夏には子供夏祭りでレクレーション、ゲーム、ビンゴゲームなどで楽しみ北新コミ協地域高齢者等の方々とゲーム、カラオケ等で仲間づくりも行っています。9月には町内会の敬老祝賀会も行っています。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・社会福祉協議会・福祉委員

●事業成果

町内会の一人暮らしの方々と高齢者の仲間づくりや地域の高齢者との方々とも交流が出来て仲間づくりができていると思われます。

4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

●実施回数 1回

●対象者 独居者（対象25人）

●目的 一人暮らしの方々の安否確認・健康状態の把握のため

●実施事業

・年末に一人暮らしの方にみかん、パックごはん、お菓子を持参して各委員の担当地区の方の所へ

宅配をしました。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・福祉委員会

●事業成果

いつも喜んでいただいています。

新富中町内会

福祉委員人数	14人	世帯数	300
--------	-----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

●実施回数 8回

●対象者 福祉委員・民生委員児童委員
（対象者数13名）

●目的 救急カード設置、更新状況の確認、福祉委員活動、計画の立案

●実施事業

- ・福祉、民生委員児童委員合同会議（8回）
- ・「サロン」「小地域福祉ネットワーク活動推進事業」開催前に打ち合わせ会議を3回実施。
- ・介護予防サロン「いきいき百歳体操」の計画及び実施。基本的には毎週水曜日10:00～12:00毎月最終日には茶話会を実施。
- ・救急カード設置状況の把握・更新の推進
「サロン」開催。案内文書配布時に2名1組で戸別訪問を行い把握及び更新の推進。
- ・千歳市社会福祉協議会等の各種研修会、講習会に参加し知識の習得、能力の向上を図る。
- ・北新コミュニティ協議会、出前講座に参加し6町内会福祉部との連携を図った。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・社会福祉協議会・北新コミュニティ協議会

●事業成果

訪問活動時に複数で訪問することにより相手に安心感を与え、効果は大きかった。

複数回の会議開催により、目的の共有ができ、事業等の運営がスムーズに進んだ。

研修会・講習会で得た知識を会議で報告し、全体のスキルアップにつながった。

2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 町内会全世帯
(対象者数 305 世帯以上)
- 目的 要配慮者世帯(者)の把握
災害時及び緊急時対応
- 実施事業
 - ・「救急カード」「要配慮者」「町内会全世帯台帳」更新、確認
「サロン」3回「お楽しみ会」1回の開催案内時に聞き取り調査、確認をする。
 - ・「災害時要配慮者」の避難方法「地域支援者」の確保と把握
町内会防災部と連携して防災設備、避難経路の確認
 - ・防災講習会に参加し知識を取得
窓口センターによる防災訓練にも 32 名参加する。
- 連携・協力機関及び団体
民生委員児童委員・窓口センター・防災センター
- 事業成果

「サロン」の時福祉委員、民生委員児童委員が訪問してお喋りしながら和気あいあいと聞き取り調査をした。防災訓練は消火器を使う練習をした。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 サロン3回・お楽しみ会1回・介護予防体操50回
- 対象者 町内会会員高齢者全員
(対象者 120 人)
- 目的 高齢者の孤立防止
高齢者の体力作り
- 実施事業
 - ・「サロン」(3回)(小地域福祉ネットワーク活動推進事業含む)
午前は出前講座など外部の支援を受け、福祉委員手作りの昼食、午後は参加者が自由にお喋り、将棋、囲碁などを楽しむ。また、福祉委員の手作りゲームで楽しんだ。



- ・お楽しみ会(北新コミュニティ福祉部主催)1回開催
福祉委員・民生委員児童委員が戸別訪問し参加の呼びかけをし状況を確認する。
- ・介護予防サロン・いきいき百歳体操の実施
毎週水曜日 10:00~12:00、年 50 回実施
月末は茶話会を開き親睦を深めた。コグニサイズのトレーニングを実施。

- 連携・協力機関及び団体
民生委員児童委員・社会福祉協議会
北新コミュニティ

- 事業成果
戸別訪問時、複数人での活動は安心感を与え円滑な活動ができ、今後も続行する。
「サロン」開催時のゲームは皆さん積極的にまた真剣に参加していた。
出前講座などの外部支援の導入により、楽しさが増えたと好評でした。

4 在宅福祉サービス活動(支え合い)

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 高齢者、障がい者(対象者 100 人)
- 目的 地域の支え合い、孤立防止につながる
- 実施事業
 - ・生活支援活動
一人暮らしの高齢者及び障がい者世帯の状況把握に努め買物支援の手続き、また、送迎を行った。
灯油ストーブの点検、換気口清掃を行った。
- 連携・協力機関及び団体
民生委員児童委員・社会福祉協議会

●事業成果

高齢者の孤立防止につながった。

安心して生活できる環境づくりにつながった。

新富北町内会

福祉委員人数	17人	世帯数	551
--------	-----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

●実施回数 4回

●対象者 福祉委員・民生委員児童委員・町内会役員（対象者数30人）

●目的 福祉委員活動に資する情報の共有

●実施事業

・福祉委員会

福祉活動に関する福祉委員相互の意思の疎通を図り、事業の円滑な実施に資すると共に、要援護者の生活環境に関する情報を交換し、特定の要援護者の見守り継続と福祉情報を共有した。

●事業成果

福祉委員相互の認識をそろえ円滑な事業推進に資するとともに、町内要援護者に関する情報を共有し福祉委員の意識の向上を図った。

2 調査活動（実態把握）

●実施回数 年間を通じて実施

●対象者 高齢者、障がい者（対象者数222人）

●目的 要支援世帯の状況把握

●実施事業

・高齢者名簿、特定要援護者の災害誘導「サポート」等現況早見表の作成（更新）

独居高齢者、特定要援護者世帯等の恒常的支援が必要な状況を把握するため、高齢者名簿、特定要援護者の災害誘導「サポート」等現況早見表を作成（更新）し、福祉委員による見守りや声かけに活用した。

●事業成果

定期的な更新を実施し、福祉委員による見守り活動等に資するとともに災害発生時の特定要援護者の支援について認識を統一した。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 101回

●対象者 高齢者（対象者数180人）

●目的 高齢者の交流機会の継続的促進

●実施事業

・敬老感謝のつどい

80歳以上の高齢者に記念品を贈呈するとともに会食余興で親睦を深めた。

・一人暮らし高齢者交流会

独居高齢者の交流機会をつくり女性部の手作り料理で健康と長寿を祝った。

・ふれあいサロン（7回）

カラオケ以外の懇談・囲碁・将棋等で親交を深めた。

・いきいき百歳体操（92回）

虚弱にならない、元気になる、自立できるを目標に月平均7回実施し、延べ1,058人が体力の維持・回復を図った。

●事業成果

閉じこもりがちな高齢者に外出の機会を与え、他的高齢者と交流し孤立を防止するとともに相互の親交を深めることができた。

4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

●実施回数 50回

●対象者 除雪困難世帯（3帯）

●目的 除雪困難世帯の日常生活支援

●実施事業

・除雪困難世帯・指定避難所の除雪作業支援

民生委員からの情報及び高齢者名簿から除雪困難者を調査し、町内会有志（主として町内会役員）で、除雪困難世帯・指定避難所の除雪を支援した。

●事業成果

比較的小雪、暖冬で例年に比して作業回数は少なかったが対象世帯から支援人員に対する多くの謝意があった。

信濃 1 丁目町内会

福祉委員人数	4 人	世帯数	106
--------	-----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 3 回
- 対象者 福祉委員・民生委員児童委員
町内会役員（対象者数 12 人）
- 目的 福祉委員活動における各委員間の情報交換
- 実施事業
・福祉委員会（3 回）
福祉活動の協議、一人暮らしの高齢者世帯等、見守り世帯に関する情報交換を行うとともに課題の共有を図った。
- 連携・協力機関及び団体
民生委員児童委員・社会福祉協議会・地域包括支援センター
- 事業成果
福祉委員・民生児童委員・町内会役員同士との連携強化を図り、見守り世帯への情報交換の共有に努め、円滑な活動に努めた。

2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 一人暮らし高齢者、高齢者世帯（対象者数 63 人）
- 目的 地域の支え合い
- 実施事業
1. 見守り及び声かけ訪問活動
一人暮らしの高齢者及び高齢者世帯に対して、日常的な見守りや健康状態などの声かけを行い、安否の確認に努めた。
また、オレオレ詐欺等の被害に遭わないように気をつけるよう声かけをした。
- 連携・協力機関及び団体
民生委員児童委員・社会福祉協議会・地域包括支援センター
- 事業成果
一人暮らしの高齢者及び高齢者世帯に対して、

安否確認を行うことができた。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 2 回
- 対象者 町内会会員
- 目的 親睦交流会
- 実施事業
1. 日帰り研修
9 月 10 日（日曜日）20 名参加。ユニニの湯でパークゴルフ、入浴、食事会を実施し交流を深めた。
2. 交流会・敬老会
10 月 15 日（日曜日）信濃町内会館。大人 27 名子供 3 名、合計 30 名参加。
女性部の協力を得て、信濃町内会館において高齢者から子供までクイズ、ビンゴゲーム、カラオケを実施し、交流会及び敬老会を実施し、町内会員相互の交流を図った。
- 連携・協力機関及び団体
民生委員児童委員
- 事業成果
敬老会を含めているため、一人暮らしの高齢者の参加があり、また、子供の参加により世代間の交流が見られるなど、地域に根ざした活動を図ることができた。

4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

- 実施回数 19 回（12 月から 3 月までの除雪）
- 対象者 一人暮らし高齢者・高齢者世帯（対象者数 4 人）
- 目的 地域のささえあい
- 実施事業
・一人暮らし高齢者・高齢者世帯等に対して、生活道路確保と安否確認のため町内会長、福祉委員を中心に支援者が除雪を行い、生活道路を確保した。
- 連携・協力機関及び団体
民生委員児童委員・社会福祉協議会
- 事業成果
各 4 戸の独居世帯に対し、12 月 4 回、1 月 7 回、2 月 6 回、3 月 2 回合計 19 回除雪を実施し

生活道路の確保に努めた。

支援者も高齢化してきており、平日は若い世帯の方からの支援が勤務の関係上、難しく負担が増してきている。

信濃 2 丁目町内会

福祉委員人数	12 人	世帯数	480
--------	------	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 7 回
- 対象者 会長・町内会役員・福祉委員
民生委員児童委員（対象 40 人）
- 目的 役員相互の情報交換、課題等の共有・資質向上

●実施事業

- ・福祉委員会（年 7 回）
社会福祉協議会及び市町内会連合会が主催する地域福祉活動研修会に参加し、知見を深め資質向上に努めた。（開催の都度）
- ・各種福祉研修会に参加
各種地域福祉研修会に参加し、資質向上に努めました。
- ・出前講座の開催
年 2 回のふれあい交流会及び敬老会の前段 1 時間を市の出前講座を利用し福祉に関する講話を受講した。（年 3 回）

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・社会福祉協議会・地域包括支援センター

●事業成果

福祉委員をはじめ、役員間の連携が深まり課題等の共有ができ福祉活動が円滑に進められました。

高齢化に伴い福祉活動に対する関心が高まり、任務の重要性を共有し資質向上につながりました。

2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 通年

- 対象者 高齢者・障がい者（対象 120 人）
- 目的 要支援世帯・単身高齢者の状況把握

●実施事業

- ・要支援世帯台帳の作成（更新）
要支援高齢者、単身高齢者、障がい者の状況把握のため情報交換を行いながら「要支援世帯台帳」を作成した。作成には常に最新の状況に努めた。
- ・75 歳以上全員の台帳作成（更新）

現状把握を容易にするため、75 歳以上全世帯の台帳を作成し、日常的な活動に活用し異変の早期発見に努めた。特に健康状態・困りごとに気を配りました。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・社会福祉協議会

●事業成果

担当地区福祉委員と住民間に信頼感が深まり、情報が有効に活用されるなど福祉活動が円滑に進められました。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 3 回（ふれあい交流会 2 回・敬老会）
- 対象者 ふれあい交流会（全世帯）敬老会（75 歳以上）（対象者 280 人）
- 目的 仲間づくり、引きこもり防止、地域づくり

●実施事業

- ふれあい交流会（前段 1 時間：出前講座、後段 1 時間：懇親会）
 - ・1 回目 6/24（土）参加者 56 人
出前講座（腰・膝の痛みを予防するには）
 - ・2 回目 11/25（土）参加者 53 人
出前講座（コンサート、童謡、福祉トーク）
- 敬老会（対象者 75 歳以上）
9/21（木）75 歳以上の方を招き赤飯で会食し、余興を楽しみながら長寿と健康を祝いました。欠席者には赤飯を宅配しました。参加者 67 人
出前講座（詩吟 2 題）

●連携・協力機関及び団体

●事業成果

ふれあい交流会・敬老会の案内状の配布は担当地区福祉委員が配った。その際手渡しで行い会話をしながら健康状態、困りごと等の把握につなかりました。

参加者に対して仲間づくりのきっかけの場を提供できました。

4 在宅福祉サービス活動(支え合い)

●実施回数 通年

●対象者 要支援高齢者/障がい者

●目的 孤立防止・支え合い・生活不安の軽減(除雪支援)

●実施事業

・見守り、声かけ訪問

一人暮らし高齢者・要支援高齢者・障がい者に対し、日常的な見守りや声かけ訪問をし、現況把握に努めました。

・除雪支援活動

身体的な理由により除雪労力の困難な世帯に対し、除雪支援を行い生活不安の軽減を図った。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・社会福祉協議会

●事業成果

見守り声かけ訪問を行い孤立しない、させないを目指した環境づくりにつながりました。

高齢化が進み除雪支援対象者が増加する一方で、支援者も高齢になり担い手の確保が困難な状況になっている。

信濃3丁目町内会

福祉委員人数	13人	世帯数	305
--------	-----	-----	-----

1 啓発活動(知る・知らせる)

●実施回数 2回

●対象者 福祉委員(対象者数12人)

●目的 独居高齢者の近況(現況)の把握

●実施事業

1. 福祉委員会:年2回実施(対番訪問者による近況情報)

(1)避難行動要支援者名簿確認、地域支援者16名

(2)災害時避難行動要支援者名簿、個別計画推進16名(2名登録抹消)

(3)福祉委員会にて計画

除雪支援は滞りなく終了した。29年度7名支援者:15名

2. 救急カード整備

(1)福祉部・福祉委員が主体となり、会員・家族の60歳以上を対象に実施した。29年度:9名(転入者:1)対象

(2)記入後は、所定のケースに入れて玄関など見やすい場所に設置

(3)個人情報の漏洩防止

●事業成果

1. 福祉委員会の情報交換、福祉マップの修正

2. 避難行動要支援者名簿、該当者:名簿の修正死去2名、施設入居者1名。29年度12月市福祉課にて更新。現在:16名

3. 救急カード賛同者は276名。29年度:9名

4. 除雪支援は喜ばれた

2 調査活動(実態把握)

●実施回数 2回(10月26日)

●対象者 15名

●目的 独居高齢者の近況(現況)の把握

●実施事業

調査活動(実態調査)

1. 福祉委員会における、情報の共有、民生・児童委員参加

(1)各委員による対象者の近況発表、情報の共有

(2)対象者名簿の見直し

(3)避難行動要名簿作成 修正・更新12月2名削除除雪支援の調査・計画10世帯に対し実施

(4)救急カード整備プランの計画・実施(60歳以上)新規登録者:9名

●事業成果

1. 対象者の近況を把握した

2. 除雪支援は感謝された

3. 救急カード整備は、今年度 60 歳以上 9 名該当した。(毎年度：60 歳以上実施)
4. 「個別計画台帳」修正 2 名登録抹消された

3 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 町内会行事による
- 対象者 招待者 134 名
- 目的 祝賀会(長寿を祝う会として)
- 実施事業 交流活動（ふれあい・かたらい）
 1. 敬老会（9 月 21 日）
 - (1) 町内会高齢者（75 歳以上）に招待状を 135 名に配布 参加者：55 名
 - (2) 芸能会・カラオケ・ビンゴゲーム等を実施
 - (3) 女性役員等の手作り料理でもてなす
 - (4) 参加できない招待者にお祝いの「紅白まんじゅう」を配布（80 名）
 2. ふれあい餅つき大会（12 月 17 日）
 - (1) お年寄り・子供を対象（クリスマス会を兼ねて）
 - (2) 参加者 90 名（児童：37 名、千子連：4 名、父兄：21 名、会員参加者：28 名）
 - (3) 参加できない高齢者に注意書きを添えて「餅」を届けた（19 名）
- 3. おたのしみサロン（年 8 回）出前講座、カラーリング
 - (1) 町内会自前サロン（カラオケ、各種ゲーム、麻雀、カード遊び）等
 - (2) 出前サロン（赤十字芸能団、スポーツ振興会）
 - (3) 各サロンには軽食（昼食）を準備した。
- 4. パークゴルフ

6 月、7 月、9 月、の 3 回実施し平均 18 名参加 延べ 56 名参加
- 事業成果
 1. 敬老会参加者：135 名中 55 名が参加して、盛大に終了
 2. ふれあい餅つき・子供クリスマス会は、大勢（90 名）の参加で賑わった。
 3. おたのしみサロンは町内の恒例となり、参加者は毎回楽しみにしている。
 4. 出前講座「カラーリング」好評 次回も要望有り「赤十字芸能団」の支援受け

5. パークゴルフは月 1 回であったが、参加者は楽しみにしている。

4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

- 実施回数 15 回（除雪支援・降雪時を基準）
- 対象者 7 名
- 目的 特に高齢者の災害時等避難経路確保・見守り
- 実施事業
 1. 独居高齢者宅の把握（防災・安全・その他）
 - (1) 独居高齢者宅（障がい者を含む）の要除雪援護調査
 - (2) 除雪支援計画：降雪時（11 月下旬～3 月）
 - (3) 降雪時（11 月下旬～3 月）の通路確保

7 世帯に対して、15 名の協力者が実施した。

（見守りを兼ねて）延べ 169 回、242 人実施
 - (4) ふれあい餅つき大会に参加できない独居高齢者に「餅」を配布し、近況の把握を実施した。
 2. 情報収集
 - (1) 除雪実施時に近況の掌握
 - (2) 日常の見守りの声かけ運動
- 事業成果
 - 1 要除雪援護者 7 名への除雪支援
支援者 15 による支援（延べ 169 回実施）
 - 2 要除雪援護者から感謝された。
 - 3 年末「餅」の配布を実施、喜ばれた。

信濃 4 丁目町内会

福祉委員人数	10 人	世帯数	458
--------	------	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 福祉部会同 14 回研修会 2 回
- 対象者 町内会役員・福祉委員
民生児童委員（対象者数 10 人）
- 目的 福祉委員活動における役員の情報交換・共有、能力向上
- 実施事業
 - ・福祉委員（部）会同 14 回実施しました

高齢者の実態把握と問題点の解明を図った。
福祉活動の協議・検討及び高齢者世帯に対する
情報の交換、課題の共有を行った。連絡事項、
町内行事の先取りにより円滑化を図った。

・福祉研修会（2回）

地域福祉の研修会に出席し、福祉活動に対する
関心が高まった。

※福祉委員の活動が若い人に理解されず〔PR
不足〕福祉委員の担い手がいない。今後の活動
に支障をきたすとともに、1人の活動に負担が
かかる。（行事・福祉活動を削減するか）今後
の大きな課題である。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・社会福祉協議会

●事業成果

福祉委員同士の連携強化と情報の共有、福祉活
動が円滑に進められました。

福祉に関する知識の向上を図った。

福祉便りを「サロン便り」で情報の提供を図り
ました。

2 調査活動（実態把握）

●実施回数 年間を通じて実施

●対象者 高齢者・障がい者

●目的 要支援世帯の状況把握

●実施事業

・要支援台帳の作成

日常的な支援が必要な高齢者世帯や障がい
者世帯等の状況を把握するため、要支援者世帯
台帳を作成し、必要に応じて見守りや声かけを
行った。

・福祉マップの作成（更新）

高齢者世帯や障がい者世帯等の状況を把握
し、日常の見守りや非常時に備えた福祉マップ
を更新した。

・救急カード交付台帳の作成（更新）

町内会未加入の高齢者を、加入促進させるの
が今後の課題である。

・避難カードの確認（避難行動要支援者名簿の共
有）当初26名、現在14名

年々減少していく名簿を今後どのような形

で維持、管理するか検討する必要有り。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・社会福祉協議会・市役所

●事業成果

要支援台帳、福祉マップ、救急カード等の更新
により日常生活の見守りや声掛け訪問が円滑に
行われるようになったとともに、災害時の備えに
もつながっている。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 5月～10月まで毎日

●対象者 町内在住者全員

●目的 高齢者と子供の交流機会を提供
する。継続的な健康づくりと地域
のつながり。

●実施事業

・ラジオ体操（信濃第2公園）5月1日～10月
31日。

内容：健康づくり及び地域のつながり

毎日実施、平均参加27名、小学生1名、中
学生2名は、参加をして5年になります。

最高年齢90歳で元気貫きます。子供を除く
平均年齢は79歳。

夏休み期間中の子供ラジオ体操参加者が少
なく平均7名、出席率の向上に工夫する。新1
年生2名に対して皆勤賞として、町内会長から
表彰と景品を渡した。

4月6日（入学式）～5月13日（町内花見）
鯉のぼりを掲揚し、その下で実施するラジオ体
操が好評である。最終日甘酒で次年度も元気で
再会を誓い乾杯をした。

ラジオ体操以外にも体力増進の運動を考案
し、参加者の健康管理に寄与したい。健康管理
ばかりでなく、どのようにして楽しくできるか
社協等の協力を得たい。

・陽だまりサロン

毎月第1・3火曜日 個人宅を解放し実施。
（担当 米満玲子）茶話会を中心としたゲーム、
健康づくり、食事会、研修旅行等、サロン便り
を3回発行した。

・カラオケ同好会

歌を中心としたゲーム、食事会等
毎月第2・第4火曜日 26回実施した。延べ参加人数 328人

・さわやかパークゴルフ

健康と仲間づくりを行った。町内大会2回実施 32名参加。同好会6回実施延べ80名参加。岩見沢で実施。

・七夕まつり

7月7日（土）信濃第2公園 60名参加



・クリスマスの集い

12月16日（土）連合会館で実施。40名参加

・高齢者の集い

10月14日（土）60名参加。食事会、余興、ゲームなど

・日帰り旅行

10月14日（土）洞爺湖方面、大人31名、子供7名参加。果物狩り、車内でのゲーム

・対面式（子供と見守り隊の感謝の食事会）

3月3日（土）連合会館で参加者52名

・子供みこし

8月26日（土）信濃第2公園

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

健康増進と地域の絆作りに貢献したい。

夏休み期間中は高齢者と子供たちの絆を深めました。

4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

●実施回数 年間を通じて実施

●対象者 高齢者・障がい者・高齢者を介護する家族

●目的 コミュニケーションを図り逐次会話を通じ生活環境、健康状態を把握するとともに要援護者の精神的空洞化を防止する

●実施事業

・一人暮らし高齢者

一人暮らし高齢者世帯に対して、日常的な見守りや声かけ訪問を行い、安否確認と世帯状況の把握に努めるとともに除雪支援を実施した。

・80歳以上の高齢者（プレゼント）

毎月第一土曜日に福祉部全員でメッセージカードを添えて訪問。

・高齢者（入院を含む）を介護する家族（通年）

家族との会話を重点に生活状況の相談を行った。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

逐次会話を通じ生活環境・健康状況を確認するとともに高齢者の孤立防止に努めた。

参加者同士の交流により近所づきあいのつながりに貢献しました。

プレゼントを楽しみに待っていてくれるので、福祉部員も大きな励みとなっている。

富士町内会

福祉委員人数	25人	世帯数	505
--------	-----	-----	-----

1 調査活動（実態把握）

●実施回数 1回、6月5日（月）

●対象者 独居32名・老世帯34世帯（対象者100名）

●目的 一人暮らし高齢者、老世帯の安否確認とコミュニケーション作り。

●実施事業

・温もり弁当配付事業

福祉部員による温もり弁当の配布（130食）

回覧板でPR

●事業成果

喜ばれ、継続事業となっている。

2 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 5回

●対象者 75歳以上70人参加

●目的 長寿を祝い連携をはかる。

●実施事業

・敬老会（1回）9月18日

食事やイベント（北斗中リコーダー部・中野みどり社中日本舞踊）を実施し、福祉部等役員が送迎車両を7台手配し参加者の支援を行った。

・ふれあい交流会（1回）10月2日

日帰りバス旅行。

ばらと公園散策。49名参加

・文化芸能発表会、10月22日

カラオケ女性23名男子11名参加

ハワイアンダンス、踊り、詩吟、特別出演「ティチャーズ」、作詞家菊池勝氏

・餅つき交流会、12月17日（参加95名）

参加者95名のうち、子供の参加が55名、高齢者15名、その他25名。子供たちも餅をついた。雑煮をみんなで頂いた。

・芋植え収穫祭

5月7日に106名で芋の植え付けを行った。

10月1日に105名で収穫を行った。カレーライスを作り食事をし、子供たちは自分で収穫した芋をおみやげに持ち帰った。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・社会福祉協議会

●事業成果

収穫祭や餅つき大会は、会員や子どもの参加も多く世代交流ができた。

すべてが会員に喜ばれ、待たれる事業となっている。

3 在宅福祉サービス活動（支え合い）

●実施回数 10回、6月～3月

●対象者 独居32名・老世帯34名
障がい者13名（対象者数124名）

●目的 要支援者の状況把握と安否確認

●実施事業

・安否確認訪問

福祉部主管（含民生児童委員）と福祉委員全員で支援の必要な高齢者世帯、障がい者の状況把握を行い、問題があれば会長へ連絡。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・社会福祉協議会

●事業成果

つきたての餅の配布は大好評であった。

長都駅前町内会

福祉委員人数	10人	世帯数	440
--------	-----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

●実施回数 15回

●対象者 町内会役員・福祉委員
民生委員児童委員
（対象者数28人）

●目的 福祉委員活動における役員間の情報交換・共有及び資質向上

●実施事業

・福祉委員会（毎月1回）

福祉活動について検討及び見守り世帯等に関する情報交換を行った。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ

●事業成果

福祉委員同士及び町内会、民生委員児童委員との連携強化につながり地域福祉活動が円滑に進められた。

2 調査活動（実態把握）

●実施回数 年間を通じて実施

●対象者 高齢者・障がい者
（対象者数65人）

●目的 要支援世帯の状況把握

●実施事業

- ・要支援世帯台帳の作成(更新)

日常的な支援が必要な高齢者世帯や障がい者世帯等の状況を把握するため要支援世帯台帳を作成(更新)し必要に応じて見守りや声かけを行った。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ

●事業成果

要支援世帯の状況把握により、日常の見守りや声かけ訪問が円滑に行われるようになった。

3 交流活動(ふれあい・語らい)

●実施回数 3回

●対象者 高齢者・障がい者・子ども
(対象者数 80 人)

●目的 高齢者の孤立防止と仲間づくり、
地域のつながりづくり

●実施事業

- ・ふれあい日帰り旅行(年1回)

福祉バスを利用し栗沢町福祉村、栗山町小林酒造を見学し、町内会員同士の交流を図った。

- ・夏祭り交流会(年1回)

町内会の夏祭りに合わせて、町内会員、高齢者と子どもとの交流会を実施して地域のふれあいを図った。

- ・茶話会(年1回)

町内会館を利用して食事会やゲーム等行いレクレーションを通じて地域のふれあいを図りました。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・社会福祉協議会

●事業成果

一人暮らし高齢者等の安否確認や健康状態、心配事の把握につながった。参加者同士の交流により近隣のつながりづくりになった。

4 在宅福祉サービス活動(支え合い)

●実施回数 年間を通じて実施

●対象者 高齢者・障がい者
(対象者数 65 人)

●目的 地域の支え合い

●実施事業

- ・見守り、声かけ訪問活動

一人暮らし高齢者・障がい者世帯に対して、日常的な見守りや定期的な見守りや声かけ訪問を行い、安否確認と世帯状況の把握に努めた。

- ・生活支援活動

一人暮らし高齢者及び障がい者世帯の状況把握に努め、相談ごとや家事に関する生活支援を行った。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

町内会員にも協力をいただき、地域のつながりと一人暮らし高齢者等の孤立防止につながった。

静和町内会

福祉委員人数	5人	世帯数	102
--------	----	-----	-----

1 啓発活動(知る・知らせる)

●実施回数 12回

●対象者 福祉委員・民生委員児童委員
(対象者数 5 人)

●目的 福祉委員活動における情報交換・共有

●実施事業

- ・福祉委員会

福祉活動の協議・検討及び情報交換を行った。

- ・福祉通信「元気会だより」の発行

福祉委員・民生委員児童委員の紹介、福祉情報・行事等のスナップ写真を掲載し周知を図った。

- ・SOSネットワーク研修会、社協研修会参加

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・社会福祉協議会

●事業成果

福祉委員同士及び民生委員児童委員との連携

強化となり、福祉活動がスムーズに進められ、福祉活動に対する意識向上につながった。

2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 65 歳以上の高齢者
(対象者数 82 人)
- 目的 高齢者世帯の状況把握
- 実施事業
 - ・高齢者名簿の作成
65 歳以上の高齢者世帯を把握して必要に応じて見守りや声かけを行った。
 - ・救急カード設置確認
救急カードの備えをしているか再度声かけを行った。
- 連携・協力機関及び団体
民生委員児童委員
- 事業成果
高齢者世帯の状況把握により見守りや声かけ訪問が円滑に行われるようになった。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 4 回
- 対象者 65 歳以上の高齢者(対象者 82 人)
- 目的 孤立防止のための親睦と交流
地域のつながりづくり
- 実施事業
 - ・日帰りバス旅行
滝川菜の花畑散策、江部乙神社、滝川スカイミュージアム等の見学を行った。
 - ・秋のお楽しみ会
「静和おとなの学校」と銘打って社協、包括支援センターより講師を招いて生活支援等の話、百歳体操、百人一首、合唱などを行った。
 - ・町内合同による新年会
 - ・春のお楽しみ会
ボウリング大会を実施し、ゲーム後は会館で会食を行った。
- 連携・協力機関及び団体
民生委員児童委員・社会福祉協議会・地域包括

支援センター

●事業成果

近郊散策を予定していた秋のお楽しみ会を中止し、学校の授業形式で楽しみながら健康や生活に役立つことを学ぶという大変充実した内容となり、楽しい交流がもてた。

4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 65 歳以上の高齢者
(対象者数 82 人)
- 目的 安否確認と孤立防止
- 実施事業
 - ・見守り、声かけ訪問活動
年間を通じて行事案内、記念品等の配布時に訪問し安否確認と世帯状況の把握に努めた。
- 連携・協力機関及び団体
民生委員児童委員
- 事業成果
会話を通じ健康状況等を確認ができ、孤立防止につながった。

おさつ団地町内会

福祉委員人数	9 人	世帯数	703
--------	-----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 8 回
- 対象者 町内会長・福祉委員・民生委員児童委員（対象者数 15 人）
- 目的 福祉委員活動における情報交換・共有事業の計画及び反省、学習会、見学会などを通じて資質向上
- 実施事業
 - 1. 福祉部会
 - ・福祉委員会と民生委員児童委員合同で事業の計画を協議・検討し当日の分担準備と事後の反省。6 回実施
 - ・町内の高齢者世帯の情報を交換し課題の共有

に努めた。

2. 福祉だよりの発行

- ・行事を案内し参加を促す意図で発行する。年4回

3. 学習会

- ・「いつまでもおいしくご飯を食べよう」食べ物控えるようになった。噛む、飲み込むなどの不自由・不安の悩みを栄養士さんから教えていただいた。

4. 見学会

- ・「高齢者向けの施設や住宅」3ヶ所を見学した。家族や自分が必要になった時のための参考になった。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ

●事業成果

福祉委員と民生委員児童委員で活動の計画・協議をすることで理解が深まるとともに連携強化につながった。

施設見学会は2年目となり、楽しみに参加する方が増えてきた。

2 調査活動（実態把握）

●実施回数 4回

●対象者 高齢者・障がい者（対象40人）

●目的 高齢者名簿の作成、健康状態の確認

●実施事業

- ・ひとり世帯・高齢者世帯の名簿作成

昨年四つの行事に参加した名簿をもとに今年度は更新し把握に努めた。

- ・各担当区の委員は名簿を整理、見守りをするこ
- とで情報を記録した。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

行事参加で顔を合わせ、会話をすることが見守りや訪問することにもつながり関係が密になってきた。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 3回

●対象者 高齢者・障がい者・親子（対象者100人）

●目的 福祉委員、民生委員児童委員と高齢者が触れ合うことでつながりづくり

●実施事業

1. お楽しみ会「歌声喫茶」

懐かしい歌を参加者みんなで歌う。休憩時茶菓子で交流を図った。回数1回

2. いきいきライフ

マジックショー・サックス演奏を鑑賞する。食事・宝引きゲームなどを通じてふれあう。回数1回

3. もちつき

小学生を持つ親子から高齢者まで参加し昔ながらの餅つきを鑑賞。参加・食事会を通じて3世代交流を図る。回数1回

●連携・協力機関及び団体

老人クラブ

●事業成果

お楽しみ会は昔懐かしい唄を久しぶりに皆さんで歌い楽しそうであった。

いきいきライフは足腰の弱っている人のためにタクシーを手配して、実践してみたが利用する人は少なく（3名）やり方の工夫が必要との反省であった。

餅つきにおいては、高齢者の技が若い人や子供に伝わり存在感があった。

4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

●実施回数 数回

●対象者 高齢者・障がい者・ひとり世帯（対象者数50人）

●目的 声かけ訪問による見守り・孤立防止

●実施事業

- ・声かけ訪問による見守り

四つの事業に参加した方の名簿をもとに声かけ訪問を行う。その際町内で作成したポケットティッシュ、または名札、PRチラシ等を渡

してコミュニケーションを図った。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

行事参加名簿をもとにグッズを手渡しての訪問により支え合いが一步進展しているように思う。

あずさ町内会

福祉委員人数	8人	世帯数	708
--------	----	-----	-----

1 調査活動（実態把握）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 高齢者・障がい者
- 目的 高齢者・障がい者の情報交換
- 実施事業

町内会員の独居老人及び高齢者・障がい者の把握

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員、老人クラブ

●事業成果

高齢者及び障がい者の所在情報の共有ができた。

2 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 1回
- 対象者 町内会員・高齢者（70歳以上）
- 目的 町内会員の親睦と高齢者と町内会役員との交流
- 実施事業

・敬老会（年1回）

町内会館で高齢者40名の参加でゲーム・カラオケ・会食等で楽しい時間を過ごした



・パークゴルフ大会

市内パークゴルフ場で男性16人女性9人の参加で実施。大会終了後の懇親会でおおいに盛り上がった。

・ボウリング大会

市内ボウリング場にて大人30人子供9人参加で家族、親子で楽しい時間を過ごすことができた。

●連携・協力機関及び団体

老人クラブ

●事業成果

高齢者同士の交流や町内会役員との親睦が実施された。

富丘1丁目南町内会

福祉委員人数	3人	世帯数	84
--------	----	-----	----

1 在宅福祉サービス活動（支え合い）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 高齢者・障がい者（対象者数13人）
- 目的 被支援者との日常の意思疎通及び信頼関係の保持

●実施事業

・会食

ひとり暮らし高齢者との会食の機会提供や給食提供による交流を3回実施した。

・安否確認

ひとり暮らし高齢者・障がい者への声かけと安否確認を月に2回実施した。

・危険予防

氷柱などの危害予防の気配りでは月に数度町内の危険箇所の発見と対処をしました。

・除雪支援活動

冬期間避難経路維持のため、除雪支援6軒の実施及び支援担当者を確保した。

・実態調査

高齢者世帯の実態調査を実施し、支援が必要と思われる会員を12人とした。

●事業成果

民生委員、福祉部及び女性部の委員が定期的に被支援者を訪問した。

また、「いきいき 100 歳体操教室」を月に 2 回開催し高齢者を含み毎回 15 人程度の参加者がおり盛況であった。今年度は特に大きな問題もなく順調に推移した。

富丘 1 丁目町内会

福祉委員人数	8 人	世帯数	280
--------	-----	-----	-----

1 調査活動（実態把握）

- 実施回数 該当者に対して年 2 ～ 3 回
- 対象者 ひとり暮らし高齢者
障がい者世帯（対象数 25 世帯）
- 目的 該当世帯の把握と支援
- 実施事業
・訪問、調査
福祉委員が該当世帯を随時訪問し、異常の有無を把握した。また、非常時に備えて救助マップを作成した。
- 事業成果
該当世帯の安否確認や健康状態、心配ごとなどの把握につながり、相談ごとなどについては民生委員の協力を得て行うようにした。

2 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 3 回（80 歳の高齢者に対しては 11 回）
- 対象者 60 歳以上高齢者（対象者数 35 人）
75 歳以上高齢者（対象者数 42 人）
80 歳の高齢者（対象者数 4 人）
- 目的 高齢者の孤立防止と仲間づくり
長寿のお祝いと近況把握
- 実施事業
・日帰り旅行（南幌温泉）
高齢者を一日温泉旅行に招待した。
・敬老会
該当者に担当福祉委員が訪問し、祝文と祝い

品を直接本人に手渡し長寿のお祝いと近況を伺った。

●事業成果

該当する高齢者の安否確認や健康状態の把握につながった。参加者同士の交流・親睦につながり、高齢者の閉じこもり防止に役立った。

富丘 2 丁目町内会

福祉委員人数	9 人	世帯数	240
--------	-----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 10 回
- 対象者 町内会長・福祉関係役員・福祉委員・民生委員児童委員
（対象者数 12 人）
- 目的 福祉委員間における情報交換・共有・資質向上等
- 実施事業
・福祉委員会
福祉活動、事業等の諸計画の協議、検討を行うとともに、日常活動における対象世帯及び新たな対象世帯の情報を共有、活動上の課題等の情報交換による活動を容易にしています。
・福祉関連行事の広報
対象者宅を訪問し見守り、声かけによる現況把握と行事案内による参加の勧誘を行っています。また「町内会だより」に福祉関連行事並びに町内会行事の案内、実施結果を広報しています。
・研修会等参加
福祉に関する研修会に参加を奨励し資質の向上に努めています。
- 連携・協力機関及び団体
民生委員児童委員・老人クラブ・社会福祉協議会
- 事業成果
地域福祉活動を円滑に実践するために、福祉委員会の果たす役割は大きく、町内会・老人クラブとの連携をはかり地域に居住する人たちとの理

解と協力を得ながら進めました。地域福祉活動の資質の向上を図るため、福祉委員等を研修会等への参加を奨励して、その結果を活動につなげるようにしています。

2 調査活動（実態把握）

●実施回数 年間を通じて実施

●対象者 ひとり暮らし高齢者
(対象者数 28 人)

●目的 対象世帯等の状況把握

●実施事業

・要支援世帯一覧表の更新

一人暮らし高齢者等の転居、親族等の同居、新たな対象者世帯等の状況を把握して一覧表を修正して福祉委員等に情報の提供をし日常の見守り、声かけ等の活動を容易にしています。

・福祉マップの更新

一人暮らし高齢者、障がい者及び高齢者世帯等の避難行動要支援者を含む対象とした展開図を修正し、福祉委員会を構成する町内会関係役員、福祉委員等に配布し、日常の福祉活動に活用するとともに災害時等に備えています。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・市役所

●事業成果

要支援世帯等の状況把握が容易となり、日常の見守りや地域近隣住人からの情報入手、訪問による声かけ、現況確認が容易にしています。福祉マップは災害時における備えとしています。

3 交流活動（ふれあい・語らい

●実施回数 12 回

●対象者 高齢者・児童及び家族、町内会員
(対象者 100 人)

●目的 一人暮らし高齢者等の孤立防止と仲間づくり、地域のつながりづくりを深める。

●実施事業

・ふれあいサロン

出前講座受講：「カラーリング」高齢者及び会員（年 1 回）

初めて体験する人もいてゲーム形式で実施し楽しく受講し交流を深めた。

・お楽しみ交流会

児童及び家族と会員、一人暮らし高齢者等との交流会、年 1 回、レクレーションによるゲームやダンス、抽選会等により交流を深めました。

・お楽しみ昼食会

一人暮らし高齢者との昼食会。年 1 回。一人暮らし高齢者等を招待し、福祉関係者と昼食会を行い懇談やゲーム、余興等により交流と仲間づくりを進めました。

・町内会行事支援による交流

ラジオ体操、七夕祭り、子どもみこしや日帰り旅行による親睦会等、年に各 1 回実施し各種行事により高齢者と地域の皆さんとの交流に努めています。町内会敬老会行事への参加を奨励し地域の人とのふれあいにつなげています。

・敬老会・日帰り旅行による懇親会（各年 1 回）



●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・市役所・社会福祉協議会

●事業成果

一人暮らし高齢者等の行事では、近況及び健康や生活上の共通の話題による、仲間意識作りとふれあいを深めることができました。

地域の人々との交流の中で仲間づくりとふれあいを深めることができた。

町内会行事では地域の人との交流する機会を多く作ることに努めました。

4 在宅福祉サービス活動(支え合い)

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 ひとり暮らし高齢者・障がい者
(対象者数 29 人)
- 目的 孤立防止につなげる地域の支え合い
- 実施事業
 - ・見守り、声かけ訪問活動
一人暮らし高齢者等世帯に対する日常の見守り、声かけは随時訪問により生活状況の把握を行い、健康及び生活上の相談にも決め細やかな対応をして信頼と不安解消につなげるよう努めています。
また、地域の近隣住民からの情報等の協力も支えあいにつなげています。
 - ・生活支援活動
一人暮らし高齢者世帯及び高齢者世帯で要介護認定等を受けている自宅に対して、必要により生活支援と除雪支援作業を実施しています。
- 連携・協力機関及び団体
民生委員児童委員・老人クラブ・地域包括支援センター・社会福祉協議会
- 事業成果
一人暮らし高齢者等の対象世帯の見守り声かけは、訪問もしくは機会があることに実施に努めており、地域住民のみなさんと地域一体となって孤立防止に努めています。
生活上の悩み等の相談には民生委員児童委員との連携をはかり細やかな対応に心がけて信頼につなげています。

富丘3丁目南町内会

福祉委員人数	7人	世帯数	260
--------	----	-----	-----

1 啓発活動(知る・知らせる)

- 実施回数 4回
- 対象者 町内会長・福祉委員・女性部他

(対象者数 25 人)

- 目的 福祉委員活動における役員間の情報交換・共有、資質の向上
- 実施事業
 - ・福祉委員会、女性部合同研修会
年間及び月間行事・事業の概要検討と推進、日常の小さな情報でも研修会で発表して、情報の共有化を図った。
- 連携・協力機関及び団体
民生委員児童委員
- 事業成果
福祉委員同士及び女性部部員との連携強化につながり、地域福祉活動が円滑に進められた。

2 交流活動(ふれあい・語らい)

- 実施回数 21回
- 対象者 町内会長、福祉委員、女性部他
(対象者数 240 人)
- 目的 福祉委員活動における委員間の情報交換・共有、資質の向上
- 実施事業
 - ・いどばた交流会(毎月1回)
老人施設に寄贈する清拭用タオルを縫いながら、おしゃべり、クイズ、歌唱、お茶会を行い笑顔あふれるときを過ごす。5月に花見と12月に忘年会を実施した。
 - ・一人暮らし高齢者へ暑中見舞い・年賀状発送
高齢者になると年賀状を頂く枚数も少なくなることから喜ばれた。
 - ・すこやかラジオ体操と花火遊び(6日間)
1週間のラジオ体操終了日の夕方から花火遊び、スイカ割りで世代間交流を行った。
 - ・女性会員日帰り温泉バス旅行
送迎バスを利用し近郊の温泉で一日親睦を深めた。
- 連携・協力機関及び団体
民生委員児童委員
- 事業成果
参加者同士の近隣のつながり作りに効果があった。

福祉委員及び女性部との連携強化につながり
地域福祉活動が円滑に進められた。

富丘3丁目北町内会

福祉委員人数	4人	世帯数	181
--------	----	-----	-----

1 調査活動（実態把握）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 高齢者・障がい者・ひとり暮らし世帯（対象者数20人）
- 目的 地域の支え合い・連帯意識の醸成を図り孤独死防止につなげる。

●実施事業

- ・要支援世帯台帳作成（更新）

高齢者世帯・障がい者・一人暮らし高齢者世帯等の状況を把握するため、福祉委員会で、要支援世帯台帳を作成（更新）し、状況に応じた見守りや声かけを行った。

- ・募金の回収

福祉委員が各自の区域に書類を区長・班長に渡して回収に伺う。その際要支援世帯の状況変化を把握した。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・社会福祉協議会

●事業成果

要支援世帯の状況把握により、日常の見守り・声かけ訪問が円滑に行われるようになった。

福祉委員としての自覚向上につながった。

2 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 2回
- 対象者 75歳以上の高齢者・子ども・子育て中の夫婦（対象者数120人）
- 目的 町内会に対する長年の功績への感謝・長寿の祝い・親睦交流・小学生以下の子供と親のゲーム・カラオケ・ツリーの飾りつけ

●実施事業

- ・敬老会

9月27日は平日でしたが30人集まり女性部の手作り料理を喜んでくれました。実家に帰ってきたようにうれしいとの言葉に、長寿を喜び合いました。

- ・子供クリスマス会（1回）

12月3日町内会の小学生以下の子供と幼児と両親を招いてゲーム、ツリーの飾りつけ、サンタさんからのプレゼント、カラオケなど大いに盛り上がりました。子供23人、大人18人。

- ・見守り声かけ訪問活動

一人暮らしの高齢者世帯や高齢者夫婦世帯に対して日常的な見守りや定期的な声かけ訪問を行い安否確認と世帯状況や健康状態等の把握に努めた。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ

●事業成果

高齢者の方々には大変喜ばれ、町内会への理解も深まった。

子ども達も若い世代の大人も一緒になって盛り上がりました。

定期的な福祉委員会での活動により福祉委員同士と民生委員との連携強化につながり意識向上にもなった。

富丘4丁目東町内会

福祉委員人数	8人	世帯数	230
--------	----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 10回
- 対象者 町内会長・役員・福祉委員
民生委員児童委員（対象者数25人）
- 目的 福祉委員活動における役員間の情報交換、共有、資質向上

●実施事業

- ・福祉委員会（年6回実施）

福祉活動の協議・検討及び見守り世帯等に関

する情報交換、福祉活動間に発生した問題について町内会長、民生委員児童委員と話し合いを共有した。

・福祉イベント等の案内

福祉委員、民生委員児童委員の周知。4月12月（民生委員児童委員1名交代）

福祉イベントの案内イベントの実施前は全会員宅に回覧板をまわす。（一人暮らし高齢住宅は個別配布）茶話会・日帰り旅行等の機会を利用して、振り込め詐欺に関する注意喚起を促した。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

町内会長、民生委員児童委員及び福祉委員間の連携強化につながり、地域福祉活動が円滑に進められるようになった。

福祉活動に対する関心が役員間でも高まり、関係者の資質向上につながりました。

2 調査活動（実態把握）

●実施回数 年間を通じて実施

●対象者 高齢世帯 障がい者世帯
（対象者数 80 人）

●目的 要支援者世帯の状況把握

●実施事業

・要支援者台帳の作成（更新）

日常的な支援が必要な一人暮らし高齢者世帯や障がい者世帯等の状況を把握するため、要支援者世帯台帳を2回作成（更新）し、年間を通じて見守りや声かけを行いました。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・市役所

●事業成果

要支援者世帯等の状況把握により、日常の見守りや声かけ訪問が円滑に行われるようになり、災害時等の備えにもつながっています。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 63 回

●対象者 高齢者、障がい者、子ども

（対象者数 100 人）

●目的 高齢者の孤立防止と仲間づくり
地域のつながりづくり

●実施事業

・介護予防サロン

いきいき百歳体操、毎週水曜日、年 50 回実施。
茶話会、体操終了後 3 ヶ月に 1 回、年 4 回実施。

・ふれあいサロン

高齢者を対象とした介護予防教室（テーマ：認知症になったらどうしよう？）

講話終了後：食事会、カラオケ等を実施

・おたのしみ交流会

町内会行事として、会員同士の交流を図り、特に高齢者や子供たちの交流を重視。

夏休みに町内会の公園を利用して、子供たちと高齢者でラジオ体操会。10 日間実施

ふれあい日帰り旅行：入浴・昼食会・カラオケなど。年 1 回実施

餅つき：餅つき終了後に昼食会、おしゃべり、カラオケなど。

●連携・協力機関及び団体

社会福祉協議会・地域包括支援センター

●事業成果

一人暮らし高齢者等の安否確認や健康状態等の把握につながりました。

参加者（会員）同士の交流により、近隣のつながりができ、高齢者の閉じこもりが少しずつ解消されています。

4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

●実施回数 年間を通じて実施

●対象者 高齢者、障がい者（対象者 100 人）

●目的 地域の支え合い、連携意識の醸成をはかり孤立防止につなげる。

●実施事業

・見守り、声かけ訪問活動

一人暮らし高齢者世帯等に対して、日常的な見守りや定期的な声かけを行い、安否確認と世帯状況の把握に努めました。

・生活支援活動

一人暮らし高齢者及び障がい者世帯の状

況把握に努め、買物、病院の送迎、除雪等要望のあった支援に対して可能な範囲の生活支援を行いました。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・地域包括支援センター

●事業成果

近隣住民（会員）にも協力をいただき、会員同士のつながりも出来、一人暮らし高齢者等の孤立防止につながりました。

富丘西町内会

福祉委員人数	5人	世帯数	160
--------	----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

●実施回数 4回

●対象者 町内会長・民生委員・福祉委員
総務部長（対象者数8人）

●目的 福祉活動における各種情報交換
及び情報の共有

●実施事業

・福祉委員会（年4回）

一人暮らし高齢者に対する情報交換等を実施しました。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

一人暮らし高齢者に対する情報交換を共有することができました。

一人暮らし高齢者の孤立防止につながりました。

2 調査活動（実態把握）

●実施回数 6回

●対象者 高齢者（対象者数23人）

●目的 ひとり暮らしの高齢者の見守り

●実施事業

家庭訪問及び声かけを実施しました。

高齢者に対するプレゼントを通じて、安否確認、合わせて健康状態等の把握を実施しました。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

安否確認及び生活状況の把握等、各種情報を収集することが出来ました。

当活動を通じて、より安心できる生活環境づくりにつながりました。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 48回

●対象者 高齢者・町内会員

●目的 高齢者の健康づくり、町内会員相互の融和親睦交流を深める。

●実施事業

・ふれあい日帰り旅行

全世帯を対象として参加希望者を募集し観光及び食事会を実施しました。

・交流会

定期総会終了後、交流会を実施し、町内会員相互の融和・親睦交流を深めた。

●事業成果

高齢者等に対する支援活動を通じて、健康状況の把握及び町内会員相互の融和親睦が図られました。

当活動を通じて、高齢者に対する「生きがい」等の向上につながりました。

定期総会実施日にあわせて実施することにより、より多くの参加者との融和親睦交流が図られました。

4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

●実施回数 降雪時に実施

●対象者 一人暮らし高齢者（対象7人）

●目的 除雪支援を実施することにより、高齢者の除雪負担の軽減等をはかる。

●実施事業

・除雪支援活動

12月上旬から翌年3月まで、除雪支援を実施し生活道路を確保しました。

●事業成果

高齢者宅の除雪負担（除雪費用等）の軽減が図られました。

末広東町内会

福祉委員人数	12人	世帯数	560
--------	-----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 12回
- 対象者 町内会役員・民生委員・福祉委員（対象者数 30人）
- 目的 地域福祉の推進
- 実施事業
・福祉会議

毎月の例会時に、役員が出席した福祉関係会議及び研修の報告を行うとともに、一人暮らし高齢者、障がい者等の情報の共有化を図り、必要により支援のあり方等について検討した。

- 事業成果
情報の共有化を図ることができた。

2 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 3回
- 対象者 町内会員等、70歳以上高齢者、一人暮らし高齢者及び子ども
- 目的 幅広い年代層で健康増進と会員間の世代交流、長寿のお祝い
日本伝統の食文化の伝承と交流

- 実施事業
・ミニ運動会と懇親会
ミニ運動会は、子どもから高齢者までが集い、パン食い競争や紅白玉入れなど、世代を越えて皆が楽しめる競技を行った。ミニ運動会の終了後、引き続き会場で女性部が中心となり準備したジンギスカン等の昼食を皆でとりながら参加者間の交流を図った。ミニ運動会、懇親会のいずれも明るく楽しい雰囲気の中で行われた。
- ・町内敬老会
昨年度まで前期（4月～9月）生まれの方と

後期（10月～3月）生まれの方を主賓として招いた70歳以上の高齢者の誕生会を年に2回に分けて実施したが、本年度より対象をまとめて年1回の敬老会として開催した。

福祉委員が分散して、声かけと安否確認を兼ねて対象者宅を訪問するなどの案内も行った。

女性部が中心となり準備した暖かい手料理や市販の弁当を皆で食べながら楽しく交流する時間を過ごした。

食事をとったあと、介護予防リーダーの役員を中心に、参加者全員で百歳体操も行った。

当日の参加がかなわなかった対象者には、手紙や手作りのお祝い品を届けるなど、次回の参加につながる方法等について検討する。

- ・世代間交流餅つき大会（町内会館）

高齢者が子ども達に餅のつき方と作り方等を伝え、一緒に食事をする事で世代間の交流を図った。参加ができなかった会員（一人暮らし高齢者等）に対し、福祉委員等がついた餅を自宅に届けながら安否確認をかねた声かけを行った。

- 事業成果
地域住民の交流により輪が広がり、つながりづくりに効果があった。
長寿を祝う機会とともに、参加者間の交流によるつながりと健康づくりに効果があった。
餅つきなどを通して世代間交流が図られ、スムーズな見守り活動を行うことができるようになった。

末広中区町内会

福祉委員人数	8人	世帯数	400
--------	----	-----	-----

1 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 3回
- 対象者 75歳以上高齢者（対象者82人）
65歳以上独居高齢（対象者27人）
除雪支援の方達
- 実施事業。

- ・敬老会（参加者 51 名）平成 29 年 9 月 30 日（土）
高齢の方々に敬意を表すために食事・余興・ゲーム等を行い、互いに語りあふれあい楽しいひと時を過ごしていただきました。

- ・独居昼食会（参加者 17 名）平成 29 年 6 月 24 日（土）

例年同様に独居高齢者の皆様を対象として、食事会を実施してお互いの親睦を深めた。

- ・除雪慰労会（荷い手 2 名 1 団体）平成 29 年 3 月 10 日（土）

除雪支援の担い手の皆様の慰労並びに反省会を実施し、併せて情報交換等を行った。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ

花園町内会

福祉委員人数	17 人	世帯数	1100
--------	------	-----	------

1 調査活動（実態把握）

- 実施回数 通年
- 対象者 ひとり暮らし高齢者等
(対象者数 120 人)
- 目的 一人暮らし高齢者等の実態把握
- 実施事業

- ・資料の更新

町内の一人暮らしの高齢者・障がい者等の要援護者・世帯の実態を調査・把握し、随時資料の更新を行い、地域での見守り等の体制づくりの資料として活用している。

●事業成果

日頃から要援護者の実態を正確に把握していることで、平常時・災害時に対応でき、見守り体制等の確立もできる。

2 交流活動（ふれあい・語り）

- 実施回数 2 回
- 対象者 高齢者・現役と子ども達の三世代
70 歳以上高齢者
- 目的 三世代間交流を行うこと

高齢者の長寿を祝い交流する

●実施事業

- ・三世代交流「餅つき大会」（7 月 1 回）

臼と杵での餅つきで、子ども達も餅をついたり丸めたりして、楽しく三世代間の交流を図り約 200 名の参加があった。



- ・敬老会（10 月 1 回）

高齢者の長寿を祝い、懇親・交流を図り、アトラクション・食事を楽しんだ。約 90 名の参加があった。

●事業成果

三世代の交流・親睦が図られ、敬老会では大変盛り上がり楽しいひと時となった。

高台町内会

福祉委員人数	15 人	世帯数	435
--------	------	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 12 回
- 対象者 町内会長・役員・福祉委員・民生委員児童委員（対象者数 15 人）
- 目的 各福祉事業に対する研修及び福祉活動における役員間の情報交換・共有、資質の向上を図る

●実施事業

- ・福祉委員会
年間福祉事業計画の協議・検討・実行
福祉活動の情報交換・情報の共有
- ・福祉研修会
新任福祉委員の研修

災害時要援護者避難支援プラン個別計画の
拡充

ふれあいデーの実施①3/26 うどん打ち 15 名
参加、②12/2 カレー作り 25 名参加、③3/2 お
菓子作り 22 名参加

●事業成果

福祉委員、民生児童委員間の連携が図られ、計
画した福祉事業が展開でき、福祉活動への興味・
関心が高まり、研修などを通じて一層の資質の向
上が図られた。

福祉委員が不足しているため育成が必要であ
る。また委員長等が不在の場合でも定例会の開催
を検討する。

2 調査活動（実態把握）

●実施回数 4 回

●対 象 者 高齢者・独居・障がい者等
(対象者数 150 人)

●目 的 要支援世帯の状況把握

●実施事業

・要支援世帯台帳及び福祉マップの作成（更新）

見守り世帯の個別台帳を更新するため、再調
査の方法や個別台帳作成のための情報共有・協
議を行った。

●事業成果

災害時要援護者避難支援プラン個別計画作成
は、一昨年で完了したが、支援要請者が 14 名と
少なく、今後は追加支援要請者の把握について調
査・検討していく必要がある。

昨年の災害時要援護者避難支援プラン個別計
画策定に当たり、見守り世帯の把握をしたが、把
握が十分でなかったことから、継続して調査を実
施する

3 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 5 回

●対 象 者 高齢者・障がい者・子ども・会員
(対象者数 400 人)

●目 的 高齢者の孤立防止、障がい者との
ふれあい、仲間作り、世代間交流

●実施事業

・高台夏祭り・盆踊り（8 月 5・6 日延 500 名）
昭和 35 年から実施している町内最大の行事
で、高齢者の孤立防止、仲間づくり、世代間交
流を図った。

・高台ふれあいデー（3/26 うどん打ち、12/2 カ
レー作り、3/2 お菓子作り）

平成 21 年から高齢者との茶話会を実施し、
平成 25・26 年は聴覚障がい者から手話の受講。
平成 28・29 年度からはみんなでなにかをつく
る、経験者（お年寄り）からの直伝で未経験者
（子供たち）に教え・伝えるコミュニケーション
を図る交流を深めました。

・敬老と感謝の集い（10 月 15 日 50 名参加）

平成 26 年から復活した事業で、高齢者の孤
立防止、仲間作りに努めました。

・ふれあい餅つき（12 月 24 日 50 名参加）

子ども達の思い出作りと高齢者から子ども
達へ、餅の作り方を伝授し、世代間交流を図っ
た。12 月 28 日に子ども会代表から鏡餅を市長
に贈呈した。

・新年会（1 月 14 日）

花園コミセンにて 80 名の参加を得て開催し、
世代間交流、仲間づくり、孤立防止を図った。

●事業成果

いずれの事業も高齢者の孤立防止、障がい者
とのふれあい、仲間づくり、世代間交流を主眼に実
施しており、楽しく仲間づくりやコミュニケーション
が図られた。

昨年のふれあいデーは 1 回の開催であったが
今年は 3 回実施し初期の目的が達成できた。

参加者をより増やすために、他の専門部とも連
携し多くの人に呼びかけをする。

稲穂町内会

福祉委員人数	50 人	世帯数	632
--------	------	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

●実施回数 6 回

●対 象 者 町内会長・役員・福祉委員

民生委員児童委員（対象者 37 人）

- **目 的** 福祉委員活動における役員間の
情報交換・共有、資質向上

- **実施事業**

- ・福祉委員会（年 5 回）

福祉活動の協議・検討及び一人暮らし見守り
世帯等に関する情報交換、課題の共有を行った。

- ・福祉研修会（懇談会）の実施（1 回）

市の出前講座を利用し、健康維持等に関する
研修会を行った。

- **連携・協力期間及び団体**

民生委員児童委員・老人クラブ

- **事業成果**

福祉委員同士及び民生委員児童委員との連携
強化及び意思の疎通につながり、町内の福祉活動
が円滑に進められた。

福祉研修会では、町内の老人クラブ「寿会」と
連携を図ることで参加率が向上し、健康問題等
に関する意識向上につながった。

2 調査活動（実態把握）

- **実施回数** 年間を通じて実施

- **対 象 者** 高齢者・障がい者
(対象者数 315 人)

- **目 的** 高齢者世帯等の状況把握

- **実施事業**

- ・高齢者等名簿の作成（更新）

一人暮らし高齢者世帯（65 歳以上）、70 歳以
上の高齢者世帯及び障がい者世帯の状況を把
握するため、高齢者等名簿を作成（更新）し、
必要に応じて見守りや声かけを行った。

- ・福祉マップの作成（更新）

高齢者世帯や障がい者世帯等の状況を把握
し、日常の見守りや非常時に備えた福祉マップ
を作成（更新）した。

- **連携・協力機関及び団体**

民生委員児童委員

- **事業成果**

高齢者世帯等の状況把握により、日常の見守り
や声かけ訪問が円滑に行われるようになり、災害
時等の備えにもつながった。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

- **実施回数** 1 回

- **対 象 者** 高齢者・障がい者・子ども会
(対象者数 81 人)

- **目 的** 高齢者の孤立防止と三世代に
よる地域のつながりづくり

- **実施事業**

- ・三世代交流会（1 回）

敬老の日になみ、大正・昭和・平成生まれ
の三世代による交流会計画しましたが、予期せ
ぬ台風接近により、町内会館での開催を中止し
ました。参加予定者へは、お弁当、飲み物、果
物等を宅配し敬老の日のお祝いをしました。

- **連携・協力機関及び団体**

民生委員児童委員・老人クラブ

- **事業成果**

一人暮らし高齢者等の安否確認や健康状態心
配ごとの把握につながった。

4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

- **実施回数** 年間を通じて実施

- **対 象 者** 高齢者・障がい者
(対象者数 33 人)

- **目 的** 地域の支え合い、連帯意識の醸成
を図り孤立防止につなげる

- **実施事業**

- ・誕生祝い贈呈、見守り、声かけ訪問活動

一人暮らし高齢者に対し誕生祝の贈呈の際、
見守りや声かけ訪問を行い、安否確認と世帯状
況の把握に努めた。

- ・安否確認組織図の作成（更新）

地震等が発生した場合の一人暮らし高齢者
世帯の安否確認担当者を決め、連絡・確認手段
を確立した。

- ・除雪支援活動

一人暮らし高齢者等、必要な世帯に対して冬期
の除雪支援を実施した。

- **連携・協力機関及び団体**

民生委員児童委員

- **事業成果**

近隣住民にも協力をいただき、地域とのつながりづくりと一人暮らし高齢者等の孤立防止につながった。

清流町内会

福祉委員人数	243 人	世帯数	1300
--------	-------	-----	------

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 6 回
- 対象者 町内会長・福祉委員・民生委員児童委員（対象者数 23 人）
- 目的 福祉委員間の情報交換・共有、識見向上を図る

●実施事業

福祉委員会の開催

- ・定例会議、他行事の打合せ、担当地区での見守り声かけ活動などの情報・事例交換（現状と問題点を討議）
- ・福祉マップのチェック（修正、追加、削除など）
- ・福祉関連の研修会、講演会、ワークショップへの参加

社会福祉協議会、千歳市などの関係機関、団体主催のもの。（ちとせ福祉フォーラム、福祉大会、地域懇談会など）

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・社会福祉協議会・地域包括支援センター・市役所・老人クラブは「清流親和会」と連携。

●事業成果

勤務の都合で欠席有り。出席は 80% ぐらい。後日会議内容を連絡した。

普段の活動（見守り声かけ）は良く、町内行事への手伝いなどにも協力的・積極的だった。

2 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 サロンは年 6 回 敬老会、食事は各 1 回
- 対象者 高齢者（延べ対象者数 180 人）

- 目的 ひきこもり、認知症・介護の予防 仲間とおしゃべり、ふれあい

●実施事業

- ・“ふれあいせりゅう” サロン
2 ヶ月に 1 度楽しく笑い、語りの場の提供（お茶・駄菓子用意）軽い体操、ノルディックウォーキング（室内）、脳トレ。
みんなで答えを言い合い、2～3 時間気あいあいでした。

- ・敬老会（年 1 回）

10 月に実施し、会食・余興・ビンゴゲーム（景品付）で盛会であった。60 名の参加があった。

- ・食事会

年末、もちつき大会時に実施。つきたての餅を雑煮などで食べた。

餅のかえし、まるめなど餅つきの手伝いをし子供たち、若い奥さんたちと交流をした。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・社会福祉協議会

●事業成果

サロン活動は安定しているが、参加人数をもう少し増やしたい。

高齢者の居場所作りは地域でも重要。介護予防を含め趣向を凝らして充実させ続けていきたい。

3 在宅福祉サービス活動（支え合い）

- 実施回数 通年
- 対象者 一人暮らし高齢者・障がい者（対象者数 45 人）
- 目的 一人暮らし高齢者の引きこもりと孤立・介護予防

●実施事業

- ・見守り、声かけ活動

福祉委員の基本活動で独居高齢者宅は特に注意をした。緊急連絡先、救急カードの記入など促進。

- ・一人暮らし高齢者宅訪問、食事会の実施

町内会の「もちつき大会」と連動して、自宅訪問、食事会を実施。食事会に参加できなかった方には自宅を訪問して、つきたて餅とクリスマス

マスプレゼントを届け同時に安否確認した。

除雪、体調、緊急連絡先などの情報収集で支援体制作りをしている。このふれあいは大変喜ばれていて継続していきたい。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・社会福祉協議会、地域包括支援センター

●事業成果

一人暮らし高齢者の、孤立・引きこもり・認知症・介護の防止につながり、情報の聞取り（子息の居住宅、日常の連絡先の有無）で緊急時（孤立死、災害時）の対応にも役立つと思います。

青葉2丁目町内会

福祉委員人数	2人	世帯数	70
--------	----	-----	----

1 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 各1回

●対象者 町内会員（対象者数68人）

●目的 会員の近況は把握と引きこもり解消の場を作る

●実施事業

・新年会（1月14日実施、35名参加）

新年を祝して町内会員が一同に会し女性部自慢の手料理を食しながら近況の確認と引きこもりの解消を図れた。なお今年度から老人クラブとの共催とした。

・敬老会（9月19日実施、34名参加）

敬老の日を祝して65歳以上の会員を対象に、女性部作成の料理を食しながら懇談により近況を確認し、健康を祝いあった。なお、この催しは昨年度から老人クラブと合同の催しとした。また、都合により欠席した会員には後日記念品を配布した。

・子ども神輿（9月2日実施、子供16名参加）

子ども達の夏休みを利用して子供用みこしを担いで町内の各家庭を回ってお祝いをした。近隣の子供も参加し広範囲にわたる交流を図れた。

・夏祭り（8月20日実施、36名参加）

子ども達の夏休みを利用して町内会館において女性部作成の手料理を味わいながらビンゴゲームやカラオケなどで盛り上がり、家族を含めた交流が図れた。

・ふれあいサロン

毎週月曜日町内会館を利用して、いきいき・かみかみ百歳体操を実施して会員の健康維持に努め合わせて会員相互の近況を確認しあえた。（1回平均15名参加）

・地域町内会との交流（10月29日実施、11名参加）

鉄東コミュニティセンター協議会主催の文化体育祭に参加し、他の町内会員との交流が図れた。

・親睦旅行の実施（新規）

老人クラブ主催の日帰り親睦旅行に参加し入浴や会食を通じて会員相互の親睦が図れた。

・夏休みラジオ体操

子ども達の夏休み期間中、町内の公園を利用して毎朝NHKのラジオ体操を実施した。参加回数の多かった子供には終了時文房具の景品を贈呈した。

・学童の見守り

子ども達の通学時の交通事故防止を主眼に見守りを実施した。子ども達のいじめや登校拒否の兆候把握にも努めた。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・介護予防センター・地域町内会

●事業成果

会員が一堂に会してお互いの近況を話し合うことによりストレスの解消につながった。また、次回の会合への参加意欲も高まった。

町内会に参加していない家庭との交流や近隣に居住する子供たちとの交流も図れた。色々な催しに参加することにより引きこもりの防止を図れた。

子ども達の成長に少しでも寄与できることを目的に行った活動で挨拶や声掛けにつながった。また、大人と子供の交流にもつながった。

青葉3丁目町内会

福祉委員人数	3人	世帯数	180
--------	----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 13回
- 対象者 町内会長・福祉委員ほか
(対象者数4人)
- 目的 対象者の生活現状把握のため
- 実施事業
 - ・定期的訪問
健康状態の聞き取りや生活上の不安解消、要望の把握。
 - ・関係者との意見交換
福祉委員と民生委員等との意見交換と今後の見守り体制の確認をした。
- 連携・協力機関及び団体
民生委員児童委員
- 事業成果
福祉委員、民生委員との連携が図られた。

2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 高齢者等・障がい者・独居老人
(対象者数10人)
- 目的 対象者の割出し等
- 実施事業
 - ・対象世帯の割出し
 - ・対象世帯訪問による聞き取り
 - ・福祉対象者確認と民生委員との意見交換
 - ・町内会役員会議における意見交換
- 連携・協力機関及び団体
民生委員児童委員
- 事業成果
福祉対象者を明確化することで、多くの方々の見守りにつながる。
民生委員等と情報交換することで、きめ細かな福祉が提供できる。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 8回
- 対象者 独居老人（対象者数20人）
- 目的 孤立感の解消や悩み事が一時的にまぎれる
- 実施事業
 - ・ひとり暮らし高齢者との食事会等
茶話会（2回）、食事会（1回）
 - ・交流会
町内会行事へ参加（パークゴルフ、夏祭り、敬老会、新年会等）
 - ・ラジオ体操の参加呼びかけ
- 連携・協力機関及び団体
民生委員児童委員
- 事業成果
各行事に参加してもらうことで、共通の話題ができる。なんでも相談する信頼関係が醸成される。

4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 独居老人（対象者数4人）
- 目的 地域の支え合い
- 実施事業
 - ・見守り、声かけ訪問
 - ・誕生日の贈り物
 - ・日常の手伝い
- 連携・協力機関及び団体
民生委員児童委員
- 事業成果
顔を合わすことが多くなり会話が增えた。何でも相談する信頼関係が醸成される。
活動内容を役員会議等で周知することで、福祉に対する会員の意識向上が図られた。

青葉4丁目町内会

福祉委員人数	1人	世帯数	41
--------	----	-----	----

1 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 1回
- 対象者 高齢者、障がい者、子供

(対象者数 25 人)

- 目的 高齢者の孤立防止と仲間づくり
地域のつながりづくり

●実施事業

- ・ふれあい日帰り旅行

毎年実施している南幌温泉施設の利用を通じて入浴、飲食、カラオケ、ゲーム等で体を癒し十分に日頃の疲れをとり、帰路は道の駅でお土産を購入し、楽しみながら委員間の融和と交流を深め合わせて、高齢者世帯の現状把握を行った。

●連携・協力機関及び団体

社会福祉協議会

●事業成果

事業の目的を十分に活用・把握ができ、会員も大変有意義な日帰り旅行で成功した。

青葉 6 丁目町内会

福祉委員人数	6 人	世帯数	116
--------	-----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 20 回
- 対象者 高齢者・障害者（対象者数 56 人）
- 目的 地域の支え合い

●実施事業

- ・見守り、声かけ活動

一人暮らしの高齢者に対して日常的見守り、声かけを行った。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・社会福祉協議会

●事業成果

福祉委員同士及び民生委員児童委員との連帯強化に繋がり、地域福祉活動が円滑に進められた。

2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 高齢者（対象者数 30 人）
- 目的 要支援世帯の状況把握

●実施事業

- ・福祉マップの更新（更新）

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ

●事業成果

日頃の見守りや声かけ訪問が円滑に行われるようになった。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 40 回
- 対象者 高齢者、子供（対象者数 100 人）
- 目的 地域のつながり

●実施事業

- ・老人クラブ「きらく会」
お喋り、食事、カラオケ、麻雀
- ・お楽しみ交流会
夏祭り、バーベキュー、ゲーム、レクリエーション等。
- ・いきいき百歳体操
1 ヶ月、2 回実施

●事業成果

老人クラブ、町内事業、いきいき百歳体操などに参加し、体を動かしながら楽しく活動ができた。

4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 高齢者（対象者数 23 人）
- 目的 孤立防止。

●実施事業

福祉サロン、いきいき百歳体操への積極的な声かけをし、一人暮らし家庭への除雪支援を行った。

●事業成果

高齢者への記念品の配布、事業への参加呼びかけを行い、一人暮らし高齢者への孤立防止のため除雪支援を行った。

青葉丘町内会

福祉委員人数	5人	世帯数	178
--------	----	-----	-----

1 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 各年1回
- 対象者 町内会会員・高齢者
(対象者数100人)
- 目的 三世代の交流、地域のつながり
- 実施事業

・ふれあい屋外会食会

屋外バーベキューを通じて、高齢者から幼児まで幅広い交流と、隣近所を誘い合い近況の確認と合わせて高齢者の出不精等の解消にもなりました。

・子供みこし

日本古来の文化を次世代に伝え、子供同士、子供を通じて保護者等の交流の場にもなった。



・高齢者等会食会

食事とともにゲーム、カラオケ等で親睦を深めるとともに、出席できなかった80歳以上の独居者宅に食事を届け近況把握した。

・ふれあい餅つき

高齢者の方々が持っている特技を若いお母さんお父さんや子ども達に、体験を通じて伝え、子供さんには少し早いクリスマスプレゼントを渡し、三世代の交流を図りました。また町内会長と民生委員児童委員が80歳以上のひとり暮らし高齢者宅を訪問し、つきたての餅か赤飯

を届け、近況を把握した。



・ふれあい日帰り旅行

残念ながら参加希望者が無料送迎バス運行基準の15名に達しなかったため中止となった。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・女性部・福祉委員会

●事業成果

高齢者相互の親睦と安否確認につながり、参加者間の交流が深められた。

高齢者等ふれあい会食出欠確認時に、救急カード更新状況確認等を進めることができた。

2 在宅福祉サービス活動（支え合い）

- 実施回数 4回
- 対象者 高齢者・障がい者（対象者数80人）
- 目的 民生委員児童委員、福祉委員、女性部の福祉情報の周知。

●実施事業

・訪問、電話活動、福祉情報のお知らせ

行事への出欠確認時に困りごとや健康状態を確認することができた。

高齢者等ふれあい会食会、餅つき行事の際、参加できなかった80歳以上の独居高齢者に食事等を届けるとともに、健康状態や困りごとの近況把握をした。

民生委員児童委員による救急カードの更新等の確認と啓発。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・福祉委員会・女性部

●事業成果

高齢者対象行事等の出欠確認時に、会話から近況を把握することができた。

住吉2丁目町内会

福祉委員人数	2人	世帯数	57
--------	----	-----	----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 14回
- 対象者 町内会長・福祉委員・民生委員児童委員（対象者数10人）
- 目的 福祉委員活動における役員間の情報交換・共有、資質の向上

●実施事業

- ・福祉委員会（4回）

福祉活動の協議・検討及び見守り世帯等に関する情報交換、課題の共有を行った。

- ・「福祉委員会だより」発行（10回）

福祉委員、民生委員児童委員の周知、福祉ふれあいサロン、ふれあいパークゴルフ等の開催案内、福祉関係情報を掲載して発行しました。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

福祉委員同士及び民生委員児童委員との連携強化につながり、地域福祉活動が円滑に進められた。

福祉活動に関心が高まり、福祉委員等の資質向上につながった。

2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 高齢者・障がい者（対象者数10人）
- 目的 要支援世帯の状況把握

●実施事業

- ・要支援世帯台帳の作成（更新）

日常的な支援が必要な高齢者世帯や障がい者世帯等の状況を把握するため、要支援世帯台帳を作成（更新）し、必要に応じて見守りや声

かけを行った。

- ・福祉マップの作成（更新）

高齢者世帯や障がい者世帯等の状況を把握し、日常の見守りや非常時に備えた福祉マップを作成（更新）した。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・市役所・市町連

●事業成果

要支援世帯等の状況把握により、日常的に見守りや声かけ訪問が円滑に行われるようになり、災害時等の備えにもつながった。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 25回
- 対象者 高齢者・障がい者・子供（対象者数40人）
- 目的 高齢者の孤立防止と仲間づくり
地域のつながりづくり

●実施事業

- ・ふれあいサロン

おしゃべりや食事会（2回）、健康講座（4回）カラオケ（4回）、カーリンコン（4回）、パークゴルフ（2回）

- ・一人暮らし高齢者との昼食会

カーリンコン、昼食会（1回）

- ・お楽しみ交流会（夏・冬）

子ども達の夏・冬休みに合わせて高齢者との交流会を実施。

夏：ラジオ体操を兼ねてレクリエーション（7日間）

冬：クリスマス会とカーリンコン大会（1回）



●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

一人暮らし高齢者等の安否確認や健康状態、心配ごとの把握につながった。

参加者同士の交流により近隣のつながりづくりになった。高齢者の閉じこもり防止につながった。子供との会話も楽しみになっています。

4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 高齢者・障がい者
(対象者数 11 人)
- 目的 地域の支え合い・連帯意識の醸成を図り孤立防止につなげる

●実施事業

- ・見守り、声かけ訪問活動

一人暮らし高齢者世帯等に対して、日常的な見守りや定期的な声かけ訪問を行い、安否確認と世帯状況の把握に努めた。

- ・生活支援活動

一人暮らし高齢者及び障がい者世帯の状況把握に努めた。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

地域のつながりづくりと一人暮らし高齢者等の孤立防止につながった。

生活上の困りごとの相談や細やかな支援により安心して生活できる環境づくりにつながった。

住吉北町内会

福祉委員人数	15 人	世帯数	260
--------	------	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 12 回
- 対象者 町内会長・福祉委員・民生委員児童委員（対象者数 17 人）
- 目的 福祉委員会会同において役員間の情報交換・共有、資質の向上

●実施事業

- ・福祉委員会会同

毎月 1 回会同を実施して行事・活動内容を協議検討し、特に独居者・障がいのある方に対する情報を交換して、実情を把握。また研修会参加の普及教育を実施した。

●情報の供給

高齢者に対し、詐欺等の情報をその都度知らせ被害防止に努める。

●福祉研修会（講話）の実施

社会福祉協議会・包括支援センター等と連携して研修会を実施し、その他各種研修会に参加した。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

社会福祉協議会・市町連の開催する研修に積極的に参加し、福祉委員会において普及教育を実施して情報を共有した。

また、社会問題化している一向に減らない特殊詐欺について、手口や被害状況を折に触れ教育し、注意を促し、特に「誰かに相談する」ことを強調指導。被害状況は報告されていない。

2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 高齢者（対象者 100 名）
- 目的 高齢者を把握して事後の支援体制を確立する

●実施事業

- ・高齢者名簿の作成

65 歳以上の高齢者を把握して現況を把握した。

- ・独居者の緊急連絡先の把握

独居者の不測の事態に備えた。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

近年高齢者が多くなり、またアパート入居者の個人情報等においては、把握が困難になっている。

町内会員以外（アパート入居者等）については非常に困難であり実態はつかめていない。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 30 回
- 対象者 高齢者（対象者数 80 人）
- 目的 高齢者・独居者と福祉委員会との交流及び高齢者相互の意思の疎通、さらに心身健康の維持

●実施事業

- ・サロン活動（月 2 回）

睦会（老人クラブ）を主体に毎月 2 回例会を開き、カラオケ・囲碁・将棋等それぞれの得意分野において楽しみ、交流を図った。

- ・日帰り旅行

睦会（老人クラブ）と共同で行い、小樽方面で気分転換を図った。また、福祉委員・民生委員児童委員と独居者及び伴侶をなくされた方との交流会として「白老アイヌ民族博物館研修」を行った。

- ・餅つき、子供会との交流（1 回）

日本古来の伝統の餅つきを通じて子ども会との交流を行い、伝統の継承を図り高齢者に生き甲斐を与える。

- ・健康運動（3 回）

パークゴルフや健康体操・室内ゲーム大会等を通じ、運動不足になりがちな高齢者の健康の維持増進を図り、各人の健康状態を把握した。
パークゴルフ（5～10 月）

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・町内会

●事業成果

サロン活動・旅行・健康運動や交流会等を行いなるべく交流の場を多く設けるよう着意し活動した。

白老アイヌ民族博物館研修においては、福祉委員・民生委員児童委員と独居者及び伴侶をなくされた方と、移動間の車内や現地での交流により意思の疎通を図り意義あるものであった。

4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

- 実施回数 年間を通じて
- 対象者 独居者・障がい者（対象者数 33

人）

- 目的 独居者・障がい者が安心して生活ができるよう支援する

●実施事業

- ・見守り、声かけ訪問活動

担当を設けて、月に最低 2 回は訪問し、悩みごとや困りごとなどの情報収集を行い、解決策を見出す。また、話し相手をして気分転換を図り、安心して生活できるよう支援する。

- ・除雪支援（対象者 27 人）

冬期間除雪困難な方に、生活道路及び非常避難経路等を主体に、生活に支障のない程度に除雪支援を行い、安心・安全に生活できるようにした。高齢化に伴い対象者が多く大雪の時には福祉委員共同で巡回支援をしている。

- ・家庭内の小さなお手伝い

相談ごとの相手、草取りや電球の交換等小さなことに対し、気軽に手伝いをした。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ

●事業成果

担当の独居者宅を定期的に回り、声かけを行い世間話しながら状況を確認するとともに、情報を収集して会同時に報告した。

全委員が情報を共有しながら活動の幅を広げている。

住吉 4 丁目町内会

福祉委員人数	13 人	世帯数	390
--------	------	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 14 回
- 対象者 町内会長・町内役員・福祉委員・民生委員児童委員
（対象者数 14 人）
- 目的 福祉委員活動における役員間の情報交換、資質向上
- 実施事業
・福祉委員会

福祉活動の協議・検討をするとともに、見守り世帯に関する情報交換を行った。茶話会に合わせて役員と高齢者介護予防体操なども取り入れて交流を図る。独居老人世帯・高齢者に対する詐欺などの予防、被害防止などの呼びかけをする。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・地域包括支援センター・社会福祉協議会

●事業成果

福祉委員としての関心が高まり、委員としての資質向上につながり、若い方にも委員として活動してもらうことができた。

2 調査活動（実態把握）

●実施回数 年間を通じて実施

●対象者 高齢者・障がい者
(対象者数 115 人)

●目的 要支援世帯の状況把握

●実施事業

・要支援者の見守り声かけ

日常生活支援者の把握

一人暮らしの方、孤立防止のため茶話会や介護予防サロンへの呼びかけをする。

・救急カードの更新

アパート・マンションへ入居された方へ訪問し町内会入会の呼びかけをし、子ども会を通じて家族構成などの把握をした。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・地域包括支援センター・福祉委員

●事業成果

高齢者の健康状態の把握と引きこもり防止（茶話会・介護予防サロンなどの参加呼びかけ）。

支援を必要とする高齢者と地域包括支援センターの方との協力で体力回復を喜んでもらった。

日常の見守り声かけ訪問でお礼の言葉をかけていただきました。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 36 回

●対象者 高齢者・障がい者・町内会員
(対象者数 100 人)

●目的 地域のつながりづくり、引きこもり孤立防止、仲間づくり

●実施事業

・春の福祉の集い

高齢者と地域住民との交流を図った。（会食、ゲーム、カラオケ等）

・秋の福祉の集い（日帰り温泉旅行）

高齢者と町内会員との親睦と交流を図る。（パークゴルフ・会食・温泉・カラオケなど）

・茶話会、介護予防サロン（毎週火曜日実施・第一火曜日と祝日は除く）

介護予防体操後のおしゃべり、脳トレ、カラオケ等で交流。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・社会福祉協議会・地域包括支援センター

●事業成果

一人暮らし高齢者等の安否確認や健康状態の把握につながった。

体力づくりにつながり、大変喜んでくれている。参加者同士の交流・閉じこもり防止につながった。

4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

●実施回数 年間を通じて実施

●対象者 高齢者・障がい者（対象者数 115 人）

●目的 地域の支え合いと高齢者の孤立防止につなげる

●実施事業

・見守り、声かけ訪問活動

一人暮らし高齢者の見守り声かけ訪問等で、安否確認の把握に努めた。

80 歳以上の高齢者、障がい者を支援する家族へ町内会から贈り物を届けて健康状態と生活状況の把握に努めた。

・除雪支援活動

一人暮らし高齢者や除雪支援を必要とする世帯・障がい者世帯の状況把握に努め福祉委員

の協力で行った。

・生活支援活動

高齢者や障がい者世帯の状況把握に努め、資源物資の運搬支援をした。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ

●事業成果

福祉委員との協力と住民にも協力をいただき地域のつながりと高齢者の孤立防止につながりました。

生活上の支援により安心して生活できる環境づくりになりました。

住吉5丁目町内会

福祉委員人数	8人	世帯数	139
--------	----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 定例会毎月1回、第3月曜日
10回（7月、9月除く）
- 対象者 町内会長・役員・福祉委員
（延べ70人）
- 目的 福祉活動における対象者間における情報共有と資質向上

●実施事業

・福祉委員会の定例開催

福祉委員会の定例開催で町内会役員会での各月行事の実施状況とこれからの行事を把握して福祉委員便りを作成、配布し福祉委員同士の対象見守り世帯に関する情報交換をして民生委員さんの意見等を参考に活動対策を協議して福祉委員が信念を持って円滑に活動ができた。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・社会福祉協議会

●事業成果

福祉委員会で対象見守り世帯に対する現況確認が適切にできた。

福祉委員の対応が適切であった。

2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 14回
- 対象者 町内会長・役員・福祉委員・老人クラブ参加者（対象者数：70人）
- 目的 福祉活動における対象者との福祉情報の共有と交換・資質の向上

●実施事業

・福祉だよりの発行・配布

町内会の定例役員会と実施成果の紹介、福祉関係活動の計画と成果の紹介。見守り活動の状況（匿名）、除雪支援役立情報、世相を反映した孤独死問題、福祉委員活動の紹介、救急カード事業の普及、老人クラブ加入の進め、社会福祉協議会紙の役立つ記事の紹介、町内会福祉関連行事の参加の勧め、千歳市民だより、文化ホールだより、市民文芸、その他役立ち情報を作成配布。

・要支援世帯台帳作成・対象者支援

支援が必要な高齢者世帯、障がい者世帯等の現況を適時適切に把握するため、町内会の要支援者台帳を責任者が年1回、または随時に確認し、変化に応じた要支援者名簿を整備した。

また、要支援者の状況に応じた見守り活動、訪問の実施、声かけをした。

・救急カード事業の継続、更新

救急カード事業を住民各人にカードを配布して救急事案の場合直ちに活用できるように家庭訪問する。募金活動等の場合に救急カード点検を実施した。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・社会福祉協議会・市役所

●事業成果

支援される人と支援者が要支援プログラムの実行者であることを確認できた。

また変化に応じた体制をとることが必要なことを理解できた。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 3回

- 対象者 町内会長・役員・福祉委員・老人クラブ参加者（対象者 70 人）
- 目的 福祉活動における対象者との福祉情報の共有と交換、資質の向上

●実施事業

- ・ふれあいサロン

町内会老人クラブ（寿会員）と連携してふれあいサロン活動を進め、千歳市出前講座、介護予防講座を研修し介護予防体操、ノルディックウォーキングを取り入れて、定例会の都度または住宅居住地域においても自宅周りで介護予防活動に努めています。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・社会福祉協議会・地域包括支援センター

●事業成果

ふれあいサロン活動等を通じて生活習慣の見直し改善、介護予防について参加者の意識が向上して、日頃の活動意欲、積極的にサロンに参加する人が多く見られる。

4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

- 実施回数 2 回
- 対象者 町内会長・役員・福祉委員・除雪支援要員（対象者数 40 人）
- 目的 福祉活動における対象者との福祉情報の共有と交換、資質の向上

●実施事業

- ・福祉懇談会の開催

町内会除雪困難者の除雪支援（11 月中旬から 3 月中旬 5 戸担当）と連携して積雪寒冷地における高齢者の居場所作りの勉強会・懇談会を開催し『雪国の暮らし高齢者の除雪のアプローチ』高齢者のための地域コミュニティ、高齢者の除雪、高齢者の居場所について研修、懇談。

積雪寒冷地における単身高齢者等の在宅生活が困難なことを認識するとともに、利雪、克雪等いわゆるスポーツや農業分野の雪活用等のアイデアが必用と思われる。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・社会福祉協議

会

●事業成果

除雪支援に取り組むとともに、積雪寒冷地の居場所作りについて除雪、利雪、克雪について懇談・勉強し積雪寒冷地での過ごし方生活の知恵を会得できた。

東郊町内会

福祉委員人数	16 人	世帯数	540
--------	------	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 6 回
- 対象者 町内会長・福祉委員・民生委員児童委員（対象者数 13 人）
- 目的 福祉活動の計画協議・情報交換

●実施事業

- ・福祉委員会その他会議

福祉活動の協議及び計画、高齢者対象者の健康や生活状況等の情報交換を実施した。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 通年実施
- 対象者 高齢者・独居高齢者（対象者数 98 人）
- 目的 健康状況・生活状況の把握

●実施事業

- ・訪問活動

福祉委員が分担して戸別訪問を行い、健康状況や生活状況の確認・把握と町内全体の見回りを実施した。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

3 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 2 回
- 対象者 高齢者世帯、独居高齢者

(対象者数 98 人)

- 目的 生活状況健康状態の把握と高齢者間委員との親睦

●実施事業

- ・給食サービス（食事会）

福祉委員手作りの料理にて町内会館で食事会。ゲーム・カラオケ・レクレーション等で親睦交流を図った。

- ・熟年部活動支援

週2回水曜日と土曜日にいきいき百歳体操等をしている。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

交流が増え会話も多くなり参加者が増加した。

豊里町内会

福祉委員人数	21 人	世帯数	700
--------	------	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 年2回
- 対象者 高齢者（70 歳以上）（対象者 150 人）
- 目的 福祉部の活動を理解してもらい交流する

●実施事業

- ・福祉部だより「つながり」を発行

年2回をめでに考えていたが訪問期間が短くなり年度をまたいでしまった。福祉部の事業や町内行事の写真などを掲載。クロスワードなどの“脳トレ”コーナーを設けてみた。

回覧でも回しているが若い世代の家では中を見ずに次のお宅へ渡してしまうことが多いので、訪問時に手渡しをしている。

●事業成果

福祉部だよりの内容から話題を広げることができる。なお一層充実させていきたい。

2 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 年1回敬老の日に合わせて実施
- 対象者 高齢者世帯（70 歳以上）町内会役員等（対象者数 170 人）

- 目的 お祝い行事を通じて交流

●実施事業

福祉部の一大イベントとなっている手作りのものを少し加えて会食。楽しく賑やかに開催。毎年工夫を凝らしたアトラクションやゲームで盛り上げている。足の悪い方を送迎し、新しいメンバーも参加している。当日参加できなかった方には後日粗品を持って訪問、声かけをしている。



●連携・協力機関及び団体

老人クラブ

●事業成果

介護予防いきいきサロ等に参加者している人などで行事の声かけをいただいている。

あけぼの団地町内会

福祉委員人数	8 人	世帯数	180
--------	-----	-----	-----

1 調査活動（実態把握）

- 実施回数 10 回
- 対象者 福祉委員（対象者数 8 人）
- 目的 福祉委員会

●実施事業

- ・福祉に関する情報の共有

福祉対象者の状況・情報共有

- ・福祉部活動の協議

事業の実施検討及び実施後の成果確認

- ・福祉委員の資質向上

研修会、説明会等への参加・伝達

- ・福祉関連行事への参加

町内会の行事、関連機関の行事

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

会議は全委員の出席可能な日を選んで月1回程度開催し、事業実施時の役割分担など、すべてが委員自身の問題として議論し結論を出した。また、実施した事業の反省点や改善を要する事項も、委員の反省事項としている。

2 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 3回

●対象者 福祉対象者（町内会員も可） （対象者40人）

●目的 映画鑑賞会

●実施事業

- ・映画鑑賞会（対象者40人）

高齢者や障がい者に外出の機会を確保する。
映画終了後食事会を行い、各種情報提供や注意を喚起している。

- ・日帰り旅行（参加人数40人）

福祉バスを利用して高齢者・高齢独居者・障がい者を対象として日帰り旅行を行った。

- ・敬老をお祝いする会（対象者110人）

75歳以上の高齢者に対して「敬老の日」に連動したお祝いを実施した。

- ・福祉対象者の新年交礼会（対象者20人）

少人数の懇親会で参加者と福祉委員の疎通が図られ、活動が容易になっている。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・町内ボランティア会員・施設職員

●事業成果

毎年楽しみにしている方が多く参加者同士、福祉委員ボランティア等との交流が図られている。その後の訪問活動なども容易になる。

3 在宅福祉サービス活動（支え合い）

●実施回数 通年

●対象者 高齢者・障がい者・障がい者 （対象者数100人）

●目的 訪問、見守り活動

●実施事業

・町内の14班を大きく3つのグループに分け、女性福祉委員2名ずつで1班を担当し声かけや訪問して見守り活動を行っている。

・男性福祉委員1名は、町内全域を対象として男性高齢者宅の訪問や見守り活動を行った。

・民生委員児童委員をかねる福祉部長（男）は、町内全域を担当しましたが特に町内会に未加入の家庭（母子・父子家庭を含む）を担当している。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

独居者からは話し相手として喜ばれている。
福祉部が行う諸活動に協力をしてもらえる。

日の出東町内会

福祉委員人数	3人	世帯数	112
--------	----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

●実施回数 2回

●対象者 福祉委員・民生委員児童委員 町内会三役（対象者数8人）

●目的 福祉委員、民生委員児童委員を中心とした役員間の情報等共有

●実施事業

- ・福祉会議

各種行事前に開催し、行事の確認・協議・検討を実施するとともに、各種行事の参加・不参加等を把握し、高齢者・単身者・障がい者等の健康等の情報を共有した。

●事業成果

委員間の意思の疎通・情報の共有化を図り、地域福祉活動を円滑に推進できた。

2 調査活動（実態把握）

- 実施回数 通年
- 対象者 全町内会員（対象者数 259 人）
- 目的 災害時における要支援世帯（者）及び日常の健康状況の把握等

●実施事業

- ・会員名簿の補備・修正（26 年度に作成）
新たに町内会加入した会員や世帯内の健康等の変化について把握し、災害時等に活用すべく補備・修正をし最新の状態に維持した。

●事業成果

要支援世帯（者）の把握ができ、敬老慰安会等の人員掌握等（年齢確認）にも活用できた。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 2 回
- 対象者 高齢者（対象者数 57 人）
- 目的 高齢者の孤立防止と仲間づくり

●実施事業

- ・敬老慰安会（高齢者参加者 19 名）
70 歳以上の高齢者を招待し、食事をしながら演芸・カラオケ・ゲーム等を他の会員とともに楽しんだ。参加できなかった 45 名の高齢者には、健康等の把握を兼ね福祉委員等が「記念品」の「紅白まんじゅう」を宅配した。
- ・餅つき（高齢者参加者 20 名）
伝統文化継承を兼ね、高齢者・子ども達を含めて餅の「つき方」・「丸め方」等を体験し、参加者全員で会食した。参加できなかった高齢者には健康等の把握を兼ね福祉委員等が「餅のパック詰め」を宅配した。



●事業成果

参加者全員が一体となり交流を深め、高齢者の孤立防止と仲間づくりができた。

餅つきは若い家族の参加もあり、餅の「丸め方」「餡の詰め方」等を体験した。「もちのパック詰め」宅配は好評であった。子どもたちは、初めての餅つきを楽しんだ。

4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

- 実施回数 通年
- 対象者 高齢者・障がい者（対象者数 62 人）
- 目的 地域の支え合いと孤立防止を図る

●実施事業

- ・見守り、声かけ活動
各班長が町内会費徴収や各種募金等で訪問の時に声かけを実施し、世帯・健康状況を把握した。
- ・高齢者への「記念品」等の配布
敬老慰安会・もちつきに参加できなかった方々への「記念品」「餅のパック詰め」を宅配するとともに、健康状況等を把握した。
- ・除雪ボランティア
町内の 4 世帯に対して、各世帯 2 名のボランティアを配置して降雪に対応した。

●事業成果

福祉委員・班長等の情報により孤立死等もなく、地域の支え合いと孤立防止を図ることができた。

日の出北町内会

福祉委員人数	3 人	世帯数	140
--------	-----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 12 回
- 対象者 福祉委員・町内会役員・民生委員児童委員（対象者数 20 人）
- 目的 福祉活動における町内会役員、福祉委員及び民生委員児童委員と

の情報の共有並びに協力体制の強化を図る

●実施事業

・福祉委員会

福祉活動の検討、災害時要援護者及び独居高齢者に関する情報交換を実施した。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

情報を共有することにより、地域福祉活動が円滑に実施できた。

2 調査活動（実態把握）

●実施回数 年間を通して実施

●対象者 高齢者及び障がい者世帯
(対象者数 40 人)

●目的 要支援世帯等の状況把握並びに
独居高齢者等の引きこもり防止
を図る

●実施事業

- ・要支援世帯の把握
- ・独居高齢者に対する声かけ
- ・救急カードの更新及び普及活動

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

支援が必要な世帯を把握し、支援要領等を検討し支援者側の意思の疎通が図れた。

見守りや声かけを日常的に実施することで、高齢者等の引きこもり防止が図れた。

また、救急カードの設置確認により、特に高齢者の見守りが実施できた。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 1 回

●対象者 町内子ども会・両親・高齢者等
(対象者数 60 人)

●目的 クリスマスパティーを通じて
町内会員相互及び幼児等との親
睦を深め、子育ての一助とすると
ともに世代間交流を図る

●実施事業

・クリスマスパーティー

子ども会中心でクリスマスケーキの作製とゲームを実施した。子ども、両親、高齢者の三代間でパーティーを行った。

●事業成果

各世代間の交流を通じて、子育て支援及び子ども達の健全育成に寄与した。

独居高齢者の孤立防止に寄与した。自分の町内会に多くの子供さんたちがいることを知る機会を得て、高齢者は笑顔であった。

梅ヶ丘 1 丁目町内会

福祉委員人数	7 人	世帯数	104
--------	-----	-----	-----

1 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 1 回

●対象者 町内会員（対象者数 301 人）

●目的 町内会員のふれあい

●実施事業

7 月 29 日、土曜日の 12 時から 15 時の間、昔の村祭りを町内の梅ヶ丘公園で実施した。

誰でも参加しやすいように参加費を 1,000 円とし、高校生以下及び 70 歳以上は無料で実施した。おでんや焼きそば、ビールに焼き鳥、子どもには焼きとうもろこし等を用意した。

現役高校生の青少年部長の提案で流しソーメンを実施し、高齢者や子どもたちにも大人気だった。子どもは恒例のスイカ割りを行い、割ったスイカは皆で「いただきます」。一大イベントの抽選会は、道産米のおぼろづき (10kg) が出たところで終了した。



●事業成果

参加者全員が名札を付けたので、会話がスムーズに運び、互いに町内会の人であることが理解され、「ふれあい」が深められた。

昨年、公園の四阿の上部に「納涼親睦会」の横断幕を設置し、村祭りの雰囲気盛り上げました。横断幕を背景にお婆ちゃんと孫が記念写真をパチリ。

旭ヶ丘町内会

福祉委員人数	8人	世帯数	430
--------	----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

●実施回数 6回

●対象者 役員・福祉委員・民生委員児童委員（対象者数16人）

●目的 福祉活動の情報交換、情報の共有、資質向上

●実施事業

・福祉委員会義（福祉委員）

福祉事業活動の細部計画の検討・打ち合せと、情報交換、課題等を協議した。

年5回：4月、6月、8月、11月、2月

・福祉会同（役員、福祉委員、民生委員児童委員）

情報の交換、情報の共有を図った。

年2回：6月、11月

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・祝寿会

●事業成果

福祉委員相互の連携のため、情報の共有化、活動の細部要領・成果の確認等。次回実施への教訓等を確認・打合せを行った。

特に高齢者とのコミュニケーションの助長と実施間の安全等の配慮・気配り等の要領を話し合うことで、委員の資質向上につながった。

2 調査活動（実態把握）

●実施回数 年1回以上

●対象者 救急・高齢者

●目的 「救急カード」の見直し・確認をする

●実施事業

・「救急カード」は、もしもの時の救急搬送に備えて名前・持病・緊急連絡先を記入し、迅速な究明に向け救急隊や病院が活用するものとして丁寧に説明した。

・救急カード配布済みのカードの修正を実施した。

・訪問時、併せて近況等をお聞きし、家族状況等の変更等を確認・把握した。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・社会福祉協議会・地域包括支援センター・市役所

●事業成果

町内会全世帯に対し、配布済みの救急カードの修正と訪問時に家族状況の変更等を把握、災害時の要支援者等の把握につながった。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 4回

●対象者 高齢者・町内会役員・障がい者等

●目的 町内会パークゴルフ大会
ふれあいサロン

●実施事業

・パークゴルフ（年1回）（対象者50人）

パークゴルフを通じ参加者の親睦・交流をはかった。大会終了後、現地で昼食（ジンギスカン・おにぎり）を食べ交流会を実施し参加者の親睦・交流を図った。参加費一人500円

・ふれあいサロン（4回）（対象者数100人）

四半期に1回、年4回町内会館でおしゃべりや食事・レクリエーション等を行って高齢者等との交流を図った。

●事業成果

参加者の中には、町内会員・高齢者・障がい者を積極的に招き、参加者間のつながりを持つことが出来た。また介護予防体操・かみかみ百歳体操は健康増進の意識向上に繋がり、毎回熱心に参加される方や参加者間で参加の呼びかけをするなど、高齢者の閉じこもり防止に繋がっている。

4 在宅福祉サービス活動(支え合い)

- 実施回数 4回
- 対象者 高齢者・障がい者
(対象者数 11 世帯)
- 目的 高齢者・障がい者宅除雪支援
- 実施事業
 - ・実施前、支援者宅の状況を福祉委員・民生委員により希望等を細部調査、実施し希望を募り、町内会員からボランティアを募集し、支援者が除雪必要(10～15cm 以上基準)として除雪の担当者を基本的に必用世帯1件に対し1名で実施した。
 - ・福祉委員が担当地区の75歳以上の方へ年賀状により新年のご挨拶を実施した。福祉委員自ら住所及びコメントを手書きにより、本年1年の感謝と新年を祝賀する内容として実施した。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

除雪支援対象世帯数 13 世帯

除雪ボランティア数 11 人

除雪支援回数 187 回

除雪支援人数 218 人

今年は降雪が例年より少なかった。除雪支援ボランティアはほぼ毎年同じ人であり、高齢になってきている。町内でよびかけの募集を実施しているもののなり手が少なく今後の課題である。

年賀状の手書きによる挨拶は公表であり、一人暮らしの身寄りのない方などからは、感謝の年賀状やお言葉を頂いている。

弥生町内会

福祉委員人数	11 人	世帯数	720
--------	------	-----	-----

1 啓発活動(知る・知らせる)

- 実施回数 18 回
- 対象者 福祉委員(対象者数 11 人)
- 目的 福祉委員活動における委員間の

●実施事業

- ・福祉委員定例会(月1回)
福祉活動計画と執行、委員間の情報交換・活動の分担、課題の共有を行った。
- ・研修会等への参加
地域福祉に関する研修会、フォーラムに参加した。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

福祉委員同士及び民生委員児童委員との連携強化につながり、地域福祉活動が円滑に進められた。

福祉活動に対する関心が高まり、福祉委員等の資質向上につながった。

2 交流活動(ふれあい・語らい)

- 実施回数 5 回
- 対象者 概ね 70 歳以上の高齢者及びひとり暮らし高齢者(対象者数 290 人)
- 目的 ふれあいを深め楽しみ、学びあい、生きがいをもつ

●実施事業

- ・ふれあいサロン(年3回)
篠笛鑑賞、百歳体操、簡単な工作、ゲーム、DVD鑑賞、食事会等
- ・弥生町内会敬老会(年1回)
70歳以上の高齢者を招待し、食事や余興を通して高齢者との交流を図った。
- ・ふれあい日帰り旅行(年1回)
温泉施設の利用を通して会員同士の交流を図り、併せて高齢世帯等の現状の把握に努めた。



●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・社会福祉協議会

●事業成果

一人暮らし高齢者の安否確認や健康状態の把握、参加者同士の交流により近隣のつながりづくりにつながった。

3 在宅福祉サービス活動（支え合い）

●実施回数 年間を通じて実施

●対象者 高齢者・障がい者

●目的 地域の支え合い、連帯意識の醸成を図り孤立防止につなげる

●実施事業

・見守り声かけ訪問活動

一人暮らし高齢世帯等に対して、日常的な見守りや定期的な声かけ訪問を行い、安否確認と世帯状況の把握に努めた。

・生活支援活動

一人暮らし高齢者及び障がい者世帯の状況把握に努め、訪問時にホッカイロを配りました。また、降雪時は除雪ボランティアと滑り止め用の砂利を配った。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員

●事業成果

地域のつながりづくりと一人暮らし高齢者の孤立防止につながった。また、生活上の困りごとに対する相談や細やかな支援により、安心して生活できる環境づくりにつながった。

寿町内会

福祉委員人数	20人	世帯数	610
--------	-----	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

●実施回数 31回

●対象者 福祉委員・祝梅ほっとす職員

●目的 町内会役員間の情報の交換・共有と資質向上

●実施事業

・福祉委員会（3ヶ月に1回）

福祉活動の経過報告、問題点の抽出、対策検討

・研修会への参加

新任福祉委員研修会、支え合いフォーラム、認知症予防

・町内会役員会

町内の動向、情報交換、現状について報告検討

・交通安全見守り

学童の通学時間に通学路3ヶ所で黄色い安全ベストを着用し専用誘導旗を使用しながら見守りを実施した。

・講話

祝梅ほっとす保健師による講話（地域包括支援センターの役割について）

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・町内会長・地域包括支援センター・町内会区長・女性部委員

●事業成果

各委員間の連携強化につながり問題点の抽出、対策検討が円滑にいった。

福祉委員としての活動の必要性を理解し資質向上につながった。

地域包括支援センターの場所、役割、利用方法を理解した。

学童の安全見守り、ドライバーへの安全呼びかけ不審者の抑止につながった。

町内会の動向、現状把握、情報交換が出来た。

2 調査活動（実態把握）

●実施回数 年間を通じて実施

●対象者 高齢者、障がい者、引きこもりの方

●目的 要支援者の状況把握、安否確認

●実施事業

・福祉マップ修正、追加

高齢者、障がい者、見守り対象世帯の抽出、状況把握し声かけ、見守りの継続

一人暮らし、高齢者要見守り、引きこもりがちの高齢者、障がい者へ寒中お見舞い押し花葉

書にて安否確認。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ

●事業成果

3ヶ月に一度の福祉委員会で情報交換し共有することで、見守りの強化、近隣者への協力呼びかけにつながった

押し花葉書を受け取った方から“気にかけていただいて有難うございます”と電話をいただき安否確認、状況把握に繋がった。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 19回

●対象者 高齢者・障がい者

●目的 健康維持・体力向上、町内会員の交流・親睦を深める。

●実施事業

・介護予防体操

毎月第3木曜日にいきいき百歳体操を行う。

・ふれあいサロン

不定期に女性部の手料理をいただきながら近隣者の情報交換を行った。

・高齢者を囲む会（1回）

75歳以上の高齢者を対象に女性部の手料理などで楽しい時間を過ごしました。



●連携・協力機関及び団体

介護予防リーダー・町内会長・女性部・総務・区長

●事業成果

体力・運動機能アップはもちろん、集まる人たちの表情も明るくなった。食事をいただきながらのお喋りは一人暮らしの高齢者にとり交流の場

であり、親睦を深めるいい場である。

1年に1度の会を楽しみに積極的に参加する高齢者が増えている。

4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

●実施回数 年間を通じて

●対象者 高齢者・障がい者

●目的 町内住民の見守り

●実施事業

・見守り、声かけ訪問

自宅前で立っていた高齢者を近隣住民が声かけをし、民生委員へ相談をした。

昼間から夜遅くまで一人暮らしの高齢者がいて近隣友人より情報を得た。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・町内住民

●事業成果

一人暮らし等の高齢者の情報を共有。

近所の見守り助け合いもあった。

個人情報等の配慮についても再確認した。

幌加連合会

福祉委員人数	2人	世帯数	22
--------	----	-----	----

1 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 12回

●対象者 高齢者（対象者数26人）

●目的 地区内の高齢者の交流、親睦向上と輪を広げる

●実施事業

4月から3月の1年を通して公民館の清掃、ゴミ拾い、福祉バスで市内観光、焼肉パーティー、1泊温泉旅行、忘年会、新年会など行っている。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ

●事業成果

住民の協力で地域のつながりと一人暮らし高齢者の孤立防止につながった。

協和連合会

福祉委員人数	2人	世帯数	26
--------	----	-----	----

1 在宅福祉サービス活動（支え合い）

- 実施回数 年間を通じて実施
- 対象者 高齢者・一人世帯
- 目的 対象者の状況把握
- 実施事業

対象者の住宅を回り見守り、声かけを行いました。地域の民生委員と連絡を取り必要に応じて訪問しました。老人クラブ等の会合にも出席し声かけをしました。

●事業成果

お互いに会っていますので状況が良くわかるようになりました。

新川連合会

福祉委員人数	2人	世帯数	31
--------	----	-----	----

1 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 6回
- 対象者 新川老人クラブ 福祉委員・民生委員児童委員
- 目的 清掃・花壇作り・ゴミ拾い
- 実施事業

・道路周りの清掃・花壇作り、

春と秋に清掃を行い、空き缶の回収などリサイクルに参加している。

出前講座で老人の健康について講座を受けた。

●連携・協力機関及び団体

老人クラブ・社会福祉協議会・地域包括支援センター

●事業成果

ゴミ拾い、花壇作りを通じて地域住民と交流・親睦に繋がった。

東丘連合会

福祉委員人数	2人	世帯数	50
--------	----	-----	----

1 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 6回
- 対象者 60歳以上の高齢者
- 目的 高齢者の親睦の輪を広げる
- 実施事業

・月例会

4月 寿の家周辺の清掃及びお茶会

6月 パークゴルフ大会及び反省会

8月 東丘共同墓地清掃及び反省会

10月 寿の家周辺の清掃と日帰り温泉

12月 市役所より交通安全の出前講座

2月 ビンゴゲーム・カラオケ・お茶会

●事業成果

会員の親睦を図り、近況報告等を話し合うことができてよかった。

支笏湖自治振興会

福祉委員人数	5人	世帯数	120
--------	----	-----	-----

1 調査活動（実態把握）

- 実施回数 4回
- 対象者 自治会役員・支笏湖小学校PTA役員・福祉委員・消防警察・青年会役員（対象者数20人）

●実施事業

・拡大福祉委員会

子ども達との交流事業や高齢者に対しての事業、さらには防災から住民を守るために組織されている消防団との連携による福祉関連事業の打ち合わせ等年4回実施した。若い方が減っており今後の体制づくりに不安があるが、地域の事業所や郵便局や宅配業者とのコミュニケーションも大切である。

●事業成果

福祉委員と地域団体との連携の強化につながり、消防団との連携も高齢者や子ども達の安全を考える上で大きな成果となった。

2 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 6回

●対象者 自治会員（対象者数 150 人）

●目的 地域住民の交流

●実施事業

・早朝清掃活動（5回）

小学生・老人クラブ・青年会・自治会等各種団体で清掃活動を行った。5月と9月は、支笏湖のまちづくり団体(NPO)が主催している国道453号線のゴミゼロキャンペーンにも連動し大々的に行った。

・スポーツ交流会（1回）

支笏湖市民センター横の特設パークゴルフ場にて60歳以上の高齢者を中心に、支笏湖小学校の生徒とパークゴルフによるスポーツ交流を行い、24名の参加があった。

・なかよし集会

支笏湖小学校が中心となり高齢者を含む地域の方々を子供たちが招待し、一同で手作りのクッキーとお茶で交流会を行いその中で昔の話や遊びなどで楽しい時を過ごした。

・支笏湖クリスマス・忘年会

一年の締めくくりを地元街づくり団体（NPO法人支笏湖街づくり機構 Neo ステージ）の協力のもとクリスマスと忘年会を町ぐるみで行った。（子供を含め72名参加）

●事業成果

地域住民（特に高齢者）が支笏湖小学校の生徒とともに交流を重ねることは、地域全員で子どもを育てるという意識の向上だけではなく、子ども達の郷土愛も育まれ、さらには災害時におけるネットワークの強化にもつながっている。

今年度は小学生の数も増え、過疎化の進む当地域において喜ばしいことであった。

また、今年は地域のホテル・旅館等の職員も参加をし普段できない交流が実現した。

3 在宅福祉サービス活動（支え合い）

●実施回数 年間を通じて実施

●対象者 高齢者（対象者数 20 人）

●目的 一人暮らし高齢者・高齢者世帯を中心に災害時の対策として

●実施事業

・見まわり、安全確認

各家を訪問し、自分達ではできない作業（電球の交換、物の移動、物の修理など）を支援することに努めた。本年も何度か停電があり（王子製紙の電力使用）その都度一人暮らし高齢者を訪ね、電気のチェックを行った。

・高齢者への生活支援活動

当地は交通が不便であり、更には生活用品及び食料品の販売店がないため、代行して買い物などを行う活動をしたら好評であったので、今年もできる限り声をかけるように努めた。食品の宅配サービスなどの情報も伝えることが出来た。

・除排雪の支援活動

今シーズンは雪が多く除雪出動が数回あった。支笏湖消防団や消防署員の協力を得て安全な状況を作ることができた。（プロパンガス・ストーブ等の点検）

●事業成果

突然の災害に対応するため、常日頃から一人暮らし高齢者などとのコミュニケーションが必要であり、その解決に役立つ活動である。

ゆうまい町内会

福祉委員人数	28 人	世帯数	1015
--------	------	-----	------

1 啓発活動（知る・知らせる）

●実施回数 通年実施

●対象者 町内会長・役員・福祉委員
民生委員児童委員
(対象者数 42 人)

●目的 福祉委員活動における情報交換

及び共有・資質向上

●実施事業

・福祉部会

福祉活動の協議・計画・実施・反省を行った。

・福祉委員会

救急カード事業、年間を通してカードの設置、啓蒙を行った。

・福祉通信「YOU・MY・便」（年3回）

16・17・18号を発行した。

・福祉研修会の実施

各種研修会への参加

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・社会福祉協議会・地域包括支援センター・市役所

●事業成果

福祉部会などを通じて、情報交換ができています。

2 交流活動（ふれあい・語らい）

●実施回数 4回

●対象者 高齢者・障がい者・子ども 福祉委員（対象者数130人）

●目的 高齢者の孤立防止と仲間づくり 地域のつながりづくり

●実施事業

・ふれあいサロン（年4回実施）

5月28日「わいわいふれあい交流会」

室内パークゴルフで楽しんだ。

7月2日七夕飾りを作りかざった。

9月10日「いきいき学芸会」カラオケで盛り上がった。

11月12日 ゲーム大会

さまざまなゲームをして楽しんだ。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・老人クラブ・社会福祉協議会・地域包括支援センター

●事業成果

ふれあいサロンが定着し、新しい参加者も増えて、参加者同士の親睦も深まっている。

3 在宅福祉サービス活動（支え合い）

●実施回数 通年実施

●対象者 救急カード申込書を全戸配布 （対象者数1,015世帯）

●目的 救急カード事業

●実施事業

・福祉だより「YOU・MY便」を回覧し啓蒙活動

・総会資料と一緒に案内・申し込み用紙を全戸配布した。

・町内会イベント時にPRした。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・社会福祉協議会

●事業成果

町内会のイベント時にPRをした結果申込が増えた。

みどり団地1号棟自治会

福祉委員人数	4人	世帯数	57
--------	----	-----	----

1 啓発活動（知る・知らせる）

●実施回数 12回

●対象者 町内会役員・班長及び福祉委員 （対象者数50人）

●目的 情報交換・共有

●実施事業

見守り世帯に関する情報交換及び共有

●事業成果

情報交換により活動しやすくなった。

2 調査活動（実態把握）

●実施回数 年間を通して

●対象者 自治会員特に高齢者 （対象者数80人）

●目的 支援世帯の把握

●実施事業

支援世帯の状況把握及び見守り・声かけ

●事業成果

見守り・声かけにより支援世帯の状況がわかるようになった。

3 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 3～5回
- 対象者 自治会員特に高齢者
(対象者 80 人)
- 目的 高齢者及び単身者の孤立防止と交流
- 実施事業
ふれあいサロン、会食、カラオケ
- 連携・協力機関及び団体
みどり団地 2 号棟自治会
- 事業成果
高齢者・単身者の安否確認と健康状態の把握。

4 在宅福祉サービス活動（支え合い）

- 実施回数 年間を通して
- 対象者 高齢者・障がい者
(対象者数 45 人)
- 目的 地域での支え合いと連帯
- 実施事業
高齢者と障がい者を役員及び班長・福祉委員による見守りと近隣者の協力による見守りで孤立を防ぐ。
- 連携・協力機関及び団体
訪問介護会社
- 事業成果
近隣住民の協力をいただき、いち早く状況の変化を把握。

みどり台北町内会

福祉委員人数	13 人	世帯数	388
--------	------	-----	-----

1 啓発活動（知る・知らせる）

- 実施回数 2 回
- 対象者 町内会員（対象者数 406 世帯）
- 目的 地域福祉情報及び子育て支援情報を提供することにより、地域のつながりづくりや安心して子育てできる環境整備に努める。

●実施事業

- ・広報紙「みどり台北通信」の発行
年 2 回発行する広報紙を活用して、積極的に地域福祉情報や子育て支援情報を発信することにより、住民間の連携を強化した。

●事業成果

町内会として情報発信することにより、住民間相互の連携及び地域での生活マナーの向上に深く影響したと思慮する。

2 交流活動（ふれあい・語らい）

- 実施回数 1 回
- 対象者 全世帯（対象者数 406 世帯）
- 目的 子どもと高齢者及び地域住民同士のつながりづくりを促進する

●実施事業

- ・町内会館お披露目まつり
新町内会館の完成が大幅に遅れたため、計画の秋祭りから町内会館お披露目祭りに移行し、町内会館のオープン記念行事として開催し、地域住民同士の交流と連帯意識の向上を図った。
- ・子育て世帯等のレディースサークル設置（新規）
子育て世帯等の交流及び情報交換や町内会館を利用した日中活動（サークル活動）を展開し、住民同士の親睦と子育て世帯の福祉向上を図った。この活動により、住民間の連携が強化された。

●連携・協力機関及び団体

民生委員児童委員・社会福祉協議会・協賛会社数社・千歳市こども会育成連合会・シニアリーダー「つばさ」

●事業成果

地域住民へ地域福祉情報や地域のイベント等をお知らせすることで住民同士のつながりづくりを促進することにつながっている。

3 在宅福祉サービス活動（支え合い）

- 実施回数 1 回
- 対象者 町内会員（対象者数 288 世帯）
- 目的 子どもと高齢者及び地域住民同士のつながりづくりを促進する。

●実施事業

・救急カードの配付

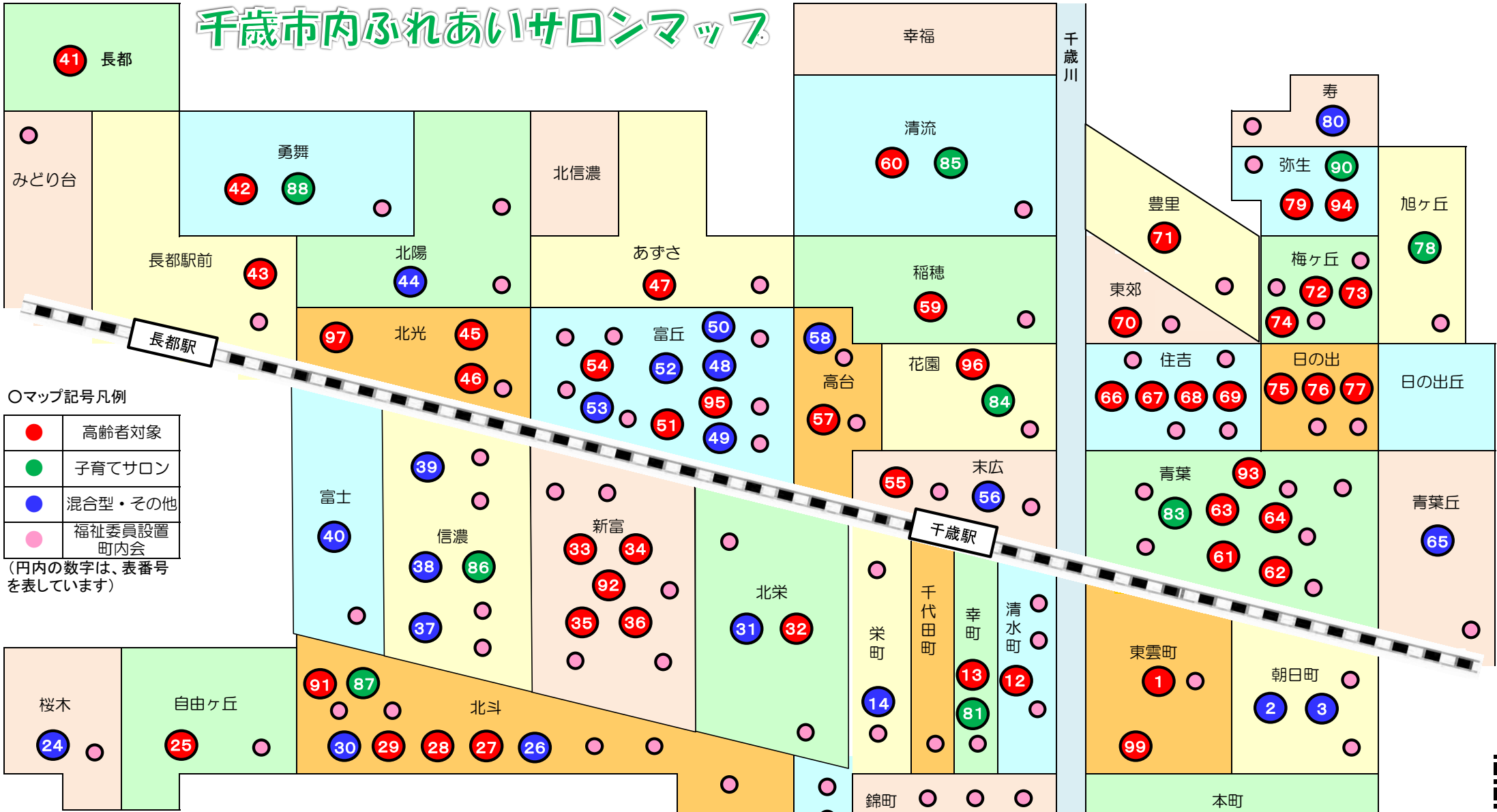
全世帯に救急カードを配付し、緊急時に対する備えと地域のつながりづくりを促進した。

●事業成果

カードの配布を通して、地域のつながりづくりや町内会に未加入世帯の加入促進につながった。

資料編

千歳市内ふれあいサロンマップ



○マップ記号凡例

●	高齢者対象
●	子育てサロン
●	混合型・その他
●	福祉委員設置 町内会

(円内の数字は、表番号
を表しています)

ふれあいサロン実施町内会及びサロン活動内容一覧

No.	町内会名	サロン名・活動内容	No.	町内会名	サロン名・活動内容	No.	町内会名	サロン名・活動内容
1	東雲町4・5丁目	介護予防サロン	30	北斗北	いきいきサロン	59	稲穂	介護予防サロン
2	朝日町西	ふれあいサロン	31	北栄南	ふれあいサロン	60	清流	ふれあいせいのりゆう
3	朝日町東	会館開放サロン	32	北栄東	カラオケサロン	61	青葉2丁目	介護予防サロン
4	真々地	ままふれあいサロン	33	新富北	ふれあいサロン	62	青葉3丁目	一人暮らし高齢者との食事会
5	若草	介護予防サロン	34	新富中	いきいきサロン	63	青葉5丁目	介護予防サロン
6	白樺	ふれあいサロン白樺	35	新富西	サロン会	64	青葉6丁目	きらく会
7	里美	介護予防サロン	36	新富東	いきいきサロン	65	青葉丘	ふれあい会食会
8	柏陽	ふれあいサロン	37	信濃1丁目	茶話会	66	住吉2丁目	ふれあいサロン
9	福住	介護予防サロン	38	信濃3丁目	おたのしみサロン	67	住吉北	住吉北睦会
10	文京1丁目	ゆうゆうサロン	39	信濃4丁目	ホームサロン陽だまり	68	住吉4丁目	茶話会
11	文京	ぶんぶん健康サロン	40	富士	いきいきサロン	69	住吉5丁目	ふれあいサロン
12	清水町連合	いきいきサロン	41	長都	介護予防サロン	70	東郊	サロンえんがわ
13	幸町連合会	ふれあいサロン	42	ゆうまい	ふれあいサロン	71	豊里	いきいきサロン
14	栄町西区	さくら会	43	長都駅前	介護予防サロン	72	梅ヶ丘1丁目	広域サロン雀の会
15	みどり団地1号棟	ふれあいサロン	44	おさつ団地	介護予防サロン	73	若葉団地	ふれあいサロン
16	緑町2丁目	介護予防サロン	45	ひばりヶ丘	介護予防サロン	74	日の出北	ふれあいサロン
17	春日町3丁目	あったかサロン、夕方サロン	46	静和	いきいき百歳体操サロン	75	あけぼの団地	介護予防サロン
18	大和1丁目	なでしこ会	47	あすさ	介護予防サロン	76	日の出南	ふれあいサロン会
19	大和3丁目	介護予防サロン	48	富丘1丁目南	いきいき百歳体操サロン	77	日の出東	ふれあいサロン
20	大和4丁目	やまとサロン	49	富丘1丁目	ふれあいサロン	78	旭ヶ丘	親子ひろば
21	桂木1・2丁目	生き生きサロン	50	富丘2丁目	ふれあいサロン	79	弥生	やよいふれあいサロン
22	桂木5・6丁目	ふれあい健康マージャンサロン	51	富丘3丁目南	いどばた交流会	80	寿	介護予防サロン
23	新里	ふれあいサロン	52	富丘3丁目北	いきいきサロン			
24	桜木	いきいき百歳体操	53	富丘4丁目東	ふれあいサロン			
25	自由ヶ丘	歌声サロン	54	富丘5丁目	いきいきサロン			
26	北斗南	ふれあいサロン	55	末広東	介護予防サロン			
27	北斗2丁目	介護予防サロン	56	末広中区	ふれあいサロン			
28	北斗3丁目	ふれあいサロン会	57	高台	介護予防サロン			
29	北斗西	ふれあいサロン	58	東高台	パークゴルフ同好会			

新里・蘭越・支笏湖

23

この資料は、赤い羽根共同募金の配分金により作成されました。



- マップに掲載されているサロンは、小地域ネットワーク活動推進事業実施報告書等より抜粋したものです。
- 活動内容の変更や記載漏れ、誤り等がありましたらお知らせください。
- 新たなサロン活動の情報も随時受け付けております。

ふれあいサロンの詳しい内容についてのお問い合わせは、

千歳市社会福祉協議会
地域福祉課地域福祉係 まで
TEL 0123-27-2525
FAX 0123-27-2528

地区民生委員児童委員協議会主催「地域子育てサロン」

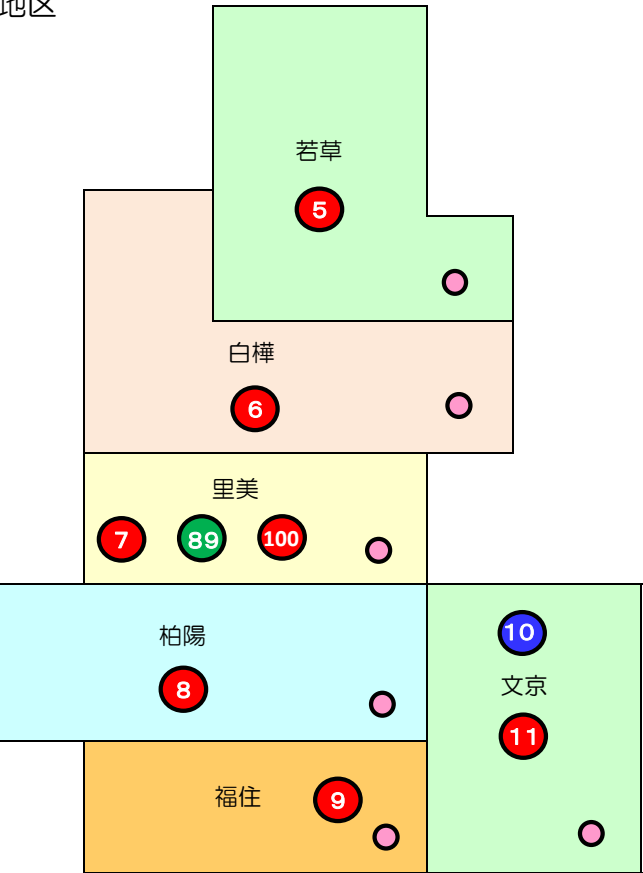
No.	地区名	サロン名	場所
81	第2地区	メリーゴーランド	千歳タウンプラザ
82	第3地区	ちびっこあつまれ	大和クラブ 桂木会館
83	第4地区	みんなであ・そ・ぼ	ひので児童館
84	第5地区	子育てサロン（花園）	花園町内会館
85	第5地区	子育てサロン（清流）	せいのりゆう児童館
86	第6地区	ばる〜ん	しなの児童館
87	第7地区	北桜遊びろば	ほくおう児童館
88	第8地区	ゆうまい子育てサロン	ほくよう児童館
89	第10地区	ハッピーひろば	向陽台コミセン
90	第11地区	子育て広場	祝梅コミセン

※千歳市ホームページ掲載内容より抜粋

千歳市介護予防事業「介護予防教室」

No.	開催場所	No.	開催場所
91	北桜コミュニティセンター	96	花園コミュニティセンター
92	北新コミュニティセンター	97	おさつタウンセンター
93	鉄東コミュニティセンター	98	ダイナックスアリーナ （スポーツセンター）
94	祝梅コミュニティセンター	99	総合福祉センター
95	富丘コミュニティセンター	100	泉沢向陽台 コミュニティセンター

向陽台地区



発行：社会福祉法人千歳市社会福祉協議会
※掲載内容は、平成30年9月30日現在の情報を基に作成しています。

平成 29 年度小地域福祉ネットワーク活動推進事業（小地域たすけあい福祉活動）実施要項

1. 目 的

いま、地域の中ではひとり暮らしの高齢者の孤独死や子どもの虐待など様々な地域課題が生まれており、その背景には地域連帯の希薄化があります。孤独死などのない社会、地域連帯にあふれた潤いのある地域社会づくりをすすめるためには、地域福祉に対する住民の意識啓発、ひとり暮らしの高齢者等の要援護者にとって身近な近隣住民による支援活動の展開こそが、最も大切になってきています。

本事業は、より一層地域でのたすけあい福祉活動の深まりと「福祉委員」活動の広がり充実を願い、各々の地域にあった創意ある福祉活動の推進をはかり、地域連帯にあふれた豊かな地域づくりを目指し、この事業を展開します。

2. 主 唱

千歳市社会福祉協議会

3. 実践主体

事業目的にご賛同いただき、福祉委員を配置している単位町内（自治）会

4. 実践活動の内容

町内（自治）会の福祉委員・町内（自治）会役員・地域住民の協働による小地域たすけあい福祉活動を実施するのにあたり、次の事項を留意していただいた事業展開をお願いします。

①対象者

ひとり暮らしの高齢者や高齢者を介護する家族、障がい者や子育て家庭等に対する支援活動や活動の啓発、普及にかかわる実践活動を対象とします。

②実践活動事例

具体的な事例としては、他に多くの活動が考えられますので、この事例にこだわることなく地域の実情を反映した活動を進めて下さい。なお、社会福祉協議会や保健センターなどの社会資源を有効にご活用ください。

1) ひとり暮らしの高齢者や障がい者等との会食会・茶話会・交流会

孤独になりがちな方とのふれあいを深めたり、仲間づくりを進めるために、会食会や茶話会等を実施し、暖かい人間関係をつくっていきます。一品持ち寄り会食会なども考えられます。

2) お年寄りと子どものつどい

お年寄りの長年培ってきた豊富な知恵や知識を活かした子どもとの交流を通じてお年寄りの生きがいと子どもに福祉の心を育んでいきます。

3) 子育てサロン

核家族化が進む中、家族や地域の中で助けたり助けられたりしながらの「子育て」ができるよう支援するため、子育て中の親たちが集えるサロンづくりに取り組みます。

4) 住民福祉懇談会

町内会による懇談会をひらき、住民の福祉への理解を深めるとともに、地域のひとり暮らしの高齢者や高齢者を介護する家族、障がい者等に要援護者を町内会としてどう見守っていくかなどを話し合います。

5) 訪問活動

地域の中で孤立しがちなひとり暮らしの高齢者、高齢者を介護する家族、障がい者宅を近隣住民が定期的に訪問し、交流を深めるとともに、日常生活上の相談、買い物や家事の手伝い、安否の確認等をしていきます。

6) 福祉だよりの発行

福祉に関する情報、行事の案内、お手伝いの募集などタイムリーな情報を継続して伝え、住民の福祉への理解や意識を高めていきます。

7) 緊急時の連絡網づくり

地域のひとり暮らしの高齢者、障がい者等の緊急時に対応するため、近隣に人がすぐに駆けつけたり、保健師、ホームヘルパー、民生委員等に連絡したりする連絡網をつくります。

8) 町内会たすけあいチームづくり

地域のひとり暮らしの高齢者、障がい者等が安心して生活していくため、町内会の役員、福祉委員、民生委員、近隣の人等がメンバーとなり、緊急時に対応できるたすけあいの組織づくりを進めたり、連絡会議などを開催します。

9) ボランティア教室

町内会で在宅福祉サービスに参加するボランティアを養成するボランティア教室を開催したり、手話講習会等を開催して町内の聴覚障害者等との交流を図ったりします。

10) 地域のひとり暮らしの高齢者マップ調査やニーズ調査

町内のひとり暮らしの高齢者、障がい者等の要援護者世帯を調査して、地域で見守る体制づくりの資料として活用したり、希望や困りごとを調査して地域で安心して生活できるように対策を検討していきます。

5. 活動費の助成

助成基準額は、別表のとおり町内（自治）会均等割り・世帯構成員割〔世帯数に応じて〕・福祉委員人数割〔福祉委員人数に応じて〕の3区分を合計した金額を交付させていただきます。（別表を参照願います）

なお、福祉委員の助成額については35世帯に1人を上限とさせていただきます。

（問い合わせ先）

千歳市社会福祉協議会 地域福祉課地域福祉係

〔住所〕千歳市東雲町1丁目11番地

〔電話〕27-2525 〔FAX〕27-2528

別表（第4条関係）

助成整理区分	助成基準		助成額
①町内会均等割	小地域ネットワーク活動実施町内会		15,000 円
②世帯構成員割	世帯数		助成額
	1 ～ 100 世帯		15,000 円
	101 ～ 300		20,000
	301 ～ 500		25,000
	501 ～ 1,000		30,000
	1,000 ～		35,000
③福祉委員人数割	世帯数区分	福祉委員配置数上限	助成額上限
	1～100 世帯	3 人	3,000 円
	101～200	6	6,000
	201～300	9	9,000
	301～400	12	12,000
	401～500	15	15,000
	501～600	18	18,000
	601～700	21	21,000
	701～800	24	24,000
	801～900	27	27,000
	901～	30	30,000

- 備考 1 助成額が各整理区分に基づき①+②+③の各単価を合計した額を交付する。
- 2 福祉委員割の助成単価は、基本的に 1,000/1 人による。
- 3 福祉委員の上限は、35 世帯に 1 人を助成額算出基礎とする。なお、福祉委員人数割りにおいて実際の人数がこの上限の人数より下まわるときは、その実数をもって助成の対象とする。



ふれあい・ささえあい・ネットワーク

発 行 社会福祉法人 千歳市社会福祉協議会（担当：地域福祉課地域福祉係）
〒066 - 0042 千歳市東雲町1丁目11番地
TEL (0123) 27 - 2525 / FAX (0123) 27 - 2528

発行日 平成30年12月

印刷・製本 北海道千歳高等支援学校

この報告書は、赤い羽根共同募金の配分金により作成されました。

